令和元年度
のびのび児童クラブ1組施設新築工事　設計図
表紙･図面リスト

［ 建　築　図 ］						［ 電気設備図 ］			［ 機械設備図 ］		
図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
A-01	表紙・図面リスト	—	A-21	建具表-2	1/50	E-01	電気設備工事特記仕様書 No.1	—	M-01	機械設備工事特記仕様書 No.1	—
A-02	建築工事特記仕様書-1	—	A-22	部分詳細図	1/20, 1/30	E-02	電気設備工事特記仕様書 No.2	—	M-02	機械設備工事特記仕様書 No.2	—
A-03	建築工事特記仕様書-2	—	A-23	家具詳細図	1/30	E-03	構内配電線路, 構内通信線路　配置図	1/100	M-03	器具表・機器表	—
A-04	建築工事特記仕様書-3	—	A-24	外構撤去図	1/100	E-04	コンセント設備　平面図, 電灯分電盤単線結線図	1/100	M-04	配置図（改修）	1/100
A-05	建築工事特記仕様書-4	—	A-25	外構改修図	1/100	E-05	電灯設備　平面図　照明器具姿図	1/100	M-05	配置図（撤去）	1/100
A-06	建築工事特記仕様書-5	—	A-26	外構部分詳細図-1	1/10, 1/20 1/50, 1/100	E-06	弱電, 非常警報設備　平面図	1/100	M-06	給排水設備　平面図	1/50
A-07	建築工事特記仕様書-6	—	A-27	外構部分詳細図-2	1/10, 1/20, 1/30				M-07	空調設備　平面図	1/100
A-08	建築工事特記仕様書-7	—									
A-09	付近見取図, 全体配置図	1/25000, 1/500	S-01	構造特記仕様書	—						
A-10	仮設計画図（参考図）, 概略工事工程表	1/100	S-02	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ構造配筋標準図（1）	—						
A-11	建物求積図, 求積表, 配置図	1/100, 1/200	S-03	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ構造配筋標準図（2）	—						
A-12	平面図, 屋根伏図	1/100	S-04	木造架構詳細図（1）	—						
A-13	立面図, 断面図	1/100	S-05	木造架構詳細図（2）	—						
A-14	矩計図-1, 部分詳細図	1/30, 1/10, 1/5	S-06	木造架構詳細図（3）　使用材料表	—						
A-15	矩計図-2, 部分詳細図	1/30, 1/10	S-07	基礎伏図	1/50						
A-16	平面詳細図	1/50	S-08	基礎詳細図・HD金物アンカー要領図	1/30						
A-17	展開図-1	1/50	S-09	1階伏図	1/50						
A-18	展開図-2	1/50	S-10	小屋伏図	1/50						
A-19	展開図-3	1/50	S-11	金物図, 軸組図	1/100						
A-20	天井伏図, 建具配置図, 建具表-1	1/100, 1/50	S-12	部分詳細図・架構詳細図	1/30						

TITLE 令和元年度　のびのび児童クラブ1組施設新築　工事設計図	DATE 2019. 03.	COA 有限会社 コア建築事務所			NO. A-01
NAME 表紙･図面リスト	SCALE ／ ／	CHECK	PLAN	DRW	

建築工事特記仕様書

【1】 工事概要

1．工事場所　京都府船井郡京丹波町曽根宮ノ浦戸麦54

2．敷地面積　49,870.72 ㎡

3．建築物概要

棟名	構造	階数	建築面積（㎡）	延べ面積（㎡）	備考
のびのび児童ｸﾗﾌﾞ1組	木造	平屋	144.61	139.12	

4．その他

別途工事：管理室内の机・棚・ﾛｯｶｰ・冷蔵庫
手洗いｺｰﾅｰの洗濯機（洗濯ﾊﾞﾝは本工事）
玄関ﾎﾞｰﾁｶｻ入れ

【2】 適用範囲

現場説明書（質疑回答書を含む）、本特記仕様書、図面、標準仕様書に示す範囲とする。
すべての設計図書は相互に補完するものとし、相違がある場合は、上記の順番を優先順位とする。
上記の標準仕様書とは、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成28年版）をいう。（以下、これを「標仕」という。）
本書に特に記載のない事項にあっても、すべて、「標仕」の適用を受けるものとする。

【3】 工事区分

設計図書による。
別契約の施工上密接に関連する工事との取合い部分が発生する場合は、別紙工事区分表による。

【4】 工事仕様

1.設計図書による。設計図書に記載されていない事項は、「標仕」のほか別記の適用基準による。
2.項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
3.特記事項は、●印の付いたものを適用する。●印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
※印と●印の付いた場合は、共に適用する。※印が抹消された場合は、●印のみ適用する。
4.項目及び特記事項に記載の（　）内表示番号は「標仕」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項目	特記事項
1 一般共通事項	① 適用基準等	● 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）　平成28年版　（監修：国土交通省） ● 建築工事標準詳細図　平成28年版　（監修：国土交通省） ○ 敷地調査共通仕様書　平成27年版　（監修：国土交通省） ○ 建築鉄骨設計基準及び同解説　平成10年版　（監修：建設大臣） ● 公共建築改修工事標準仕様書　平成28年版　（監修：国土交通省） ● 公共建築木造工事標準仕様書　平成28年版　（監修：国土交通省） ● 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）　平成28年版　（監修：国土交通省） ● 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）　平成28年版　（監修：国土交通省） （注：監修欄「国土交通省」は国土交通省大臣官房官庁営繕部を、「建設大臣」は建設大臣官房官庁営繕部を示す）
	② 建築材料等	本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は監督職員の承諾を受ける。 下記材料品目は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿（最新版）」にある材料とする。 また、同評価事業の評価を受けたものを使用する場合は、評価書の写しを監督職員に提出し、その確認をもって、品質・性能の確認があったものとすることができる。 （評価名簿によるもの） 床型枠用鋼製デッキプレート（ﾌﾗｯﾄﾃﾞｯｷ）、鉄骨柱下無収縮モルタル、 無収縮グラウト材（ﾌﾟﾚﾐｯｸｽ形、現場調合形）、押出成形セメント板、 成形伸縮目地材、乾式保護材（防水立上部）、陶磁器質タイル、既製調合モルタル（ﾀｲﾙ工事用）、既製調合目地材、ルーフドレン、吸水調整材（ﾓﾙﾀﾙ用）、 アルミニウム製建具、鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス製建具、 錠前類（ｼﾘﾝﾀﾞ箱錠、ﾊﾞｰﾍﾝﾄﾞﾙ、ｼﾘﾝﾀﾞ本締り錠）、クローザー類（ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ、ﾋﾝｼﾞｸﾛｰｻﾞｰ、ﾌﾛｱﾋﾝｼﾞ）、自動扉機構（制御装置・駆動装置、検出装置、制御装置・駆動装置・検出装置）、自閉式上吊り引戸機構（手動開き式）、 重量シャッター、軽量シャッター、ｵｰﾊﾞｰﾍｯﾄﾞﾄﾞｱ、ガラス（フロート板ｶﾞﾗｽ、型板ｶﾞﾗｽ、網入板ｶﾞﾗｽ・線入板ｶﾞﾗｽ、熱線吸収板ｶﾞﾗｽ、倍強度ｶﾞﾗｽ、熱線反射ｶﾞﾗｽ）、 ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ（中空）、防水剤、現場発泡断熱材、ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ（3000N、5000N）、 可動間仕切、移動間仕切（ｽﾗｲﾃﾞｨﾝｸﾞﾄﾞｱ）、トイレブース、煙突用成形ﾗｲﾆﾝｸﾞ材、 天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム（屋上緑化システム、屋上緑化軽量システム）、トップライト、エポキシ樹脂、 タイル部分張替え用接着剤、ポリマーセメントモルタル、 鋳鉄製ふた（マンホールふた・弁桝ふた）

章	項目	特記事項
1 一般共通事項	③ 特別な材料の工法	設計図書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。
	④ 風圧力及び積雪に対する性能 (8.4.3. 8.5.3) (10.5.3) (13.2.3～13.4.3)	建築基準法に基づき定められた風速及び地表面粗度区分等 風速（Vo）　※３２　○　（平成12年5月31日建設省告示第1454号） 地表面粗度区分　○Ⅰ　○Ⅱ　※Ⅲ　○Ⅳ 多雪地域の指定　●なし　○あり
	⑤ 現場代理人	本工事の施工にあたっては、請負契約書第10条に基づく現場代理人は、主任技術者又は監理技術者と同様、受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任しなければならない。
	⑥ 工事工程報告	月報は毎月末日に〆め、翌月5日までに提出する。 日報は監督職員の指示による。 週報は協議のうえ提出する。
	⑦ 工事実績情報の登録 (1.1.4)	適用する（適用事項は、現場説明書による）　○適用しない
	⑧ 設備工事との取合い	施工範囲 ● 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の型枠及びそれらの補強 ● 図示した壁、天井の仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強 ○ 駆動装置が電動による建具類の二次配線及び操作スイッチ ○ 自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 施工図 設備機器の位置、取合等の検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。
	⑨ 施工図等の取扱い (1.2.3)	施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲される。
	⑩ 工事写真 (1.2.4)	営繕工事写真撮影要領（最新版）（国土交通省大臣官房官庁営繕部制定）によるほかは監督職員の指示による。 下記のものを監督職員に提出する。 部数（ｷｬﾋﾞﾈｯﾄ1枚につき）／分類・規格／原版の大きさ（mm） 着工前　●1　○　●カラーサービス版　●24×36以上 工事中　●1　○　●カラーサービス版　●24×36以上 完成時　屋内（15）箇所　●2　○　●カラーサービス版　●24×36以上　●カラーキャビネ版　○60×70以上 完成時　外観（10）箇所　●2　○　●カラーキャビネ版　●24×36以上　○カラーパネル半切　○60×70以上 デジタル写真の撮影にあたり、完成写真については有効画素数300万画素程度、工事写真は有効画素数130万画素程度とし、黒板の文字等の内容が判読できる精度を確保するものとする。 完成写真撮影場所は、監督職員の指示による。 ○ 完成写真撮影業者は、監督職員の承諾する撮影業者（建築写真専門業者）とする。
	11電気保安技術者 (1.3.3)	適用する
	⑫ 施工条件 (1.3.5)	現場説明書による
	⑬ 発生材の処理等 (1.3.11)	○ 引渡しを要するもの　（　　） ○ 現場において再利用を図るもの、再生資源化を図るもの　（　　） ● 指定副産物の搬出　（詳細は現場説明書による） ● アスファルトコンクリート塊　● セメントコンクリート塊　● 建設発生木材 ● 指定副産物の処分地　（詳細は現場説明書による） ○ 指定地処分　（　　） ● 自由処分　（　最寄りの再資源化施設へ搬出すること　） ● 指定副産物以外の搬出　※ 構外搬出適切処理 ○ 特別管理産業廃棄物の処理　（　　） 再生資源利用（促進）計画書、実施書の提出 詳細は現場説明書「Ⅱ特記事項　14建設副産物の取扱い　2）再生資源利用（促進）計画・実施書について」による。 ● 建設発生土及び建設副産物処理計画書、報告書を提出すること。 ● 産業廃棄物管理票（マニフェスト）制度により、適正な処理を行うこと。 ● 産業廃棄物の処理を委託する場合は、運搬と処分についてそれぞれの許可業者と処理委託料を記載した「処理委託契約書」により委託契約すること。

章	項目	特記事項
1 一般共通事項	14発生材の処理等（ｱｽﾍﾞｽﾄ成形板）	処理を行う範囲　○ 図示（仕上げ表による　床・壁・天井毎に種別を確認） ○ 全ての室　○＿＿＿＿ 施工調査　アスベスト成形板の撤去に当たり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。調査結果は図面により記録し監督職員に提出する。 （1）アスベスト成形板使用部位の確認 記載上の成形板及びその使用範囲以外についても監督職員と協議の上確認を行うこと。 （2）アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認 （3）アスベスト成形板使用数量の確認 （4）施工範囲等の確認 確認方法　○ 成形板の製造年等の確認　○ X線解析法 処理方法　「非飛散性ｱｽﾍﾞｽﾄ廃棄物の取扱いに関する技術指針」に従い、あらかじめ処理計画書を作成し、適切に解体処分等を行うこと。
	⑮ 技能士 (1.5.2)	（1.5.2） 工事種別／適用する技能士の技能検定における選択作業 仮設工事／● とび作業 鉄筋工事／● 鉄筋組立作業 コンクリート工事／● 左官作業　● 型枠工事作業　○ ｺﾝｸﾘｰﾄ圧送工事作業 鉄骨工事／○ 構造物鉄工作業　○ とび作業 ﾌﾞﾛｯｸ及びALCﾊﾟﾈﾙ工事／○ ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ工事作業　○ ALCﾊﾟﾈﾙ工事作業 ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事／○ 金属製ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ施工作業　○ ﾋﾞﾙ用ｻｯｼ施工作業　○ ｶﾞﾗｽ工事作業 防水工事／ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業　● ｼｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業　○ ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業　○ ｾﾒﾝﾄ系防水工事作業　○ ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業　○ FRP防水工事作業　○ 合成ｺﾞﾑ系ｼｰﾄ防水工事作業　○ 塩化ﾋﾞﾆﾙ系ｼｰﾄ防水工事作業　○ 改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄﾄｰﾁ工法防水工事作業 石工事／○ 石張り作業 タイル工事／● タイル張り作業 木工事／● 大工工事作業 屋根及びとい工事／● 内外装板金作業　○ かわらぶき作業　○ ｽﾚｰﾄ工事作業 金属工事／○ 鋼製下地工事作業　○ 内外装板金作業 左官工事／● 左官作業 塗装工事／● 建築塗装作業 建具工事／○ ﾋﾞﾙ用ｻｯｼ施工作業　● ｶﾞﾗｽ工事作業　○ 自動ﾄﾞｱ施工作業 内装工事／○ ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系床仕上工事作業　○ ﾎﾞｰﾄﾞ仕上工事作業　○ ｶｰﾍﾟｯﾄ系床仕上工事作業　○ 壁装作業 排水工事／● 建築配管作業 舗装工事／○ 溶融ﾍﾟｲﾝﾄﾊﾟﾍﾞﾒﾝﾄ工事作業　○ 加熱ﾍﾟｲﾝﾄﾏｼﾝﾏｰｶｰ工事作業 植栽工事／○ 造園工事作業 ただし技能士に代わる者による施工の場合は監督職員の承諾を得ること。
	⑯ 化学物質の濃度測定 (1.5.9)	適用する　（適用事項は、現場説明書による）
	⑰ 完成図 (1.7.2)	作成する　（提出部数●２部　○＿部）　詳細は監督職員の指示による。 完成図等の電子データによる提出については、現場説明書による。
	⑱ 保全に関する資料 (1.7.3)	作成する　（提出部数●２部　○＿部） ● 敷地、建物の構造規模、主要な設備構成等の建物概要 ● 建物の主要な構造部及び外構についての説明 ● 建物を使用する上での注意事項 ● 建物に設置されている家具、機器等及び部位毎の仕上げの概要説明 ● 建物、工作物、植栽等を管理する上での保全業務の要点 ● 建物等の清掃の要点 ● 主要材料の製造所名、所在地、連絡先、非常時の連絡体制一覧表 建設大臣官房官庁営繕部監修「管理者のための建築物保全の手引き」建築保全「業務共通仕様書」を参考として作成すること。
	19中長期保全計画書	作成する　（提出部数○２部　○＿部）
2 仮設工事	① 足場その他 (2.2.4)	● 足場は、「手すり先行工法に関するガイドライン（厚生労働省　基発第0424001号）」の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中桟及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立、解体又は変更の作業は「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の2の（2）手すり据置方式又は（3）手すり先行専用足場方式を採用すること。 ● 足場には全面養生シート貼とする。

章	項目	特記事項
2 仮設工事	2 監督職員事務所 (2.3.1)	規模　○ 10㎡程度　○ 20㎡程度　○ 35㎡程度　○ 65㎡程度　○ 100㎡程度 仕上　床　○ 合板張り素地　○ ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ敷き　○ ﾊﾟﾝﾁｶｰﾍﾟｯﾄ敷き 内壁、天井　○ 合板又はせっこうﾎﾞｰﾄﾞ張り、合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り 屋根　○ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り　○ 鉄板張り調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗り 休憩室　○ 設けない　○ 設ける（畳敷き）　○＿＿＿＿ 備品　○ 机　○ いす　○ 保護帽　○ ゴム長靴　○ 雨がっぱ　○ 衣類ﾛｯｶｰ（上記6品、＿人分程度） ○ 書棚　○ 黒板　○ 製図板　○ 掛時計　○ 温度計 ○ 消火器　○ 掃除具　○ 懐中電灯　○ 湯沸器　○ 加入電話機 ○ 冷暖房機器　○ コピー機　○ ネット回線　○ 流し台　○ ＿＿＿ ○ 標仕（平成28年版）　○ 建築工事監理指針（平成28年版） ○ 建築工事施工チェックシート　○ 建築工事標準詳細図（平成28年版） ○ 営繕工事写真撮影要領（最新版）及び同解説／工事写真の撮り方（建築編）
	③ 工事用水	構内既存の施設　○ 利用できない　● 利用できる　（● 有償　○ 無償　）
	④ 工事用電力	構内既存の施設　○ 利用できない　● 利用できる　（● 有償　○ 無償　）
	⑤ 仮囲い等	● 図示による　○ ＿＿＿＿
	⑥ 設計GL	● 図示による　● 設計GL＝現状GL
3 土工事	① 埋め戻し及び盛土 (3.2.3)	○ A種　砂質土（山砂の類）を水締め又は機器による締固め　（表3.2.1） ● B種　粘切り土の中の良質土を機器による締固め ○ C種　他現場の建設発生土の中の良質土を機器による締固め ○ D種　再生コンクリート砂を水締め又は機器による締固め ○ 建設発生土（盛土材）の外部からの受入土量（　　m3） 発生場所　（　　）
	② 建設発生土の処理 (3.2.5)	下記に定めるほかは、現場説明書による ● 構外指定の受入場所に処分 受入場所　○（一財）城陽山砂利採取地整備公社　● 寺尾道路株式会社 土壌調査　○ 行う（受入場所指定の検査）　○ ＿＿＿＿ ○ 京都府土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例施行規則第７条第３項１３号及び第４項に規定する方法 仮置場所　○ ＿＿＿＿ ○ 構内指示の場所に敷き均し ○ 構内指示の場所にたい積 ○ 構外搬出適切処理　※ 中丹東土木事務所管内及び丹後土木事務所管内で、搬出土量が少量（５００m3以内）かつ緊急の場合等
	3 山留めの撤去 (3.3.3)	○ 撤去する ○ 存置する
4 地業工事	① 基礎種別	○ 杭基礎　杭の種別、本数等　構造図による 工法　構造図による 試験杭　○ 行う（構造図による） ｱｰｽｵｰｶｰの支持地盤への掘削深さ　構造図による 杭の支持地盤への掘削深さ　構造図による 杭継手　○ ｱｰｸ溶接　○ 無溶接継手 杭の水平方向位置ずれ精度　構造図による 杭の載荷試験　○ 行う（構造図による） 継杭溶接部試験　○ 行う（浸透探傷試験　＿本） ● 直接基礎　載荷試験　○ 行う（下記以外は構造図による）
	2 地盤の載荷試験 (4.2.4)	平板載荷試験　試験箇所数　＿＿箇所　（試験位置図示） 設計地耐力　＿＿ t/㎡
	③ 砂利及び砂地業 (4.6.3)	厚さ（mm）　● 図示による　○ ６０ 材料　※ 再生クラッシャラン ○ 切込み砂利及び切込み砕石
	④ 捨てｺﾝｸﾘｰﾄ地業 (4.6.4)	厚さ（mm）　● 図示による　○ ５０
	⑤ 床下防湿層 (4.6.5)	ポリエチレンフィルム　厚さ0.15mm　重ね幅縦及び基礎梁際のみ込み　250mm以上 施工範囲　● 図示による ○ 建物内の土間スラブ（土間ｺﾝｸﾘｰﾄ含む）の直下（ﾋﾟｯﾄ下を除く） ○ 捨てｺﾝｸﾘｰﾄの直下
	⑥ 土間断熱材	押出法ポリスチレンフォーム３種ｂのスキン層付き 厚さ　※ ２５mm　● ３０mm
	7 地盤改良	○ 現場発生土を再利用する。　○ ＿＿＿＿ 改良方法 ＿＿＿＿ セメント及びセメント系固化剤を使用した改良土を使用する場合、六価クロム溶出試験を実施し、土壌環境基準を勘案して必要に応じ適切な措置を講じること。また、再利用しようとする場合は、基準以下であることを確認すること。 「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」（（一財）日本建築センター）を参考とすること。

TITLE	DATE				NO.
令和元年度　のびのび児童クラブ1組施設新築　工事設計図	2019．03．	COA 有限会社 コア建築事務所			A-02
NAME 特記仕様書-1	SCALE ／ ／	CHECK	PLAN	DRW	

章	項目	特記事項

5 鉄筋工事

① 鉄筋の種類 (5.2.1)

（表5.2.1）

	種類の記号	径（mm）	備考
異形鉄筋	※ SD295A	D16以下	
	※ SD345	D19以上	一般建築物の柱・梁の主筋に適用する
	○		

※ SD295AはFc:21以上の場合、壁筋及びスラブ筋に適用する。

② 溶接金網 (5.2.2)

網目の形状、寸法 150x150　鉄線の径 6 mm

③ 鉄筋の継手 (5.3.4) (5.5.2) (5.5.3)

部位	接合方法	径（mm）	重ね継手の長さ
※ 柱・梁の主筋 ○	○ 重ね継手　※ ガス圧接継手 ○ 機械式継手　○ 溶接継手	D19以上	○ 標仕表5.3.2による
※ その他	※ 重ね継手　○ ガス圧接継手 ○ 機械式継手　○ 溶接継手	D16以下	※ 構造図による

○ 機械式継手　種類 ＿＿＿　工法 ＿＿＿
品質確認方法、修正方法等 ＿＿＿
○ 溶接継手　種類 ＿＿＿　工法 ＿＿＿
品質確認方法、修正方法等 ＿＿＿
○ 鉄筋継手位置　※ 構造図による　○ 表5.3.3による
○ 柱に取付る梁の引張り鉄筋の定着長さ　※ 構造図による　○ 表5.3.4による

4 鉄筋のかぶり厚さ (5.3.5)

○ 軽量コンクリートで土に接する部分の鉄筋のかぶり厚さは下表による。
○ 塩害を受けるおそれのある部分等、耐久上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さは下表による。

施工箇所等	最小かぶり厚さ（mm）

機械式継手及び溶接継手のあき　○ ＿＿＿

5 圧接完了後の試験 (5.4.9)

試験方法　※ 超音波探傷試験　○ 引張試験

6 コンクリート工事

① コンクリートの強度 (6.2.1)

種類　※ 普通コンクリート　○ ＿＿＿
類別　※ Ⅰ類　○ Ⅱ類　（表6.2.1）

② コンクリートの強度 (6.2.2) (6.2.4) (6.14.1)

設計基準強度（Fc）

打設部位		Fc（N/mm2）	スランプ（cm）	備考
構造体	基礎	※ 21　○	※ 15　○ 18	
	上部	※ 21　○	○ 15　※ 18	土間スラブを含む
土間コンクリート		※ 18　○	※ 15　○ 18	側溝・犬走り
捨コンクリート		※ 18　○	※ 15　○ 18	
軽量コンクリート		※ 21　○	※ 15　○ 18	
無筋コンクリート		※ 18　○	※ 15　○ 18	標仕6.14.1による

※ 構造体コンクリートの発注強度は以下のとおりとする。
｛Fc＋構造体強度補正値（S）｝N/mm2
（6.14.1によるもの及び土間コンクリートは構造体強度補正は行わない）

③ セメントの類別 (6.3.1)

※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA
○ 高炉セメントのB種（適用箇所＿＿＿）
○ シリカセメント
○ フライアッシュセメントのB種（適用箇所＿＿＿）

④ 骨材 (6.3.1)

粗骨材　※ 砂利（JIS A5308）、砕石（JIS A5005）　○ 高炉ｽﾗｸﾞ　○ 電気炉酸化ｽﾗｸﾞ　○ 再生骨材H
細骨材　※ 砂（JIS A5308）、砕砂（JIS A5005）　○ 高炉ｽﾗｸﾞ　○ 電気炉酸化ｽﾗｸﾞ　○ 銅ｽﾗｸﾞ　○ ﾌｪﾛﾆｯｹﾙｽﾗｸﾞ　○ 再生骨材H
アルカリシリカ反応性による区分　※ A（無害）　○ ＿＿＿

⑤ 混和材料 (6.3.1)

混和剤　※ AE剤、AE減水剤又は高性能AE減水剤のⅠ種（JIS A 6204）
防錆剤　※ 鉄筋コンクリート用防錆剤（JIS A 6025）
混和材　※ フライアッシュ（JIS A 6201）Ⅰ種、Ⅱ種若しくはⅣ種
○ コンクリート用高炉スラグ微粉末（JIS A 6206）
○ コンクリート用シリカフューム（JIS A 6207）
○ コンクリート用膨張材（JIS A 6202）

⑥ 構造体強度補正値 (6.3.2)

※ 気温による構造体強度補正値（S）　（表6.3.2）

予想平均気温（℃） 普通	早強	補正値（S）	期間（打設日） 南部地域	中部地域	北部地域
8以上	5以上	3 N/m2	3/6 ～ 6/30 9/11～11/15	3/11～ 7/20 9/1 ～11/5	3/11～ 7/10 9/1 ～10/31
0以上 8未満	0以上 5未満	6 N/m2	11/16～ 3/5	11/6 ～ 3/10	11/1 ～ 3/10

南部地域（京都市（一部を除く）、旧八木町、旧園部町以南の市町村）
北部地域（宮津市、旧加悦町以北の市町）
中部地域（上記以外の市町、旧美山町及び旧京北町を含む）

⑦ 型枠（せき板） (6.2.5) (6.8.2) (6.8.3)

合板の規格　※「合板の日本農林規格」の「ｺﾝｸﾘｰﾄ型枠用合板の規格」による合板
合板の材種　※ 広葉樹合板、針葉樹合板又はこれらの複合合板
厚さ（mm）　※ 12　○ ＿＿＿

打放し仕上げのせき板
※ 合板せき板を用いる場合　（表6.2.4）

種別	板面の品質	施工箇所
○ A種	※ 6.8.3(b)(1)　○	
● B種	※ 6.8.3(b)(2)　○	
○ C種	※ 6.8.3(b)(2)　○	

○ 合板せき板を用いない場合
せき板の種別 ＿＿＿

外部に面する打放し仕上げの打増し厚さ　※ 図示による　○ 20mm
ひび割れ誘発目地の位置、形状及び寸法　※ 図示による　○ ＿＿＿

8 スリーブ (6.8.3)

スリーブの材種　（表6.8.1）

適用箇所	材種（規格その他）
水密を要する地中部分等	※ つば付き鋼管（JIS G3452 の黒管に厚さ6mm、つば幅50mm以上の鋼板を溶接したもの）
水密を要しない地中部分等	※ 硬質ポリ塩化ビニル管（JIS K6741 のVU）
上記以外の円形スリーブ	※ 溶融亜鉛めっき鋼板（径200mm以下は厚0.4mm以上、径200mmを超え350mm以下は厚0.6mm以上） ○

⑨ コンクリートの試験 (6.9.2)～(6.9.5)

※ フレッシュコンクリートの試験
○ 省略する

10 軽量コンクリート (6.10.1)

常時土又は水に直接接する部分の使用　○ 可　○ 不可
種別　○ 1種　※ 2種
施工箇所 ＿＿＿
気乾単位容積質量 ＿＿＿ t/m3

⑪ 寒中コンクリート

予想平均気温が表6.3.2に示す予想平均気温未満の場合には標仕第6章第11節（寒中コンクリート）による。

12 暑中におけるｺﾝｸﾘｰﾄの扱い (6.12.2)

※ 暑中における構造体強度補正値（S）

地域	日平均気温が25度を超える期間（打設日）	補正値
北部地域	7月11日～8月31日	※ 6N/m2
中部地域	7月21日～8月31日	○ 3N/m2
南部地域	7月 1 日～9月10日	

13 マスコンクリート (6.13.1) (6.13.2)

施工箇所 ＿＿＿
セメントの種類　○ 中庸熱ポルトランドセメント
○ 低熱ポルトランドセメント
○ 高炉セメントB種
○ フライアッシュセメントB種
○ 普通ポルトランドセメント
混和材料　混和剤　※ AE減水剤又は高性能AE減水剤（JIS A 6204）
○ ＿＿＿
混和材　○ フライアッシュのⅠ種若しくはⅡ種（JIS A 6201）又は高炉スラグ微粉末の3000又は4000（JIS A 6206）
○ ＿＿＿
スランプ　※ 15cm　○ ＿＿＿

⑭ ｺﾝｸﾘｰﾄﾐｷｻｰ車の過積載防止対策等

受注者は、出荷伝票等を整理・保管し、監督職員の請求があった場合は、遅滞なく提出するとともに、検査時に提示しなければならない。また、ミキサー車1台毎の積載量が把握できる集計表を検査時に提出しなければならない。

7 鉄骨工事

1 鉄骨の製作工場 (7.1.3)

※ 建築基準法第77条の56第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた（株）日本鉄骨評価センター及び（株）全国鉄骨評価機構（旧（社）全国鐵構工業協会）の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「（ＯＳＯＨＯＭＯＲＯＪ）グレード」として、国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場
○ 監督職員の承諾する工場（標準仕様書7.1．1以外の適用範囲に限る）

2 施工管理技術者 (7.1.3) (7.1.4)

適用する

3 鋼材の種別 (7.2.1)

材質、形状及び寸法　※ 図示による　○ ＿＿＿

4 高力ボルト (7.2.2) (7.4.2)

ボルトの区分　○ トルシア形高力ボルト
○ ＪＩＳ形高力ボルト
ボルト径　○ ＿＿＿
すべり係数試験　※ 行わない
○ 行う　試験方法等　○ 図示による　○ ＿＿＿

5 溶融亜鉛めっき高力ボルト (7.2.2) (7.4.2)

セットの種類　○ 1類（F8T相当）
摩擦面の処理
○ ブラスト処理（表面粗度50μmRz以上）
○ リン酸塩処理
すべり耐力等の確認方法　※ すべり耐力試験
試験方法等　○ 図示による　○ ＿＿＿

6 普通ボルト (7.2.3)

ボルト径　○ ＿＿＿

7 溶接材料 (7.2.5)

溶接材料
※ 標準仕様書7.2.5（a）（b）による
○ 図示による
○

8 ターンバックル (7.2.6)

胴の種類　※ 割枠式　○ パイプ式
ボルトの種類　※ 羽子板ボルト　○ 両ねじボルト　○ アイボルト

9 デッキプレート (7.2.7) (7.7.8)

材質、形状及び寸法　※ 図示による　○ ＿＿＿

10 工作図 (7.3.2)

高力ﾎﾞﾙﾄ、普通ﾎﾞﾙﾄのゲージ、ピッチ、ヘリあき等
※ 図示による　（図に無い場合は鉄骨設計基準による）

11 仮組 (7.3.10)

○ 実施する　部位（　　）
○ 実施しない

12 溶接技術者における技能資格者 (7.6.3)

溶接作業者の技量付加試験
※ 行わない
○ 行う　試験の要領　○ 図示による（　　）　○ ＿＿＿

13 溶接接合 (7.6.4) (7.6.7)

開先の形状
○ 図示による　○ 構造関係共通図（鉄骨標準図）による
○ ＿＿＿
エンドタブの切断　○ 有　○ 無
適用箇所　※ 図示による　○ ＿＿＿
スカラップの形状
○ 図示による　○ 構造関係共通図（鉄骨標準図）による
○ 改良型スカラップ

14 溶接部の試験 (7.6.11)

完全溶込溶接部の超音波探傷試験
※ 行う　○ 行わない
○ 工場溶接の場合
AOQL　○ 4.0%　○ 2.5%
検査水準　○ 第6水準（節全て）
○ 工場現場溶接の場合
AOQL　○ 4.0%　○ 2.5%

15 耐火被覆 (7.9.2)～(7.9.7)

種別

種別	材料・工法	適用箇所（部位・部分）
○ 耐火材吹付け	○ 乾式吹付ロックウール ○ 半乾式吹付ロックウール ○ 湿式ロックウール ○	
○ 耐火板張り	○ 繊維混入ケイ酸カルシウム板 ○	
○ 耐火材巻付け	○ 高断熱ロックウール ○	
○ ﾗｽ張りﾓﾙﾀﾙ塗り	―	

材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする

性能

種別	適用箇所（部位・部分）
○ 30分耐火	
○ 1時間耐火	
○ 2時間耐火	
○ 3時間耐火	

16 アンカーボルト (7.2.4) (7.10.3)

適用
○ 構造用アンカーボルト
材質　○ SNR400B　○ ＿＿＿
アンカーフレームの形状及び寸法
○ 図示による　○ ＿＿＿
○ 建方用アンカーボルト
材質　○ SS400
アンカーボルトの保持及び埋め込み方法　（表7.10.1）
種別　○ A種　○ B種　○ C種
柱底均しモルタルの厚さ　○ 50mm　○ 30mm

17 柱底均しモルタル (7.2.9) (7.2.10)

モルタルの種別　※ 無収縮モルタル　○ ＿＿＿
厚さ　※ 図示による　○ ＿＿＿
工法　※ A種　○ B種

18 錆止め塗料 (7.8.3) (18.3.2)

塗料の種別
○ 鉄鋼面の錆止め塗料
○ 表18.3.1による　※ A種　○ B種
○
○ 亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料
○ 表18.3.2による　※ A種　○ B種　○ C種
○
鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面（鉄骨に溶接されたものに限る）
○ 表18.3.1による　※ A種　○ B種
○ ＿＿＿
耐火被覆材の接着する面への塗装
○ 行わない　○ 行う

8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事

1 補強コンクリートブロック造 (8.2.2)～(8.2.4)

ブロックの種類　※ 16（C種）普通ブロック　○ 16−W（C種）防水ブロック
コンクリートの設計基準強度　Fo（N/mm2）
充填用及びまぐさ　※ 21以上　○ ＿＿＿
上記以外　※ 21以上　○ ＿＿＿
各部の配筋　※ 図示による

2 ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ帳壁及び塀 (8.3.2)

ブロックの種類　（表8.3.1）

適用箇所	種類の記号
間仕切壁、地下二重壁、外壁、塀	空洞ブロック　16
外壁の化粧積み	空洞ブロック　16−W

各部の配筋　※ 図示による
塀化粧ブロック　○ 有（　　）
ブロック塀の基礎及び控壁のコンクリートの設計基準強度　Fo（N/mm2）
※ 18 以上　○ ＿＿＿

3 ALCパネル (8.4.2)～(8.4.5)

パネルの種類　（表8.4.2）（表8.4.3）（表8.4.4）

区分	単位荷重（N/m²）	厚さ（mm）	構法	耐火性能
○ 外壁ﾊﾟﾈﾙ	※ 1180　○ 1960	※ 100 ○	○ A種 ※ B種	※ 有り（　時間） ○ 無し
○ 間仕切ﾊﾟﾈﾙ	※ 640　○	※ 100 ○	※ C種　○ E種 ○ D種	※ 有り（　時間） ○ 無し
○ 屋根ﾊﾟﾈﾙ	※ 980　○	※ 100 ○	※ F種	※ 有り（　時間） ○ 無し
○ 床ﾊﾟﾈﾙ	○ 2350　○ 3530	○ 100 ○ 150	※ F種	※ 有り（　時間） ○ 無し

外壁ﾊﾟﾈﾙの工法
※ 本特記仕様書「1章　一般共通事項　4　風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。
※ 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定める。
○ ﾊﾟﾈﾙ幅の最小限度を300mm以下とする場合　＿＿mm
ﾊﾟﾈﾙの出隅及び入隅のﾊﾟﾈﾙ結合部並びにﾊﾟﾈﾙと他部材との取り合い部の目地幅　＿＿mm
伸縮目地への耐火目地材の充填　○　適用する　○　適用しない

4 押出成形ｾﾒﾝﾄ板（ECP）(8.5.2)～(8.5.4)

種類　※ 無石綿タイプ（タイプⅡ）

施工箇所	表面形状	厚さ（mm）	工法	耐火性能
○ 外壁	※ フラットパネル ○ デザインパネル（図示） ○ タイルベースパネル	○ 35 ○ 50 ○ 60	○ A種 ○ B種	※ 有り （　時間） ○ 無し
○ 間仕切り	※ フラットパネル ○ デザインパネル（図示） ○ タオルベースパネル	○ 35 ○ 50 ○ 60	○ B種 ○ C種	○ 有り （　時間） ※ 無し

外壁ﾊﾟﾈﾙの工法
※ 本特記仕様書「1章　一般共通事項　4　風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。
※ 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定める。
ﾊﾟﾈﾙ相互の目地幅　○　図示による　○＿＿mm
出隅及び入隅のﾊﾟﾈﾙ結合部目地の目地幅　※ 15mm　○ ＿＿mm

やむを得ず書き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とする。ただし、欠損部分を考慮した強度を確認のうえ、施工計画書を提出すること。

		開口の大きさ	切断後のﾊﾟﾈﾙの残り部分の幅
ﾊﾟﾈﾙに開口を設ける場合	短辺		
	長辺		
ﾊﾟﾈﾙを切り欠く場合	短辺		
	長辺		

TITLE	DATE				
令和元年度　のびのび児童クラブ1組施設新築　工事設計図	2019．03．	COA 有限会社 コア建築事務所			NO. A-03
NAME 特記仕様書-2	SCALE ／ ／	CHECK	PLAN	DRW	

9 防水工事

1 アスファルト防水 (9.2.2)～(9.2.5)

（表9.2.3）～（表9.2.9）

種別		防水層	施工箇所
○保護防水	○A−1 ○A−2 ○A−3	表9.2.3	
	○AI−1 ○AI−2 ○AI−3	表9.2.4	
	○B−1 ○B−2 ○B−3	表9.2.5	
	○BI−1 ＊BI−2 ○BI−3	表9.2.6	
○露出防水	＊D−1 ○D−2 ○D−3	表9.2.7	施工箇所 / 仕上塗料 種類 / 仕上塗料 使用量
	○D−4		
	○DI−1 ＊DI−2	表9.2.8	
○屋内防水	＊E−1 ○E−2	表9.2.9	

断熱材（保護防水断熱工法）
厚さ ○＿＿mm
材質 ＊JIS A 9521による押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材3種bA（ｽｷﾝ層付き）又はJIS A 9511によるA種押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材の保温板3種b（ｽｷﾝ層あり）（ただし、特定フロンを含まないものとする。）
○＿＿＿＿＿＿

断熱材（露出防水断熱工法）
厚さ ○＿＿mm
材質 ＊JIS A 9521による硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱材2種1号若しくは2号で透湿係数を除く規格に適合するもの又はJIS A 9511によるA種硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温材の保温板2種1号若しくは2号で透湿係数を除く規格に適合するもの
○＿＿＿＿＿＿

ルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
＊図示による ○＿＿＿＿＿＿

絶縁用シート ＊ポリエチレンフィルム厚0.15（保護防水工法）
＊フラットヤーンクロス（70g/㎡程度）（保護防水断熱工法）
○＿＿＿＿＿＿

押え金物 ＊アルミニウム製 L−30×15×2.0 ○＿＿＿＿＿＿
立上り部の保護 ○乾式保護材 ○普通レンガ ○化粧レンガ ○＿＿＿＿
保護層 平場コンクリートの厚さ ○＿＿mm
○こて仕上げ＿＿mm
○床タイル張り等仕上げ＿＿mm
屋外排水溝 ＊図示による

2 改質アスファルトシート防水 (9.3.2)～(9.3.4)

種別 （表9.3.1）～（表9.3.3）

種別	防水層	施工箇所	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量
○AS−T1 ○AS−T2	表9.3.1			
○AS−T3 ○AS−T4 ○AS−J1	表9.3.2			
○ASI−T1 ○ASI−J1	表9.3.3			

断熱材（露出防水断熱工法）
厚さ ○＿＿mm
材質 ＊JIS A 9521による硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱材2種1号若しくは2号で透湿係数を除く規格に適合するもの又はJIS A 9511によるA種硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温材の保温板2種1号若しくは2号で透湿係数を除く規格に適合するもの
○＿＿＿＿＿＿

脱気装置（絶縁工法） ＊設ける 材種（ ） 設置数量（1箇所／＿＿m2）
防湿層（露出防水絶縁断熱工法） ○設ける ○設けない

3 合成高分子系ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ防水 (9.4.2)～(9.4.4)

種別 （表9.4.1）

種別	防水層	施工箇所	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量
○S−F1 PC部材入隅増張（＊有り ○無し）	表9.4.1		○カラー ○シルバー ○＿＿（露出の場合）	
○S−F2				
○S−M1 ○S−M2 ○S−M3				
○SI−F1 PC部材入隅増張（＊有り ○無し）	表9.4.2			
○SI−F2				
○SI−M1 ○SI−M2				
○S−C1	表9.4.3		ﾓﾙﾀﾙ塗り厚さ＿＿mm	

平場を保護コンクリート仕上げとする場合の厚さ ○＿＿mm
断熱材（断熱工法）
厚さ
材質 ○JIS A 9521（建築用断熱材）による硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱材2種1号又は2号で透湿係数を除く規格に適合するもの
○JIS A 9521（建築用断熱材）による押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材の1種b、2種b又は3種b
○JIS A 9511（発泡ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ保温材）によるA種硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規格に適合するもの
○JIS A 9511（発泡ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ保温材）によるA種押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材の保温板
○JIS A 9521（建築用断熱材）によるﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材の密度及び熱伝導率の規格に適合するもの又はJIS A 9511（発泡ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ保温材）によるA種ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材の密度及び熱伝導率の規格に適合するもの（接着工法のみ）
○＿＿＿＿＿＿

PCコンクリート部材下地の場合の目地処理 ○＿＿＿＿＿＿
絶縁用シート ＊発泡ポリエチレンシート ○＿＿＿＿＿＿
脱気装置 ○設ける 材種（ ） 設置数量（1箇所／＿＿m2）
固定金具の材質及び寸法形状
＊厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板及びそれらの片面又は両面に樹脂を積層加工した鋼板
○＿＿＿＿＿＿

9 防水工事

4 塗膜防水 (9.5.3)

防水下地がPCコンクリート部材下地及びALCパネル下地で種別S−C1の場合の処理
目地処理 ＊図示による ○＿＿
入隅部の増張り（S−F1、SI−F1、S−C1の場合）＊図示による ○＿＿
＊建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定める。

種別 （表9.5.1）（表9.5.2）

種別	防水層	施工箇所	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量
○X−1	表9.5.1			
○X−2				
○Y−1	表9.5.2	地下外壁防水		
○Y−2		屋内防水		

脱気装置（X−1） ○設ける 材種（ ） 設置数量（1箇所／＿＿m2）
保護層（Y−2） ○設ける

5 ｹｲ酸質系塗布防水 (9.6.3)

種別 （表9.6.2）

種別	防水層	施工箇所
○C−UI	表9.6.2	
○C−UP		

6 漏水試験

＊水張り試験を行う （ ○屋内 ○屋外 ）

7 保証書

＊受注者、防水施工業者、防水材料メーカーの連名による保証書を提出すること。
（保証年限は工事目的物引渡しより10年間以上とする。）

8 施工標識

工事完了後に監督職員の指示する位置へ取り付ける。
材質 ＊真鍮製エッチング仕上150×100 ○＿＿＿＿＿＿
設置数量 ＿＿箇所

9 シーリング (9.7.2)(9.7.3)(9.7.5)

シーリング材の種類 ＊表9.7.1による

目地寸法 コンクリートの打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地
＊幅20mm以上、深さ10mm以上 ○＿＿＿＿＿＿
ガラス回りの目地
＊幅5mm以上、深さ5mm以上 ○＿＿＿＿＿＿
その他の目地
＊幅10mm以上、深さ10mm以上 ○＿＿＿＿＿＿

シーリングの試験 ＊簡易接着性試験 （部位 ＿＿＿＿＿＿）
○引張接着性試験 （部位 ＿＿＿＿＿＿）

10 止水板

材質＿＿＿＿＿＿ 形状 ○差込式 ○据置式 ○壁張り式
適用範囲 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

10 石工事

1 天然石張り (10.2.1)

石の品質 床用石材 ○1等品 ＊2等品
壁及びその他の石材 ＊1等品 ○2等品
石の種類・表面仕上げ （表10.2.1）

施工箇所	種類（産地、名称、形状、寸法）	表面仕上げの種類

2 テラゾ張り (10.2.1)

（表10.2.2）

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ	形状・寸法等	表面仕上げ
	＊大理石 ○	＊1.5～12mm ○		

3 壁の石張り工法 (10.2.2)(10.2.3)(10.3.3)(10.4.3)(10.5.3)

外壁石張り
工法 ○外壁湿式工法（＊流し筋工法 ○あと施工ｱﾝｶｰ工法 ○あと施工ｱﾝｶｰ横筋流し工法）
受金物の材質、形状及び寸法 ○＿＿＿＿＿＿
○乾式工法 ＊建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定める。
（ ○スライド方式 ○ロッキング方式 ）
石の厚さ＿＿mm
裏面及び裏打ち処理 ＊行わない ○行う（表面処理の場合小口共）
ドレンパイプ ＊ステンレスSUS304 ○＿＿＿＿＿＿
目地 ○一般目地幅＿＿mm
○伸縮調整目地位置＿＿＿＿
○シーリング材の目地寸法＿＿mm

内壁石張り
工法 ○内壁空積工法（＊あと施工アンカー横筋流し工法 ○あと施工アンカー工法）
○乾式工法（ ○スライド方式 ○ロッキング方式 ）
石の厚さ＿＿mm
裏面及び裏打ち処理 ＊行わない ○行う
目地 ○一般目地幅＿＿mm
○伸縮調整目地位置＿＿＿＿
○シーリング材の目地寸法＿＿mm

10 石工事

4 床及び階段の石張り (10.6.2)(10.6.3)

石の厚さ＿＿mm
石裏面処理 ＊行わない ○行う
目地 ○一般目地幅＿＿mm
○伸縮調整目地位置＿＿＿＿
○シーリング材の目地寸法＿＿mm
屋内のワックス掛け ○行わない ＊行う

5 特殊部位の石張り (10.2.2)(10.7.1)～(10.7.4)

アーチ、上げ裏等
取付工法 ○外壁湿式工法 ○内壁空積工法 ○乾式工法
取付工法 ○＿＿＿＿＿＿
石の厚さ＿＿mm
裏面及び裏打ち処理 ＊行わない ○行う
目地 ○一般目地幅＿＿mm
○伸縮調整目地位置＿＿＿＿
○シーリング材の目地寸法＿＿mm

笠木、甲板等
取付工法 ○外壁湿式工法 ○内壁空積工法 ○乾式工法
取付工法 ○＿＿＿＿＿＿
石の厚さ＿＿mm
石裏面処理 ＊行わない ○行う
石材裏面の補強用モルタル（乾式工法） ＊行わない ○行う
目地 ○一般目地幅＿＿mm
○伸縮調整目地位置＿＿＿＿
○シーリング材の目地寸法＿＿mm

隔て板
石の厚さ＿＿mm

11 タイル工事

1 伸縮調整目地等 (11.1.3)

外壁 ＊表11.1.1による ○図示による
屋内壁面 ＊図示による ○＿＿＿＿
床面 ＊表11.1.1による ○＿＿＿＿

2 施工後の確認及び試験 (11.1.5)

浮きの確認 ＊全面打診による確認を行う
接着力の試験 ＊接着力試験機による引張接着強度の測定を行う ○行わない

③ セラミックタイル張り (11.2.2)(11.3.2)(11.4.2)

タイルの種類

施工箇所・ﾀｲﾙの種類	形状・寸法(mm)	生地	釉薬	耐凍害性	耐滑り性	役物	色	工法その他
玄関	100角	●磁器 ○陶器 ○せっ器	●無釉 ○施釉	●有り ○無し		○有り ●無し	＊標準 ○特注	
玄関ﾎﾟｰﾁ	100角	●磁器 ○陶器 ○せっ器	●無釉 ○施釉	●有り ○無し		●有り ○無し	＊標準 ○特注	
スロープ	100角	●磁器 ○陶器 ○せっ器	●無釉 ○施釉	●有り ○無し		○有り ●無し	＊標準 ○特注	ｽﾛｰﾌﾟ用ﾀｲﾙ

タイルの試験張り ＊行わない ○行う
タイルの見本焼き ＊行わない ○行う
●参考ﾒｰｶｰ（INAX：ピアッツア ○XSｼﾘｰｽﾞ 又は同等品）
○MCR工法 ○目荒し工法

4 下地及びタイルごしらえ (11.2.7)

5 張付け用材料 (11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量 ＊F☆☆☆☆ ○＿＿＿＿

6 セラミックタイル型枠先付け (11.4.2)(11.4.3)

タイルの種類

施工箇所・ﾀｲﾙの種類	形状・寸法（mm）	生地	釉薬	役物	色	工法その他
		○磁器 ○陶器 ○せっ器	○無釉 ○施釉	○有り ○無し	＊標準 ○特注	
		○磁器 ○陶器 ○せっ器	○無釉 ○施釉	○有り ○無し	＊標準 ○特注	

タイルの試験張り ＊行わない ○行う
タイルの見本焼き ＊行わない ○行う

12 木工事

① 揮発性有機化合物対策 (12.2.1)(12.2.2)

材料（集成材、合板等）のホルムアルデヒド放散量
表示がある場合 ＊F☆☆☆☆ ○＿＿＿＿
表示がない場合 ＊非ホルムアルデヒド系接着剤使用（塗装していないもの）
＊非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用（塗装したもの）
＊非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用（化粧加工したもの）
○＿＿＿＿＿＿
接着剤のホルムアルデヒド放散量 ＊F☆☆☆☆ ○＿＿＿＿

12 木工事

② 表面仕上げ (12.1.4)

機械加工による仕上げの程度 ○A種 ●B種 ○C種 （表12.1.1）

③ 含水率 (12.2.1)

下地材 ＊A種（15%以下） ○B種（20%以下） （表12.2.1）
造作材 ＊A種（15%以下） ○B種（18%以下）
以下に規定されているものは、その規定による。

④ 製材 (12.2.1)

「製材の日本農林規格」による製材
●下地用針葉樹製材

使用箇所	樹種	寸法	等級	形状	含水率
通気胴縁 内部胴縁	米松	15×45以上	○1級 ＊2級	板類	15%以下

●造作用針葉樹製材

使用箇所	樹種	寸法	等級	形状	含水率
枠,額縁,敷居 畳寄せ	米松 杉	図示 図示	○無節 ＊上小節 小節 ○並	板類	15%以下

○広葉樹製材

使用箇所	樹種	寸法	等級	形状	含水率
			○特等 ＊1等 ○2等		＊10%以下 ○

「製材の日本農林規格」以外の製材 （表12.2.2）

使用箇所	樹種	寸法	等級	防虫処理	難燃処理	含水率
			＊A種 ○B種			

5 樹種 (12.2.1)

使用木材のうち杉、ひのきについては京都府内産木材とする。
○工事完成までに、京都府内産木材証明書及びｸﾚｼﾞｯﾄ・ﾏｲﾚｰｼﾞ・CO2計算書を提出すること。
証明書及び計算書の発行に係る手続きについては次の機関による。
京都府地球温暖化防止活動推進センター
TEL：075−211−8895 URL：http://www.kcfca.or.jp/wood/index.php
注）証明書は製材所、流通業者の全てが取扱い事業体でなければ発行されない。
詳細は上記URLを参照すること。
○工事完成までに、京都府内産木材の産地証明書を提出すること。
代用材種 ＊可（表12.2.3）（上記府内産木材の他、特記されているものは不可）
○不可

6 集成材 (12.2.1)

「集成材の日本農林規格」による造作用集成材
○造作用集成材

使用箇所	樹種	寸法	見付材面の品質
			＊1等 ○2等

○化粧ばり造作用集成材

使用箇所	化粧樹種名	芯材樹種名	寸法	化粧板厚	見付材面の品質
					＊1等 ○2等

○化粧ばり構造用集成柱

使用箇所	化粧樹種名	芯材樹種名	寸法	化粧板厚

「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材
○造作用集成材

使用箇所	樹種	寸法	見付材面の品質	含水率
				＊15%以下 ○

○化粧ばり造作用集成材

使用箇所	化粧樹種名	芯材樹種名	寸法	化粧板厚	見付材面の品質	含水率
						＊15%以下 ○

○化粧ばり造作用集成柱

使用箇所	化粧樹種名	芯材樹種名	寸法	化粧板厚	見付材面の品質	含水率
						＊15%以下 ○

「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材
○造作用単板積層材

使用箇所	厚さ	表面の品質	防虫処理
		○表面化粧加工なし ○1等 ○2等 ○3等 ○表面化粧加工あり ○天然木化粧加工 ○塗装加工	○適用する ○適用しない

「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材
○造作用単板積層材

使用箇所	厚さ	表面の品質	含水率	防虫処理
		○表面化粧加工なし ○＿＿ ○表面化粧加工あり ○天然木化粧加工 ○塗装加工	＊14%以下 ○	○適用する ○適用しない

TITLE 令和元年度 のびのび児童クラブ1組施設新築 工事設計図	DATE 2019. 03.	COA 有限会社 コア建築事務所		NO. A−04
NAME 特記仕様書−3	SCALE / /	CHECK	PLAN	DRW

12 木工事

⑦ 床張り用合板 (12.2.1)

普通合板

使用箇所	厚さ	樹種名	接着程度	板面の品質	その他処理
※押入れ、物入れ	※5.5mm ○____		※1類 ○2類	広葉樹 ※2等以上 ○_____ 針葉樹 ※C－D以上 ○_____	○防虫処理

構造用合板

使用箇所	等級	厚さ	樹種名	接着程度	板面の品質	その他処理
※畳床下地材、ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ張り下地材 屋根,外壁下地材	※2級以上 ○_____	※12mm ●9mm		※1類 ○特類	※C－D以上 ○_____	○防虫処理

パーティクルボード

使用箇所	厚さ	板面の品質
	※15mm ○____	※13Pタイプ又は13Mタイプ ○_____

構造用パネル

使用箇所	等級	厚さ

⑧ 防腐、防蟻及び防虫処理 (12.3.1) ~(12.3.2)

防腐・防蟻処理　※行う（○木材保存剤の加圧注入　●木材保存剤の塗布　）
○行わない

防虫処理　※行う（範囲：ﾗﾌﾀ材等　※「製材の日本農林規格」による保存処理の性能区分　K1）
○行わない

13 屋根及びとい工事

① 性能

※本特記仕様書「1章　一般共通事項　4　風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。

② 長尺金属板葺 (13.2.2) (13.2.3)

（表13.2.1）

屋根葺形式	材料の種類等	厚さ(mm)	下葺材料
○横葺 ●瓦棒葺 ○平葺	※JIS G 3322の屋根用コイル ○_____	●0.4	●ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ940 ○改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ下葺材 ○一般タイプ ○複層基材タイプ ○粘着層付タイプ

専門工事業者　※製造所の指定業者とする　○_____

※建築基準法に基づき定まる風圧力・積雪荷重に対応した工法を品質計画により定める。

3 折板葺 (13.3.2)

形式による区分	※重ね形　○はぜ締め形　○嵌合形		
山高（mm）		耐力	
山ピッチ（mm）		板厚（mm）	※0.6　○0.8
材料による区分	※塗装溶融亜鉛めっき鋼板　○		（表13.2.1）
軒先面戸板	※有り（軒先面戸・換気面戸）　○無し		
けらば変形防止材	○鉄鋼製（上塗り　※折板色　○　　）　○ｽﾃﾝﾚｽ鋼製		
断熱材張り　○行う	種類（　　）厚さ（　　）	防火性能（　30分　）	

※建築基準法に基づき定まる風圧力・積雪荷重に対応した工法を品質計画により定める。

4 粘土瓦葺 (13.4.2) (13.4.3)

種類、大きさ、産地等　※J型53A　○_____
役物瓦の種類　_____
雪止め瓦の使用　○有　○無
※建築基準法に基づき定まる風圧力・積載荷重に対応した工法を品質計画により定める。

⑤ とい（雨水） (13.5.2) (13.5.3)

といの材種　○配管用鋼管　●硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管　○_____（表13.5.1）
（屋内といにVP管は使用しない）
掃除口　※設ける（開放性のある自転車置場のといを除く）
鋼管製といの防露　※行う　（施工箇所　※表13.5.5による　○_____　）
防露材のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　○_____
軒樋：参考ﾒｰｶｰ（ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ：ｻｰﾌｪｽｸﾌｧ　FS－Ⅱ　又は同等品）
竪樋：参考ﾒｰｶｰ（ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ：たてとい75　又は同等品）

⑥ 保証書

※受注者、屋根施工業者、屋根材料メーカーの連名による保証書を提出すること。
（保証年限：工事目的物引渡しより10年間以上とする）

14 金属工事

1 一般事項 (14.1.3)

あと施工アンカーの引抜き試験　※行う（____箇所以上、____N/箇所）
○行わない

2 ステンレスの表面仕上げ (14.2.1)

種類	施工箇所（手すり、タラップ、建具以外）
※HL程度	下記以外の見掛り全て
○No.2B程度	
○鏡面仕上げ	

（表14.2.1）

種別	種類	施工箇所（手すり、成形板、笠木、建具以外）

3 ｱﾙﾐﾆｳﾑ及びｱﾙﾐﾆｳﾑ合金の表面処理 (14.2.2)

陽極酸化皮膜の着色方法
※二次電解着色　○三次電解着色　○_____

（表14.2.2）

表面処理方法	種別	試験	施工箇所
○溶融亜鉛めっき	○A種　○B種　※C種	○行う	手すり　門扉
○電気亜鉛めっき	○D種　○E種　○F種	○行う	

4 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.3)

5 軽量鉄骨天井下地 (14.4.2) (14.4.4)

（表14.4.1）

野縁等の種類　屋内　※19型　○25型
屋外　○19型　※25型
屋外の野縁受け・吊りボルト・インサートの間隔　_____mm
屋外の周辺部の端からの寸法　_____mm
屋外の野縁の間隔　_____mm
屋外のはずれ留め補強　※有り　○無し
開口補強
吊りボルト間隔が900mmを超える場合の補強方法　※図示による　○_____
天井のふところ（1.5m以上3m以下）　※行う
（3m超える）　※行う（　図示による　）
天井下地材における耐震性を考慮した補強　○行う　○行わない
屋外の軒天井、ピロティ天井等における耐風圧性を考慮した補強　○行う　○行わない

6 軽量鉄骨壁下地 (14.5.3)

スタッド、ランナー等の種類　（表14.5.1）
※表14.5.1 におけるｽﾀｯﾄﾞの高さによる区分に応じた種類　○_____
スタッドの高さが5mを超える場合
※図示による　○_____

7 金属成形板張り (14.6.3)

（表14.2.1）

形状	製法	材種	寸法(mm)	表面処理
○スパンドレル形	○押出し ○ロール	※ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 ○	板厚_____ 板幅_____	○B－1種（無着色） ○B－2種（着色） ○C－1種（無着色） ○C－2種（着色） ○D種
○パネル形	※プレス			

伸縮調整継手　※設けない　○設ける（施工箇所は図示）

8 アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3)

（表14.7.1）

種類	板厚(mm)	表面処理	備考
○250形	1.6	○	隅角部及び突当たり部等の役物は本体製造所の仕様による。
○300形	1.8		
○350形	2.0		
○			

建築基準法に基づき定まる風圧力・積雪荷重に対応した固定金具の間隔、固定方法等
※図示による　○_____

⑨ 手すり (14.8.2)

材料及び表面処理	施工箇所
※ステンレス製SUS304　※HL程度　○鏡面程度	玄関ポーチ
○鋼製　亜鉛めっき　外部　※C種　内部　※E種	
○アルミニウム製　※B－1　○	

10 タラップ及び丸環 (14.8.3)

材種　※ステンレス製SUS304（表面処理　※研磨なし　）
○_____

11 天井点検口

※アルミニウム製既製品（450×450）_____箇所
○アルミニウム製既製品（600×600）_____箇所

12 床点検口

○アルミニウム製既製品（600×600）_____箇所
○ステンレス製既製品　（600×600）_____箇所
○鋳鉄製マンホール蓋　_____型　_____φ　_____箇所

13 屋上点検口

寸法（mm）○φ600　○500角
断熱材　○有り　○無し

15 左官工事

① モルタル塗り (15.2.2) ~(15.2.5)

既製目地材
○適用する　（形状　_____）
床塗り
目地の設置　※有り（※押目地　○_____）
●無し
外壁タイル張り下地等の下地モルタル塗りの確認及び試験
浮きの確認　※全面打診による確認行う
接着力試験　※行う　○行わない

2 セルフレベリング材塗り (15.4.2)

※種類及び品質は　表15.4.1 による
○せっこう系　○セメント系
厚さ（mm）※10　○15

3 仕上塗材仕上げ (15.5.2)

内装塗材のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　○_____

薄付け仕上塗材（JIS A 6909）（表15.5.1）

種類（呼び名）	仕上げ		工法	備考
○外装薄塗材Si	○砂壁状	○ゆず肌状	吹付け	
	○ゆず肌状	○さざ波状	ローラー	
○可とう形外装薄塗材Si	○砂壁状	○ゆず肌状	吹付け	
	○ゆず肌状	○さざ波状	ローラー	
○外装薄塗材E	○砂壁状	○ゆず肌状	吹付け	
	○平たん状	○凹凸状	こて塗	
	○ゆず肌状	○さざ波状	ローラー	
	○着色骨材砂壁状	○吹付け	○こて塗	
○可とう形外装薄塗材E	○砂壁状	○ゆず肌状	吹付け	
	○平たん状	○凹凸状	こて塗	
	○ゆず肌状	○さざ波状	ローラー	
○防水形外装薄塗材E（○増塗材）	○ゆず肌状	○さざ波状	ローラー	
	○凹凸状		吹付け	
○外装薄塗材S	砂壁状		吹付け	
○内装薄塗材C ○内装薄塗材L	○凹凸状		吹付け	○調湿形
	○平たん状	○凹凸状	こて塗	
	○ゆず肌状	○さざ波状	ローラー	
○内装薄塗材Si ○内装薄塗材E	○砂壁状じゅらく	○ゆず肌状	吹付け	
	○平たん状	○凹凸状	こて塗	
	○ゆず肌状	○さざ波状	ローラー	
○内装薄塗材W	○京壁状じゅらく	○ゆず肌状	吹付け	○調湿形 ○耐アルカリ性 ○耐湿性
	○平たん状	○凹凸状	こて塗	

厚付け仕上塗材（JIS A 6909）（表15.5.1）

種類（呼び名）	仕上げ		工法	備考
○外装厚塗材C（○上塗材）	○吹放し	○凸部処理	吹付け	
	○平たん状	○凹凸状	こて塗	
	○ひき起し	○かき落とし		
○外装厚塗材Si ○外装厚塗材E（○上塗材）	○吹放し	○凸部処理	吹付け	
	○平たん状	○凹凸状	○こて塗	
	○ひき起し		○ローラー	
○内装厚塗材C	○吹放し	○凸部処理	吹付け	○調湿形
	○平たん状	○凹凸状	こて塗	
	○ひき起し	○かき落とし		
○内装厚塗材L	○平たん状	○凹凸状	こて塗	
	○ひき起し	○かき落とし		
○内装厚塗材G	○平たん状	○凹凸状	こて塗	
	○ひき起し	○かき落とし		
○内装厚塗材Si ○内装厚塗材E	○吹放し	○凸部処理	吹付け	
	○平たん状	○凹凸状	○こて塗	
	○ひき起し		○ローラー	

複層仕上塗材（JIS A 6909）（表15.5.1）

種類（呼び名）	仕上げ		工法	備考
○複層塗材CE ○複層塗材S1 ○複層塗材E	○凸部処理 ○凹凸状		吹付け	
○複層塗材RE	○ゆず肌状		ローラー	
○可とう形複層塗材CE	○凸部処理	○凹凸状	吹付け	
	○ゆず肌状		ローラー	
○防水形複層塗材CE ○防水形複層塗材E ○防水形複層塗材RE	○凸部処理 ○凹凸状		吹付け （○増塗材）	
○防水形複層塗材RS	○ゆず肌状		ローラー	

複層仕上塗材の耐候性　※耐候形3種　○_____
複層仕上塗材の上塗材　溶媒　※水系　○弱溶剤系　○溶剤系
樹脂　※アクリル系　○_____
外観　※つや有　○つやなし　○メタリック

15 左官工事

軽量骨材仕上塗料（JIS A 6909）（表15.5.1）

種類（呼び名）	仕上げ	工法	備考
○吹付用軽量塗材	砂壁状	吹付け	
○こて塗用軽量塗材	平たん状	こて塗	

4 仕上塗材の下地処理 (15.5.4)

ALCパネルの内壁目地部の形状　※V型目地付き　○_____

5 マスチック塗材塗り (15.6.2)

種別　○A種　※B種　（表15.6.1）
仕上塗り　種類_____　適用箇所_____

6 ロックウール吹付け (15.8.2) (15.8.3)

吹付け厚さ（mm）	施工箇所
	※仕上げ表による

ﾛｯｸｳｰﾙのホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　○_____
接着剤のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　○_____

16 建具工事

① 性能

※本特記仕様書「1章　一般共通事項　4　風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。

2 防火戸 (16.1.3)

※図示による　○_____

3 見本の製作等 (16.1.4)

建具見本の製作　○行う　（建具番号　_____）
特殊な建具の仮組　○行う　（建具番号　_____）

4 防犯建物部品 (16.1.6)

開口部の進入防止対策上有効な措置が講じられた「防犯建物部品」を適用する箇所
・ドア　適用箇所（　　）
・サッシ　適用箇所（　　）
・シャッター　適用箇所（　　）

⑤ アルミニウム製建具 (16.2.2) ~(16.2.4)

外部に面するアルミニウム製建具の性能等級　（表16.2.1）

性能等級	※A種	●B種	○C種
耐風圧性	※S－4　○	※S－5　●S－3	※S－6　○
気密性	※A－3	●A－4	※A－4　○
水密性	※W－4　○		※W－5　○
枠見込み（mm）	※図示　○70　○100		※100　○

●木造用住宅サッシ
表面処理　（表14.2.1）

種類	色	施工箇所
○B－1種	○標準　○特注	※図示による　○
●B－2種	●標準　○特注	※図示による　○
○	○標準　○特注	
○	○標準　○特注	

○防音ドアセット、防音サッシとする場合（遮音性の等級　_____）
○断熱ドアセット、断熱サッシとする場合（断熱性の等級　_____）
○耐震ドアセットとする場合　（面内変形追随性の等級　_____）
結露水の処理方法　※図示による　○_____
水切り、ぜん板等　※図示による　○_____
※出入口のくつずりにステンレスを使用する場合は図示による。

⑥ 網戸 (16.2.3)

防虫網　網の種別　※合成樹脂製　○ガラス繊維入り合成樹脂製
○ステンレス製（SUS316）
形式　※外部可動式　○固定式
線径、網目　※0.25mm以上、16~18メッシュ　○_____

7 樹脂製建具 (16.3.2) (16.3.4)

外部に面する樹脂製建具の性能等級　（表16.3.1）

性能等級	○A種	○B種	○C種
耐風圧性	※S－4　○	※S－5　○	※S－6　○
気密性	※A－3　○		
水密性	※W－4　○	※W－5　○	
枠見込み（mm）	※図示　○		

○防音ドアセット、防音サッシとする場合（遮音性の等級　○T－1　○T－2　○_____）
○断熱ドアセット、断熱サッシとする場合（断熱性の等級　○H－4　○H－5　○_____）

ガラス　※複層ガラス　○単板ガラス　○三重ガラス　○_____
表面色　○標準色　○特注色

TITLE	令和元年度　のびのび児童クラブ1組施設新築　工事設計図	DATE 2019. 03.	COA 有限会社 コア建築事務所		NO. A-05
NAME	特記仕様書-4	SCALE / /	CHECK	PLAN	DRW

章	項目	特記事項
16 建具工事	8 鋼製建具 (16.4.2)~(16.4.4)	外部に面する建具の耐風圧性　○S-4　○S-5　○S-6　(表16.2.1) 簡易気密扉の気密性、水密性　＊適用する　○適用しない　(表16.4.1) ○防音ドアセット、防音サッシとする場合（遮音性の等級 ＿＿＿） ○断熱ドアセット、断熱サッシとする場合（断熱性の等級 ＿＿＿） ○耐震ドアセットとする場合　（面内変形追随性の等級 ＿＿＿） JISただし書き建具の寸法許容差（これ以外は縣仕による） ＊製造所標準製作規定寸法許容差による 鋼板　○溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯（JIS G 3302による） めっきの付着量　＊Z12又はF12を満足するもの　○＿＿＿ ○溶融亜鉛－5%ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金めっき鋼板及び鋼帯（JIS G 3317による） めっきの付着量　＊Y08を満足するもの　○＿＿＿ 鋼板類の厚さ　＊表16.4.2（片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く） ○＿＿＿mm
	9 鋼製軽量建具 (16.5.2)~(16.5.4)	簡易気密型ドアセットの気密性　＊適用する（A－3）　○適用しない ○防音ドアセット、防音サッシとする場合（遮音性の等級 ＿＿＿） ○断熱ドアセット、断熱サッシとする場合（断熱性の等級 ＿＿＿） ○耐震ドアセットとする場合　（面内変形追随性の等級 ＿＿＿） 鋼板　＊表面処理亜鉛めっき鋼板　○ビニル被覆鋼板 ○カラー鋼板　○ステンレス鋼板 鋼板類の厚さ　＊表16.5.1（片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く） ○＿＿＿mm
	10 ステンレス製建具 (16.6.2)~(16.6.4)	外部に面する建具の耐風圧性　○S-4　○S-5　○S-6　(表16.2.1) 簡易気密扉の気密性、水密性　＊適用する　○適用しない　(表16.4.1) ○防音ドアセット、防音サッシとする場合（遮音性の等級 ＿＿＿） ○断熱ドアセット、断熱サッシとする場合（断熱性の等級 ＿＿＿） ○耐震ドアセットとする場合　（面内変形追随性の等級 ＿＿＿） ステンレス鋼板　＊JIS G 4305 ステンレス鋼板（屋外）　＊SUS304　○SUS430J1L　○SUS443J1 ステンレス鋼板（屋内）　＊SUS304　○SUS430J1L　○SUS443J1　○SUS430 JISただし書き建具の寸法許容差（これ以外は縣仕による） ＊製造所標準製作規定寸法許容差による 表面仕上げ　＊HL　○鏡面 曲げ加工　＊普通曲げ　○角出し曲げ
	⑪ 木製建具 (16.7.2)	建具材の含水率の種別　○A種　＊B種　○C種 代用樹種の通用　＊可　○不可 フラッシュ戸 表面材の合板の種類の適用及び品質等　○＿＿＿ 表面板の厚さ　＊図示による　○＿＿＿ かまち戸 かまち及び鏡板の樹種　＊図示による　○＿＿＿ 見込み寸法　＊36mm　○＿＿＿ ふすま 上張りの種類　＊図示による　○＿＿＿ 見込み寸法　＊19.5mm　○＿＿＿ 戸ぶすま 見込み寸法　＊30mm　○＿＿＿ 紙張り障子 見込み寸法　＊30mm　○＿＿＿ 接着剤のホルムアルデヒド放散量　＊F☆☆☆☆　○＿＿＿
	⑫ 建具用金物 (16.8.2)~(16.8.4)	マスターキーの製作 ＊作成する（＿＿グループ、各グループ＿＿個）　●作成しない ○在来マスターキーに合わせる 開き戸　(表16.8.1) ○シリンダー箱錠　○握り玉：ｽﾃﾝﾚｽ　○ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ：ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金、（○ｽﾃﾝﾚｽ、○黄銅）　○取付位置（　）　実用性能項目　＊ｸﾞﾚｰﾄﾞ3以上（鋼製建具、鋼製軽量建具、ｽﾃﾝﾚｽ建具）　○＿＿＿　耐じん性能のｸﾞﾚｰﾄﾞ　○＿＿＿ ○本締り錠　ｼﾘﾝﾀﾞｰｶﾗｰ：ｽﾃﾝﾚｽ　実用性能項目　＊ｸﾞﾚｰﾄﾞ3以上（鋼製建具、鋼製軽量建具、ｽﾃﾝﾚｽ建具）　○＿＿＿　耐じん性能のｸﾞﾚｰﾄﾞ　○＿＿＿ ○空錠　○握り玉：ｽﾃﾝﾚｽ（○黄銅）　○ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ：ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金、　○取付位置（　）

章	項目	特記事項
16 建具工事		○グレモン錠　ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ：亜鉛合金、（○ｽﾃﾝﾚｽ）　○取付位置（　） ケースハンドル錠　ステンレス 点検口錠　亜鉛合金程度、（○ｽﾃﾝﾚｽ） 丁番　ｽﾃﾝﾚｽ、（○黄銅） ○ピボットヒンジ　ｶﾊﾞｰ部：ｽﾃﾝﾚｽ、（○亜鉛合金）　亜鉛合金は木製建具用のみ 点検口軸吊りヒンジ　建具製作所の仕様による　○自開装置付き ○フロアヒンジ　ｶﾊﾞｰ部：ｽﾃﾝﾚｽ、（本体は銅）　ドアクローザー ○ﾋﾝｼﾞｸﾛｰｻﾞｰ（丁番型）　銅（焼付け塗装）　○遅延閉り機能付き ○ﾋﾝｼﾞｸﾛｰｻﾞｰ（ﾋﾟﾎﾞｯﾄ型）　ｶﾊﾞｰ部：ｽﾃﾝﾚｽ、（本体は銅） ○ドアクローザー　本体：ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金　ｱｰﾑ部：銅（焼付け塗装） 閉鎖順位調整器　ｽﾃﾝﾚｽ、（○銅） ○押棒・押板　（○ｽﾃﾝﾚｽ、○黄銅、○合成樹脂）　○取付位置（　） 上げ落し（フランス落し）　亜鉛合金程度、（○ｽﾃﾝﾚｽ） ○ｱｰﾑｽﾄｯﾊﾟｰ　銅（ｸﾛｰﾑめっき）、（○ｽﾃﾝﾚｽ） ○戸当り　亜鉛合金程度、（○ｽﾃﾝﾚｽ　○黄銅）　○あおり止め付き
	引き戸 (表16.8.1)	金物の種類 / 見え掛り部の材質 / その他 ●引戸用錠　建具製作所の仕様による。　木製建具の場合：ｼﾘﾝﾀﾞｰｶﾗｰ等はｽﾃﾝﾚｽ ○クレセント　○取付位置（　） ●引手類　木製建具の場合：ｽﾃﾝﾚｽ（○黄銅） ●戸車（上吊りの場合を除く） ●レール（上吊りの場合を除く）　ステンレス、（○ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金、○黄銅）　黄銅は木製建具用のみ
	12 自動ﾄﾞｱ開閉装置 (16.9.2)~(16.9.4)	(表16.9.1)～(表16.9.3) 種類 / 開閉装置性能値 / センサの種類 / その他 片引き 引き分け：○SSLD－1 ＊表5.8.1　○SSLD－2 ○＿＿＿　○ﾏｯﾄｽｲｯﾁ　○ﾀｯﾁｽｲｯﾁ　○光線ｽｲｯﾁ　○押しﾎﾞﾀﾝｽｲｯﾁ　○熱線ｽｲｯﾁ　○ﾍﾞﾀﾞﾎﾞｽｲｯﾁ　○音波ｽｲｯﾁ　○多機能ﾄｲﾚｽｲｯﾁ　補助センサを併用する ○ODSLD－1　○ODSLD－2 片開き：○OSWD－1 ＊表5.8.2　○OSWD－2 ○＿＿＿　○光電ｽｲｯﾁ　○電波ｽｲｯﾁ 凍結防止装置　○設ける　○設けない
	13 自閉式上吊り引戸装置 (16.10.3)	性能値等の区分　(表16.10.1) 適用戸の総質量（kg）　○40以下　○40を超えるもの 手動開き力（N）　＊15以下　○　＊20以下　○ 手動閉じ力（N）　＊15以下　○　＊20以下　○ 性能等 ＿＿＿ 品質・規格 ＿＿＿
	14 重量シャッター (16.11.2)~(16.11.4)	種類　○管理用シャッター（ｼｬｯﾀｰｹｰｽ　○設ける）　耐風圧強度 ＿＿＿ ○外壁用防火シャッター（ｼｬｯﾀｰｹｰｽ　＊設ける）　耐風圧強度 ＿＿＿ ○屋内用防火シャッター（ｼｬｯﾀｰｹｰｽ　＊設ける） ○屋内用防煙シャッター（ｼｬｯﾀｰｹｰｽ　＊設ける） 開閉方法　＊上部電動式（手動併用）　○上部手動式（電動式シャッターには保護装置を設ける。） スラット及びシャッターケース用鋼板 材質 / めっきの付着量 ○JIS G 3302　○Z12又はF12を満足するもの　○ ○JIS G 3312　○Z12又はF12を満足するもの　○
	15 軽量シャッター (16.12.2)~(16.12.4)	開閉方法　○上部電動式（手動併用）　＊手動式（電動式シャッターには保護装置を設ける。） 耐風圧強度 ＿＿＿ スラット 材質 / めっきの付着量 / 形状 ○JIS G 3312　○Z06又はF06を満足するもの　○　○インターロッキング形 ○JIS G 3322　○AZ90を満足するもの　○　○オーバーラッピング形
	16 オーバーヘッドドア (16.13.2)~(16.13.4)	セクション材　＊ｽﾁｰﾙﾀｲﾌﾟ　○ｱﾙﾐﾆｳﾑﾀｲﾌﾟ　○ﾌｧｲﾊﾞｰｸﾞﾗｽﾀｲﾌﾟ 耐風圧性能 ＿＿＿ 開閉方法　＊バランス式　○チェーン式　○電動式（電動式には保護装置を設ける。） 収納形式　＊スタンダード型　○ローヘッド型　○ハイリフト型　○バーチカル型 ガイドレール等　＊溶融亜鉛めっき鋼板　○ステンレス鋼板

章	項目	特記事項
16 建具工事	⑬ ガラス (16.14.2)~(16.14.4)	材料 種別 / 種類等 / 種別 / 種類等 ○フロート板ｶﾞﾗｽ　●強化ガラス　図示 ○型板ガラス　○熱線吸収ｶﾞﾗｽ ○網入板ガラス　○複層ガラス ○線入板ガラス　○熱線反射ｶﾞﾗｽ ○合わせガラス　○倍強度ガラス ○　○ ガラス溝の大きさ　(表16.14.1) 種別 / 面クリアランス / エッジクリアランス / 掛り代 ○アルミニウム建具　＊表16.14.1　＊表16.14.1　＊表16.14.1 ○鋼製建具　○＿＿＿　○＿＿＿　○＿＿＿ ○ステンレス建具 ○　○　○　○ 熱線反射ガラスの映像調整　○行わない　○行う（＿＿＿）
	⑱ ガラス留め材 (16.14.2)	(表9.7.1) 建具の種類 / 材質 アルミニウム製　＊シーリング材（SR－1）○ガスケット　○グレイジングチャンネル 鋼製・軽量鋼製・ステンレス製　＊シーリング材（SR－1）○パテ　＊1種　○2種 木製　＊パテ（木製用） ＊防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。 ＊防音仕様、断熱仕様及び耐震仕様については図示する。
	19 ガラスブロック (16.14.5)	寸法（mm） / 厚さ（mm） / 色調 / パターン / 防火認定 X　○図示　○クリア　○カラー（　）　○乳白　○熱線反射　＊なし　○あり ＊品質規格はJIS A 5212による ＊建築基準法に基づき定める風圧力に対応した工法を品質計画により定める。 ○壁用金属枠及び補強材 ＿＿＿ ○力骨　材質　＊SUS304　○＿＿＿ 寸法・形状　＊径5.5mmのはしご形状複筋及び単筋　○＿＿＿ ○化粧目地モルタルの色 ＿＿＿ ○金属製化粧カバー　材質　＊SUS304　○＿＿＿ 寸法・形状　＊図示による　○＿＿＿ ○伸縮調整目地の位置 ＿＿＿
	20 ポリカーボネイト樹脂板	種類 ＿＿＿ 厚さ ＿＿＿mm

章	項目	特記事項
17 カーテンウォール工事	1 性能 (17.1.3)	＊本特記仕様書「1章　一般共通事項　4　風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。 耐風圧性　○S4　○S5　○S6　○　○ 耐震性　水平方向（KH）＊1.0　○　鉛直方向（KV）＊0.5　○ 水密性　○W1　○W2　○W3　○W4　○W5 気密性　○A1　○A2　○A3　○A4　○ 耐火性　＊図示　○30分　○1時間　○ 耐温度差性（℃）　○80　○70　○60　○ 遮音性　○T1　○T2　○T3　○T4　○ 断熱性　○H1　○H2　○H3　○H4　○H5
	2 メタルカーテンウォール (17.2.2)~(17.2.3)	材料　＊アルミニウム製　○ 形状・寸法　＊図示による 断熱材　＊図示による 見え掛り仕上げ　○A－1種（無着色）　○A－2種（着色）
	3 PCｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ (17.1.3) (17.3.2)~(17.3.3)	耐風圧性 / 耐震性 / 水密性 気密性 / 耐火性 / 形状・仕上げ 材料 / 取付 / ガラスの取付 コンクリート　○種類 ＿＿＿　○品質 ＿＿＿
	4 シーリング材及びガラス取付材料 (17.2.2)(17.3.2)	＊表9.7.1による　○＿＿＿
	5 構造用ガスケット (17.2.2)(17.3.2)	形状　＊図示による　○＿＿＿ 寸法　＊図示による　○＿＿＿

章	項目	特記事項
18 塗装工事	① 塗装材料 (18.1.3)	塗料のホルムアルデヒド等の放散量　＊F☆☆☆☆　○＿＿＿
	② 素地ごしらえ (18.2.2)~(18.2.7)	(表18.2.1)～(表18.2.7) 素地 / 種別 / 備考 木部　＊A種　○B種　透明塗料の場合はB種とする 鉄鋼面　○A種　○B種　＊C種 亜鉛めっき面　○A種　○B種　塗り工法に応じた節の規定による モルタル及びプラスター面　○A種　＊B種 ｺﾝｸﾘｰﾄ及びALCパネル面　○A種　＊B種 ｺﾝｸﾘｰﾄ及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面　○A種　＊B種　塗り工法に応じた節の規定による せっこうﾎﾞｰﾄﾞ及びその他ﾎﾞｰﾄﾞ面　○A種　＊B種　継目処理工法はA種とする
	③ 錆止め塗料塗り (18.3.2) (18.3.3)	錆止め塗料の種別　(表18.3.1)～(表18.3.4) 塗面 / 種別 / 屋外 / 屋内 / 規格名称 / 塗料種類 / 塗装工程種別 / 備考 鉄鋼面 A種　＊　＊　鉛・ｸﾛﾑﾌﾘｰさび止め　1種　鉄鋼面 見掛かり部分 ＊A種　○B種 見隠れ部分 ○A種　＊B種　屋内EP－G塗 鉄鋼面 B種　－　○　水系さび止め　－ 鉄鋼面 B種　－　○　鉛・ｸﾛﾑﾌﾘｰさび止め　2種 亜鉛めっき鋼面 A種　＊　＊　一液形変性ｴﾎﾟｷｼ樹脂さび止め　－　鋼製建具 ＊A種　○B種 亜鉛めっき鋼面 B種　○　○　変性ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾌﾟﾗｲﾏｰ 亜鉛めっき鋼面 C種　－　○　水系さび止め　1種　屋内EP－G塗
	④ 塗装工程 (18.4.1)~(18.14.2)	工程の種別　(表18.4.1)～(表18.14.1) 記号 / 名称 / 種別 SOP　合成樹脂調合ペイント塗り　木部 屋内 ○A種　＊B種　木部 屋外 ＊A種　○B種　鉄鋼面　○A種　＊B種　亜鉛めっき鋼面　＊表18.4.3による CL　クリヤラッカー塗り　○A種　＊B種 NAD　ｱｸﾘﾙ樹脂系非水分散形塗料塗り　○A種　＊B種 DP　耐候性塗料塗り　鉄鋼面　＊表18.7.1による　亜鉛めっき鋼面　＊表18.7.2による　ｺﾝｸﾘｰﾄ及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面　○A種　○B種　○C種　上塗り　○1級　ふっ素樹脂系等　○2級　シリコン系等　○3級　ポリウレタン系等 EP－G　つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り　ｺﾝｸﾘｰﾄ、ﾓﾙﾀﾙ、ﾌﾟﾗｽﾀｰ、せっこうﾎﾞｰﾄﾞ、その他ﾎﾞｰﾄﾞ面　○A種　＊B種　木部　＊表18.8.2による　鉄鋼面 屋内 ＊表18.8.3による　亜鉛めっき鋼面 屋内 ＊表18.8.4による EP　合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り　○A種　＊B種 EP－T　合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ模様塗料塗り　○A種　＊B種 UC　ウレタン樹脂ワニス塗り　○A種　＊B種 LE　ラッカーエナメル塗り　○A種　＊B種 OS　オイルステイン塗り　＊表18.13.1による WP　木材保護塗料塗り　●A種（外部）　＊B種（内部）
19 内装工事	① 揮発性有機化合物対策 (19.2.2)(19.3.3) (19.4.2)(19.5.2) (19.5.4)(19.5.5) (19.7.2)(19.8.2) (19.9.2)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ・ﾀｲﾙ、ｺﾞﾑ床ﾀｲﾙ、ｶｰﾍﾟｯﾄ、ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ、ﾎﾞｰﾄﾞ類、断熱材の接着に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量 ＊F☆☆☆☆　○＿＿＿ 塗料、フローリング材、ボード類、壁紙、断熱材のホルムアルデヒド放散量 ＊F☆☆☆☆　○＿＿＿
	② ビニル床シート張り (19.2.2)	区分 / 種類 / 記号 / 厚さ（m） / 色柄 / 工法 / 施工箇所 発泡層無　○単層ビニル床シート　TS　○2.5　＊2.0　＊無地　○マーブル　＊熱溶接　＊仕上表による 発泡層無　＊複層ビニル床シート　FS 発泡層有　○発泡複層ビニル床シート　HS　○ ○クッションフロア　KS
	3 ビニル床タイル張り (19.2.2)	区分 / 種類 / 記号 / 厚さ（m） / 品質・規格 接着形　○ｺﾝﾎﾟｼｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ　KT　○2.5　＊2.0　○ 接着形　○単層ビニル床タイル　TT 接着形　○複層ビニル床タイル　FT 置敷形　○置敷きビニル床タイル　FOA 置敷形　○薄型置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ　FOB

TITLE 令和元年度　のびのび児童クラブ1組施設新築　工事設計図	DATE 2019. 03.	COA 有限会社 コア建築事務所	NO. A-06
NAME 特記仕様書-5	SCALE / /	CHECK / PLAN / DRW	

章	項目	特記事項

19 内装工事

4 帯電防止床シート、床タイル (19.2.2)

○ 帯電防止床シート

種類	性能	厚さ(mm)
○ ○	※ 体積抵抗値1×10_7～1×10_{10}Ω程度 ○	

○ 帯電防止床タイル

種類	性能	厚さ(mm)
○ ○	※ 体積抵抗値1×10_7～1×10_{10}Ω程度 ○	

5 視覚障害者用床タイル (19.2.2)

種類	寸法 (mm)	厚さ(mm)
○ 塩化ビニル系 ○ レジンコンクリート系 ○ 磁器又はせっ器質タイル	※ 300mm角 ○ 150mm角 ○	

6 耐動荷重性床ｼｰﾄ (19.2.2)

種類	厚さ (mm)	備考
○ ○	○ ○	

⑦ 防滑性床シート、床タイル (19.2.2)

● 防滑性床シート

種類	性能	厚さ(mm)
●複層ビニル床シート ○	● 防滑,抗菌,消臭 ○	2.0

参考ﾒｰｶｰ（ﾀｼﾞﾏ：消臭ウェルクリーン　又は同等品）
参考ﾒｰｶｰ（ﾛｯｼｰﾙ：サニタリウム　又は同等品）

○ 防滑性床タイル

種類	性能	厚さ(mm)
○	○	

⑧ ビニル幅木 (19.2.2)

種類	寸法 (mm)	厚さ(mm)
○ 軟質　○ 硬質	※ 60　○ 75　○ 100　○	※ 1.5　○ 2.0

9 ゴム床タイル張り (19.2.2)

色柄	厚さ(mm)	寸法(mm)	品質・規格

⑩ カーペット敷き (19.3.3) (19.3.4)

○ 織じゅうたん

種別	織り方	パイル形状	帯電性	施工箇所
○ A種 ○ B種 ○ C種			○ 適用	

○ タフテッドカーペット

パイル形状	ﾊﾟｲﾙ長さ(mm)	工法	帯電性	施工箇所
		※ ｸﾞﾘｯﾊﾟｰ工法 ○ 全面接着工法	○ 適用	

○ ニードルパンチカーペット

厚さ(mm)	帯電性	施工箇所
	○ 適用	

● タイルカーペット

種別	パイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	施工箇所
※ 1種	※ ループパイル	※ 500×500	※ 6.5	学習室,手洗いコーナー

タイルカーペットの敷き方　平場部分 ※市松敷き　○ _____
階段部分 ※模様流し　○ _____

下敷き材　※ JIS L 3204（反毛フェルト）の第2種2号　呼び厚さ8mm
○ _____

見切り、押さえ金物　材質、形状等　※図示による
○ _____

11 合成樹脂塗り床 (19.4.2) (19.4.3)

厚膜型塗床材
○ 弾性ウレタン樹脂系塗床材
※ 平滑仕上げ　○ 防滑仕上げ　○ つや消し仕上げ
塗厚（mm）　○ _____
○ エポキシ樹脂系塗床材
※ 薄膜流し展べ仕上げ　○ 厚膜流し展べ仕上げ（ ○ 平滑　○ 防滑 ）
○ 樹脂モルタル仕上げ（ ○ 平滑　○ 防滑 ）
薄膜型塗床材
○ エポキシ樹脂系塗床材

12 フローリング張り (19.5.2) ～(19.5.7)

単層フローリング　（表19.5.1）～（表19.5.6）

種別	樹種	厚さ(mm)	下張り	工法	備考
○ フローリングボード1等	※ なら ○	○ 8 ○ 12 ○ 15 ○	※ あり ○ なし	釘留め工法 ○ 根太張り工法 ○ 直張り工法 ○ 接着工法	
○ フローリングブロック1等	※ なら ○	○ 8 ○ 15 ○		○ 接着工法	○ 防水処理足金物付
○ モザイクパーケット1等	○	○		○ 接着工法	

19 内装工事

複合フローリング

種別	樹種	厚さ(mm)	下張り	工法	備考
○ 1×6タイプ ○ フローリングボードタイプ ○	※ なら ○	○ 8 ○ 15 ○	※ あり ○ なし	釘留め工法 ○ 根太張り工法 ○ A種　○ B種 ※ C種 ○ 直張り工法 ○ A種　○ B種 ※ C種 ○ 接着工法	

※ 下張りは合板張りによる。ただし、C種釘留め工法は下張りなしとする。
接着工法のフローリング裏面の緩衝材　※ 合成樹脂発泡シート　○ _____

仕上げ塗装　※ ウレタン樹脂ワニス塗り（1液形）B種
○ オイルステインの上ワックス塗り　○ 生地のままワックス塗り

13 縁甲板張り (19.5.1)

樹種	等級	仕上程度	施工箇所

⑭ 畳敷き (19.6.2)

種別　○ A種　○ B種　● C種　○ D種　（表19.6.1）

⑮ せっこうボード、その他ボード、及び合板張り (19.7.2)

種別　※ 表19.7.1 によるJIS規格品とする　（表19.7.1）

種類	規格、厚さ(mm) 等	
● せっこうボード（GB−R）	※ 12.5（不燃）　● 9.5（準不燃）	
● 化粧せっこうボード（GB−D）	○ 彫延模様 ● トラバーチン模様 （壁装下地は専用のものとする）	○ 12.5（不燃） ● 9.5（準不燃）
○ 不燃積層せっこうボード（GB−NC）	○ トラバーチン模様 ○ 模様無し	※ 9.5（不燃）
● シージングせっこうボード（GB−S）	○ 15（不燃）　● 12.5（準不燃）　※ 9.5（準不燃）	
○ 強化せっこうボード（GB−F）	○ 21（不燃）　○ 15（不燃）　○ 12.5（不燃）	
○ ロックウール吸音ボード（RW−B）	※ 25　○	
○ グラスウール吸音ボード（GW−B）	※ 25　○	
○ 吸音あなあきせっこうボード（GB−P）	○ 9.5（準不燃）	
○ ロックウール化粧吸音板（DR）	内部用　フラット	○ 12（不燃）　※ 9（不燃）
	内部用　立体模様	○ 15（不燃）　※ 12（不燃）
	軒天用　フラット	○ 12（不燃）　※ 9（不燃）
	軒天用　立体模様	○ 15（不燃）　※ 12（不燃）
○ けい酸カルシウム板（0.8FK）	タイプ2（無石綿）○ 8.0　○ 6.0　○	
○ メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903による　※ 1.2	
○ 難燃木毛セメント板	○ 30　○ 25　○ 20　○ 15	
○ 断熱木毛セメント板	○ 30　○ 25　○ 20　○ 15	
○ 普通合板	厚さ　接着の程度　表板樹種	
	板面の品質　防火処理　○ 行う	
○ 天然木化粧合板	厚さ　接着の程度	
	化粧板樹種　○ なら　○ しおじ　防火処理　○ 行う	
○ 特殊加工化粧合板	厚さ　接着の程度　化粧加工の方法	
	表面性能　○ F　○ FW　○ W　○ WS　防火処理　○ 行う	
○ その他下張り用合板		

軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材
※ アクリル系シーリング　○ ウレタン系シーリング　○ ジョイントコンパウンド
合板類の張付け　（表19.7.3）
○ A種　※ B種
せっこうボードの目地処理　（表19.7.5）
○ 目透かし　○ 突付け　● 継目処理

⑯ 壁紙張り (19.8.2) (19.8.3)

防火性能・種類・規格・施工箇所　※ 図示による　○ 下表による

施行箇所	防火性能	品質・規格
室内壁面	準不燃以上	F☆☆☆☆

素地ごしらえ　モルタル及びプラスター面　○ A種　※ B種　（表18.2.4）
コンクリート面　○ A種　※ B種　（表18.2.5）
せっこうボード面
目地継目処理工法の場合　※ A種　○ B種　（表18.2.7）
突付け・目透し工法の場合　○ A種　※ B種　（表18.2.7）

⑰ 天井廻り縁

材質　○ アルミニウム製　● 塩化ビニル製

⑱ 断熱・防露 (19.9.2) (19.9.3)

	材料		その他
断熱材打込み工法	○ ﾋﾞｰｽﾞ法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材又は断熱材 ○ 押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材又は断熱材 ○ 硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温材A種又は断熱材 ○ ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ保温材又は断熱材	JIS A 9511 JIS A 9521	断熱材厚さ ○ _____ mm
断熱材現場発泡工法	※ A種1　○ _____ （難燃性を有するものとする）	JIS A 9526	吹付け厚さ ○ _____ mm

※ 開口部等補修用接着剤のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量はJISで定めるF☆☆☆☆とする。
※ 特定フロンを使用しないものとする。

● 天井及び外壁に面する壁面内：グラスウール24K　50mm

20 ユニット及びその他の工事

① 家具、ﾕﾆｯﾄ等の揮発性有機化合物対策

収納家具その他ユニットに使用する材料で、合板、化粧合板、MDF等の
ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ等の放散量　※ F☆☆☆☆　○ _____
収納家具その他ユニットに使用する合板等の接着剤
ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ等の放散量　※ F☆☆☆☆　○ _____
含まれる可塑剤　※ ﾌﾀﾙ酸ｰﾌﾞﾁﾙ等を含有しない、難揮発性のもの　○ _____

2 フリーアクセスフロア (20.2.2)

※ 建設技術評価制度「耐震型ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱの開発」の技術評価を取得した製品とする。

施工箇所	寸法(mm)	フロア高さ(mm)	耐震性能	所定荷重	帯電防止性能	漏えい抵抗

スロープ及びポーダー　※ 製造所の標準仕様　○ 図示による
コンセント等の取付け　※ 製造所の標準仕様（コンセント本体は別途設備工事）
配線用取出し用開口　※ 対応品又は工場加工品（施工箇所は図示）
空調用吹出しパネル　○ あり　（ ※ 固定式　○ 可変式　施工箇所は図示 ）
※ 表面仕上げ材の品質、規模等は、種仕１９章内装工事による。

フリーアクセスフロアの試験方法
耐荷重性能　○ _____
耐衝撃性能　○ _____
ローリングロード性能　○ _____
耐燃焼性能　○ _____

3 可動間仕切 (20.2.3)

種類				ﾊﾟﾈﾙ内に取付ける建具
構造形式	構成基材	表面仕上	遮音性	寸法・形状
※ パネル式 ○ スタッド式 ○ ｽﾀｯﾄﾞﾊﾟﾈﾙ式		※ メラミン樹脂又はアクリル樹脂焼付 ○		

パネル材料のホルムアルデヒト放散量　F☆☆☆☆

4 移動間仕切 (20.2.4)

パネル操作方法による種類	パネル表面材・仕上	パネル圧接装置の操作方法	遮音性

あと施工アンカー　材質 _____　寸法 _____
引抜耐力試験　※ 行う

⑤ トイレブース (20.2.5)

表面材　※ メラミン樹脂系化粧板　○ ポリエステル樹脂系化粧板
（ ※ 標準色、アルミ製コーナーエッヂ付き　）
（ ○ _____ ）
脚部　※ 幅木型　○ 足金物型
ヒンジ　※ グレビティーヒンジ
パネル材料のホルムアルデヒト放散量　F☆☆☆☆

6 階段滑り止め (20.2.6)

材種　※ ステンレス製（SUS304）　幅　※ 約35mm
形状　※ ビニルタイヤ入り　両端ﾌﾗｯﾄｴﾝﾄﾞ　※ あり（ ※ ビニル　○ SUS304 ）
取付工法　※ 接着工法　○ 埋込み工法

7 階段手すり

○ ステンレス製（SUS304　HL仕上）　径____mm　（仕様は金属工事参照）
○ 集成材クリアラッカー仕上げ　径____mm
○ ビニル製ハンドレール　※丸型　径____mm　○平型　幅____mm

8 黒板及びホワイトボード (20.2.8)

	種類	寸法(mm)	色彩	備考
○ 黒板	※ 焼付け ○		※ 緑 ○ 黒	○ 曲面 ○ スクリーン付引分け
○ ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ	※ ほうろう ○		※ 白	○ 曲面 ○ スクリーン付引分け

額縁金属　※ アルミ製　（ 表面処理の種別　※ B−2　○ B−1 ）
品質・規格 _____

9 鏡 (20.2.9)

厚さ（mm）　※ 5　○ ____

⑩ 表示・標識 (20.2.10) (20.2.11)

衝突防止表示
※ 図示　（ 市販品　※ ステンレス製　径30mm　○ _____ ）
○ なし
法令に基づく表示
※ 非常用進入口表示等は消防法に適合する市販品とし、その他は標準詳細図による。

室名札

厚さ(mm)	材質	色	書体	印刷等の種類	取付け形式
※ 5 ● 3	※ アクリル板 ○ アルミ板		※ 角太ゴシック ● 丸	※ シルク印刷 ● UV印刷	● 平付型 ○ 持出型

外国語表現　○ 行う　（ ○ 英語　○ _____ ）
寸法（mm）　○ 50×250　○ 60×250　● 図示による
表示方法は室名＋ピクトサイン
参考ﾒｰｶｰ（杉田エース：木製ﾌﾚｰﾑｻｲﾝ平付型TW−200　又は同等品）

ピクトグラフ（便所、車いす、階段等）

厚さ(mm)	材質	印刷等の種類	取付け形式	備考
※ 5 ○	○ アクリル板 ※ アルミ板	※ シルク印刷 ○	※ 平付型 ○ 持出型	

寸法（mm）　○ 150×150　○ 図示による

20 ユニット及びその他の工事

案内板（館内、各階、便所）

厚さ(mm)	材質	色	書体	印刷等の種類	取付け形式
※ 5 ○	※ アクリル板 ○ アルミ板		※ 角太ゴシック ○ 丸	※ シルク印刷 ○	○ 平付型 ○ 持出型

外国語表現　○ 行う　（ ○ 英語　○ _____ ）
寸法（mm）　○ 600×600　○ 100×600　○ 200×200　○ 図示による

館名板等
品質・規格　図示による

11 ブラインド (20.2.12)

形式	スラットの材種	開閉方式	スラットの幅(mm)
※ 横形	※ ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金　○	※ ギヤ式　○ コード式	※ 25　○ 35
○ 縦形	○ ｱﾙﾐｽﾗｯﾄ　○ ｸﾛｽｽﾗｯﾄ		○ 80　※ 100

12 ロールスクリーン (20.2.13)

操作方法　○ スプリング式　○ チェーン式
幅及び高さ _____
スクリーンの材種　○ 布製　○ ガラス繊維製　○ 木製
品質・規格 _____

⑬ カーテン (20.2.14)

（20.2.14）

取付箇所	形式 シングル	形式 ダブル	形式 片引	形式 引分	開閉操作方法 電動	開閉操作方法 ひも引	開閉操作方法 引分	カーテン用切れ地の種別・品質・特殊加工等	ひだの種類
学習室	●	○	○	●	○	○	●	2つ山	1.5倍
管理室	●	○	●	○	○	○	●	2つ山	1.5倍
管理室	●	○	●	○	○	○	●	上部ﾒｯｼｭﾀｲﾌﾟ	なし
男子便所	●	○	●	○	○	○	●	上部ﾒｯｼｭﾀｲﾌﾟ	なし
	○	○	○	○	○	○	○		

消防法で定める防炎性能の表示があるもの

⑭ カーテンレール (20.2.14)

材種　※ アルミニウム製　○ ステンレス製　○ _____
形式　● 片引き　● 引分け（暗幕用は300mm以上の召合せの重ね掛けとする。）
形状　○ C型　○ D型　● 角型　● H型（天井直付けﾀｲﾌﾟのみ）

15 ブラインドボックス カーテンボックス

○ 図示による　○ 市販品（アルミニウム製　押出し型材）
仕様等　溝幅×深さ（mm）※ 90×150　○ 150×80　○ 120×80　○ _____
表面処理　○ C−1（無着色）　○ C−2（着色）

16 くつふきマット

材種　○ 塩化ビニル製（コイル状　ステンレス製（SUS304）受枠）
○ 硬質アルミニウム合金（受枠とも）　○ ステンレス製（SUS304）（受枠とも）
○ ゴム製（ステンレス製（SUS304）受枠）

17 鋼製書架及び棚

品質・規格 _____

⑱ 収納家具（木製）

品質・規格　図示による
参考ﾒｰｶｰ（ヤガミ　かばん入れ,下足箱：Aｼﾘｰｽﾞ　流し台：WDｼﾘｰｽﾞ　又は同等品）

19 掲示板

	枠の材質	表面の材質	照明器具	施錠	品質・規格
○ 屋内	※ ｱﾙﾐﾆｳﾑ製（B−2） ○ ｽﾃﾝﾚｽ製（SUS304）		−	−	
○ 屋外	※ ｱﾙﾐﾆｳﾑ製（B−2） ○ ｽﾃﾝﾚｽ製（SUS304）		※ あり ○ なし	※ あり ○ なし	

20 カウンター

品質・規格 _____

21 洗面カウンター

材種　○ メラミン樹脂化粧板張り（芯材：集成材）　○ 人工大理石（品質　図示）
奥行き（mm）　○ 約450　○ 約600　○ _____

22 流し台ユニット

種類	部品寸法(mm)	規格	仕様
○ 流し台		○ 優良住宅部品	トラップ付き
○ コンロ台		○ 優良住宅部品	バックガード有り
○ 吊戸棚		○ 優良住宅部品	高さ　約500mm
○ 水切り棚		○ 優良住宅部品	ステンレス製1段式
○			

23 非常用救助袋等

※ 垂直降下式緩下機は消防法に基づく国家検定に合格したものとする。
形式　○ 傾斜式　○ 垂直式
品質・規格 _____

24 鍵箱

市販品　形式　※ 釣下式　○ 差込式
（ ○ 30　○ 60　○ 120 ○ ___ ）組用　（ _____ ）個

25 定礎

定礎石　○ 御影石　文字堀込共　寸法　450×600×30　○ _____
定礎銘板　○ 銅板製　両面文字堀込共　寸法B4板　厚さ5mm　○ _____
定礎箱　○ 銅版製　寸法400×300×60　○ _____

26 旗竿受金物

材種　※ ステンレス鋼（SUS304）　（市販品　※ 1箇所　○ ____箇所 ）
品質・規格 _____

TITLE	DATE	COA 有限会社 コア建築事務所	NO.
令和元年度　のびのび児童クラブ1組施設新築　工事設計図	2019. 03.		A−07
NAME 特記仕様書−6	SCALE / /	CHECK / PLAN / DRW	

20 ユニット及びその他の工事

27旗ポール

材質	形式	地上高さ（m）	操作方法	固定方法
＊ アルミニウム合金	＊ テーパー型	○ 6　○ 10	＊ ハンドル式	○ 埋込式
○	○ 同一断面型	○ 8　○	○ ロープ式	○ ベース式

品質・規格 ＿＿＿＿＿＿＿＿

28煙突ライニング (20.2.11)

煙突用成形ライニング材及びキャスタブル耐火材
最高温度　＊ 400℃　○ 650℃
品質・規格 ＿＿＿＿＿＿＿＿

29間知石及び コンクリート間知ブロック (20.4.2) (20.4.3)

間知石の材種　＊ 花こう岩　○ ＿＿＿＿
面の形状　○ 長方形　○ 正方形　○ 六角形　○ H型
質量区分　○ ブロックA　○ ブロックB
地業の材料　＊ 再生クラッシャラン　○ ＿＿＿＿
練積みの工法　○ 谷積み　○ 布積み　（目塗り　○ 行う　）
伸縮目地材の材種、厚さ ＿＿＿＿

30敷地境界石標

種別　○ 花こう石類（文字記号入り）　＊ コンクリートブロック製（市販品）

31車止め

形式	材質	柱径・肉厚（mm）	高さ（mm）
＊ 上下式鎖内蔵型	＊ ステンレス製（SUS304）	＊ φ76.3　t=2.0	＊ GL+700
（ ○ スプリング付き　）	○	○ φ114.3　t=2.5	○ GL+850

基礎　無筋コンクリート造350×350　H250程度

㉜フェンス

表面仕上等	種類	門扉の仕様
＊ 亜鉛めっき　○ 樹脂塗装	● メッシュフェンス　○ エキスパンドフェンス	○ 片開き
○ ビニル被覆　○	○ ネットフェンス　○	● 両開き

21 排水工事

① 材料 (21.2.1)

材種（表21.2.1）	管の種類	呼び径	基床の厚さ
○ 遠心力鉄筋コンクリート管	＊ 外圧管（ ＊ 1種　○ 2種 ）		
● 硬質ポリ塩化ビニル管	＊ VP　○ VU ○ RS－VP　○ RS－VU	図示	
○ 硬質ポリ塩化ビニル管継手	＊ DV		

② 側塊、排水桝及びふた (21.2.1)

○ 側塊の形状及び寸法　＊ 図示による　○ ＿＿＿＿
● 排水桝の種類　＊ 図示による　○ ＿＿＿＿
● 参考メーカー（タキロン：ポリプロピレン製雨水ます　又は同等品）
○ 鋼鉄製マンホールふたの種類

種類	適用荷重（ 安全荷重 ）
○ 水封形　○ 密閉形（テーパー→パッキン式）	○ T－2用（5KN）　○ T－6用（115KN）
○ 中蓋付密閉形　○ 簡易密閉形（パッキン式）	○ T－20用（50KN）

○ グレーチングふた

種類	材質	形式	適用荷重	タイプ	上面形状
○ 溝ふた用	○ 鋼製	受枠　＊ なし	○ 歩行用	○ 普通目	○ 平形
○ 桝ふた用	○ ステンレス製	○ あり	○ T－2用	＊ 細目	＊ 凹凸形
○ 嵩上げ用	○ 鋳鉄製	○ 図示	○ T－6用		
○ U字溝用	○ 樹脂製	ボルト固定 ＊ なし	○ T－14用		
		○ 図示	○ T－20用		

③ 縁石 (21.3.1)

歩車道境界ブロックのJISによる呼び名　＊ A　○ ＿＿＿＿
地先境界ブロックのJISによる呼び名　○ A　○ C　○ ＿＿＿＿
砂利地業の厚さ　＊ 100mm　○ ＿＿＿＿

4 コンクリート側溝 (21.3.1)

鉄筋コンクリートL形のJISによる呼び名　○ 250A　＊ 250B　○ ＿＿＿＿
コンクリートL形のJISによる呼び名　○ 250A　＊ 250B　○ ＿＿＿＿
鉄筋コンクリートU形のJISによる呼び名　○ 240　○ 300A　○ 360A　○ ＿＿＿＿
現場打ちコンクリートの設計基準強度　Fc（N/mm2）　○ 18　○ ＿＿＿＿
地業の材料　○ C－40　＊ RC－40　○ C－30　○ RC－30　○ C－20　○ RC－20

22 舗装工事

① 路床 (22.2.2) (22.2.3) (22.2.5)

路床の構成
○ 凍上抑制層　厚さ　○ 図示による　○ ＿＿＿＿
○ 透水性舗装　フィルター層の厚さ　車道部　○ 図示による　○ 150mm　○
歩道部　○ 図示による　○ 50mm　○
盛土に用いる材料　○ A種　＊ B種　○ C種　○ D種　（表3.2.1）
路床安定処理　○ 行う　● 行わない
路床安定処理用材料　＊ 添加材料による安定処理　（表22.2.2）
種類　○ 地酸改良材（　　）○ 高炉セメントB種
○ 普通ポルトランドセメント　○ 生石灰　特号　○ 生石灰　1号
○ フライアッシュセメントB種　○ 消石灰　特号　○ 消石灰　1号
添加量 ＿＿＿＿ kg/m3
路床土の支持力比（CBR）試験　○ 行う（ ＊ 乱した土　○ 乱さない土　）
路床締固め度の試験　＊ 行う（埋戻し部、盛土部）　○ 行わない
砂の粒度試験　○ 行う　● 行わない

② 路盤 (22.3.2) (22.3.3) (22.3.5)

路盤の厚さ　図示　mm
材料　＊ 再生クラッシャラン（RC－40,30,20）
○ クラッシャラン（C－40,30,20）　○ クラッシャラン鉄鋼スラグ（CS－40）
路盤締固め度の試験　＊ 行う　○ 行わない

3 アスファルト舗装 (22.4.2) ～(22.4.6)

舗装の種類	表層（mm）	基層（mm）	カラー舗装の種類
＊ アスファルト舗装			＊ 顔料混入加熱アスファルト混合物

アスファルト　＊ 再生アスファルト　○ ストレートアスファルト

再生加熱アスファルト混合物の種類

区分	＊ 一般地域	○ 寒冷地域
表層	＊ 密粒度アスファルト混合物（13） ○ 細粒度アスファルト混合物（13）	＊ 密粒度アスファルト混合物（13F）

施工
シールコート　＊ 行わない　○ 行う（施工範囲 ＿＿＿＿）
アスファルト混合物の抽出試験　○ 行う　＊ 行わない
アスファルト締固め度、厚さの試験　＊ 行う　○ 行わない

4 コンクリート舗装 (22.5.2) ～(22.5.6)

構成

舗装の種類	部位	厚さ（mm）	設計基準強度(N/m2)	スランプ(cm)

早強セメント　＊ 使用しない　○ 使用する
目地
注入目地材料　＊ 低弾性タイプ　○ 高弾性タイプ
種類　○ 突合せ目地　○ 収縮目地　○ 伸縮調整目地　○ ＿＿＿＿
間隔　○ 5m程度ごと　○ 4m程度ごと　○ 3m程度ごと　○ ＿＿＿＿
コンクリート版厚さの試験　○ 行う　＊ 行わない

5 カラー舗装 (22.6.3) ～(22.6.6)

種類	部位	配合その他
＊ 加熱系アスファルト混合物 添加剤　○ 着色骨材　○ 自然石 結合材　○ アスファルト　○ 石油樹脂（添加量 ＿＿＿＿） アスファルト混合物等の抽出試験 ○ 適用する　＊ 適用しない 舗装の厚さ ＿＿＿＿ mm	○ 車路 ○ 歩行者用通路	
○ 常温系ニート工法		
○ 常温系塗布工法		

着色部の下部　○ アスファルト舗装　○ コンクリート舗装

6 透水性舗装 (22.7.2) ～(22.7.6)

舗装構成及び厚さ　＊ 図示による　○ ＿＿＿＿
表層厚さの試験　＊ 行う　○ 行わない
開粒度アスファルト混合物の抽出試験　○ 行う　＊ 行わない

7 ブロック系舗装 (22.8.2) (22.8.3)

○ コンクリート平板舗装

種類	寸法（mm）	厚さ（mm）	目地
＊ 普通平板（N）　○ カラー平板（C）	＊ 300角	＊ 60	＊ 砂
○ 洗出平板（W）　○ 擬石（S）　○	○	○	○ モルタル

品質・規格 ＿＿＿＿

○ インターロッキングブロック舗装

種類		厚さ（mm）	色彩及び表面加工等
＊ 標準ブロック　○ 京エコレンガ	車路	＊ 80　○	＊ 標準品
○ 透水性ブロック	歩行者用道路	＊ 60　○ 80	○
○ 植生ブロック		○ 60　＊ 80　○ 100	○

品質・規格 ＿＿＿＿ 歩行者

○ 舗石舗装

種類	厚さ（mm）	工法	規格品
＊ 小舗石（花崗岩）	＊ 80～100	＊ うろこ張り	＊ 2等品
○	○	○	○

品質・規格 ＿＿＿＿

8 砂利敷き (22.10.2)

通路　＊ A種　○ B種
建物周囲その他　○ A種　＊ B種
＊ 下敷きの使用材料は再生クラッシャランとする

9 白線引き

種類　○ 溶融式　○ ペイント式　幅（cm）　○ 15　○ ＿＿＿＿

⑩透水性自然石洗い出し舗装

● 図示による

23 植栽及び屋上緑化工事

1 植栽基盤整備 (23.2.2) (23.2.3)

＊ 行う

樹木の樹高	有効土層の厚さ（cm）	工法	整備範囲
12m以上	＊ 100　○ 120　○ 150	＊ A種	＊ 植込み部分
7～12m未満	＊ 80　○ 100	○ B種	○ 芝張りの範囲（樹高7m以上）
3～ 7m未満	＊ 60　○ 80	○ C種	
3m未満	＊ 50　○ 60	○ D種	○ 図示
芝,地被類	＊ 20	＊ B種　○	＊ 植栽範囲　○

＊ 工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高からを有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。
植込み用土　＊ 現場発生土の良質土　○ 客土（ ＊ 畑土　○ 黒土　）
土壌改良材　＊ 行う　（ ＊ バーク堆肥　○ 下水汚泥コンポスト　）
施工箇所　＊ 植込み部分　○ 図示による

2 樹木の種類等 (23.3.2)

樹木の種類、寸法、数量等　＊ 図示による　○ 下表による

種類	寸法	数量	備考

3 支柱材、幹巻き用材料 (23.3.2)

支柱材　＊ 杉（焼き丸太）　○ 竹　○ ひのき　○ から松（皮はぎ）
形式　＊ 図示による　○ ＿＿＿＿
防腐処理方法　＊ 加圧式防腐処理丸太　○ ＿＿＿＿
幹巻用材料　＊ 幹巻き用テープ　○ わら及びこも

4 芝 (23.4.2) (23.4.3)

種別	芝張りの工法			客土
	平地	切土法面	盛土法面	
○ コウライシバ	＊ 目地張り	＊ べた張り	＊ 筋芝張り	＊ 行わない
○ ノシバ	○	○	○	○ 行う　＊ 畑土 ○ 黒土

5 屋上緑化

○ 屋上緑化システム
排水層　＊ 軽量骨材（厚さ ＿＿＿＿）　○ 板状成形品
土壌層　＊ 改良土　（厚さ ＿＿＿＿）　○ 人工軽量土（厚さ ＿＿＿＿）
○ 屋上緑化軽量システム

樹木の種類、寸法、数量等　＊ 図示による　○ 下表による

種類	寸法	数量	備考

芝・地被類の種類
＊ 図示による
○ コウライシバ（ ＊ 目地張り　○ ＿＿＿＿ ）
○ ノシバ　（ ＊ 目地張り　○ ＿＿＿＿ ）
○ セダム類　（ ○ カット　○ ふるい　○ プラグ苗　○ ＿＿＿＿ ）

材料　○ 見切材 ＿＿＿＿　○ 舗装材 ＿＿＿＿
○ 水抜き管 ＿＿＿＿　○ マルチング材 ＿＿＿＿

かん水装置　○ 設置する　（ ＿＿＿＿ ）
○ 設置しない

支柱材　○ 設置する
＊ 杉（焼き丸太）　○ 竹　○ ひのき　○ から松（皮はぎ）
形式　＊ 図示による　○ ＿＿＿＿
防腐処理方法　＊ 加圧式防腐処理丸太　○ ＿＿＿＿
○ 設置しない

6 新植、移植樹木、芝等の枯補償 (23.3.4)(23.3.6) (23.4.7)(23.5.5)

＊ 引渡しの日から1年　○ 引渡しの日から ＿＿ 年

24 その他

① 窯業系サイディング

厚み15mm　横貼り　通気工法
参考メーカー（ケイミュー：エクセレージ・親水15　打ちっ放し調15　又は同等品）
参考メーカー（ケイミュー：エクセレージ・親水15　ウッディテーシャリクII　色：アトハンスカーキ　又は同等品）
土台水切り：カラーカバリウム鋼板　t0.35
参考メーカー（ケイミュー：土台水切り50　又は同等品）

② 屋根付属材

鼻隠し・破風板：窯業系押出板（不燃材）t14×H180
参考メーカー（ケイミュー：ウォールライン・親水　ボード180A　又は同等品）

③ 軒天材

軒天ボード　厚み12mm（不燃材）フラット　塗装品
参考メーカー（ケイミュー：軒天材ライト30　フラット（スパッタ塗装）　又は同等品）

④ 軒天見切縁

通気見切縁：アルミ製　（大屋根軒側のみ）
参考メーカー（ケイミュー：アルミ通気見切り縁15mm厚用　又は同等品）

⑤ 軒裏換気口

ステンレス製　塗装品　W919.5×D61.5×H15　7ヶ所　発泡材付5ヶ所
参考メーカー(日本化学産業：BK45)
③の軒天材による30分準耐火構造認定指定品であるため
ケイミューの軒天材ライト30を使用する場合には本製品を使用すること

⑥ 棟換気役物

カバリウム鋼板t0.35　1P(L=910)　2P(L=1820)
参考メーカー(株式会社トーコー：i－ROOF　又は同等品)

⑦ 便所手すり

L型手摺　樹脂被覆タイプ34φ　700×700×前出寸法120
参考メーカー(TOTO：T112CL10　又は同等品)
ハネ上げ式手摺　樹脂被覆タイプ34φ　L=700
参考メーカー(TOTO：T112H7R　又は同等品)
小便器用手摺　樹脂被覆タイプ34φ
参考メーカー(TOTO：T112CU22　又は同等品)

⑧ 汚垂れシート

小便器下　汚垂れシート
参考メーカー(TOTO：ハイドロセラ・フロアPUS　又は同等品)

⑨ キッチン

間口150cm奥行き60cm高さ85cm
フロアキャビネット(ステンレストップ),IH2口ヒーター,シングルハンドル水栓,排水シャワーフレホース,換気扇本体
＊レンジフードは設備工事
参考メーカー(LIXIL：Tio　又は同等品)
参考メーカー(クリナップ：コルティ　又は同等品)
参考メーカー(パナソニックAWエンジニアリング：MXシリーズ　又は同等品)

⑩ トイレットペーパー収納棚

間口17cm奥行き15cm高さ80cm
参考メーカー(TOTO：スリム露出タイプ　YSC36SY　又は同等品)

⑪ 消火器

ABC粉末10型　1本　＋　消火器設置用スタンド

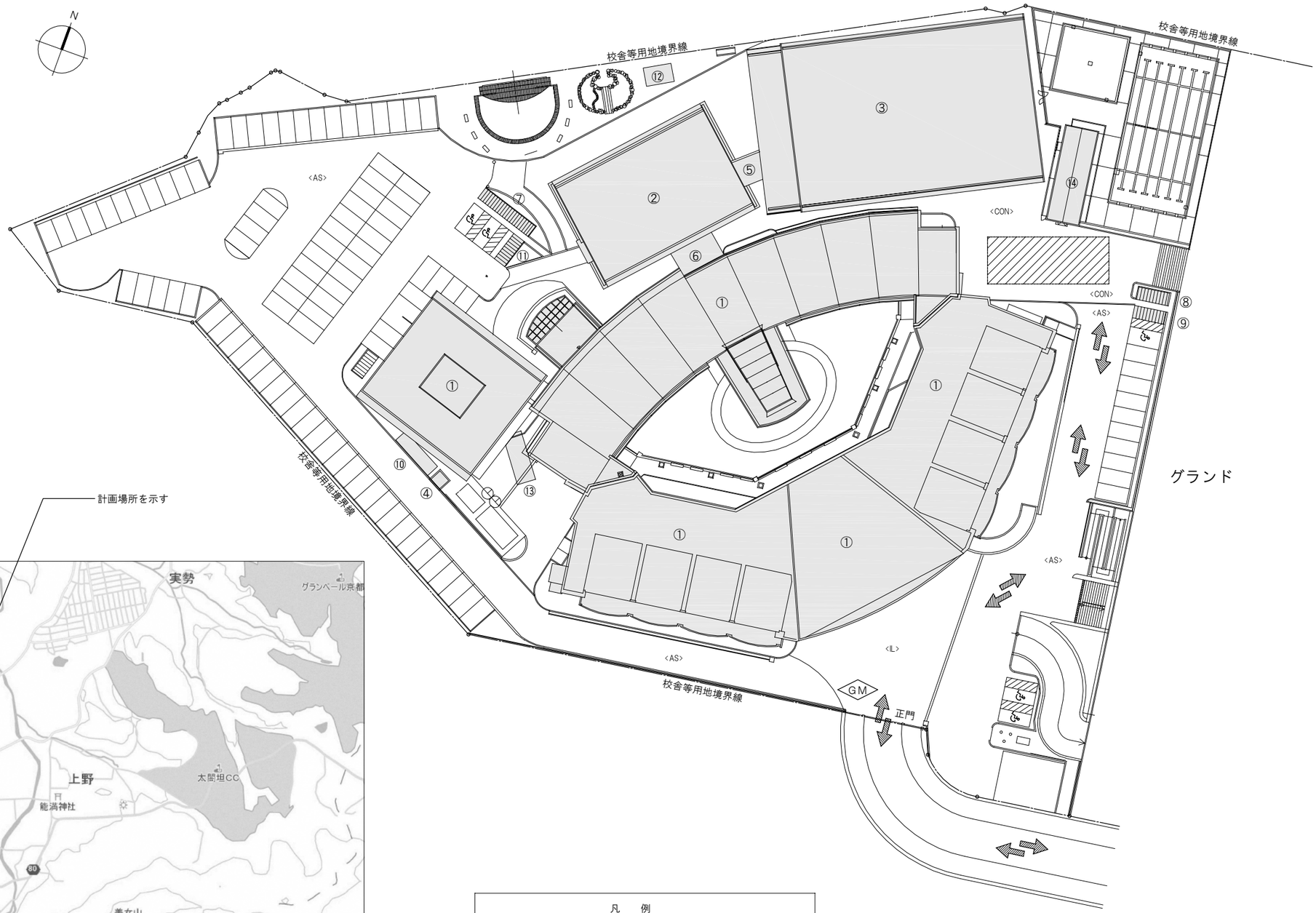
⑫ かさ入れ

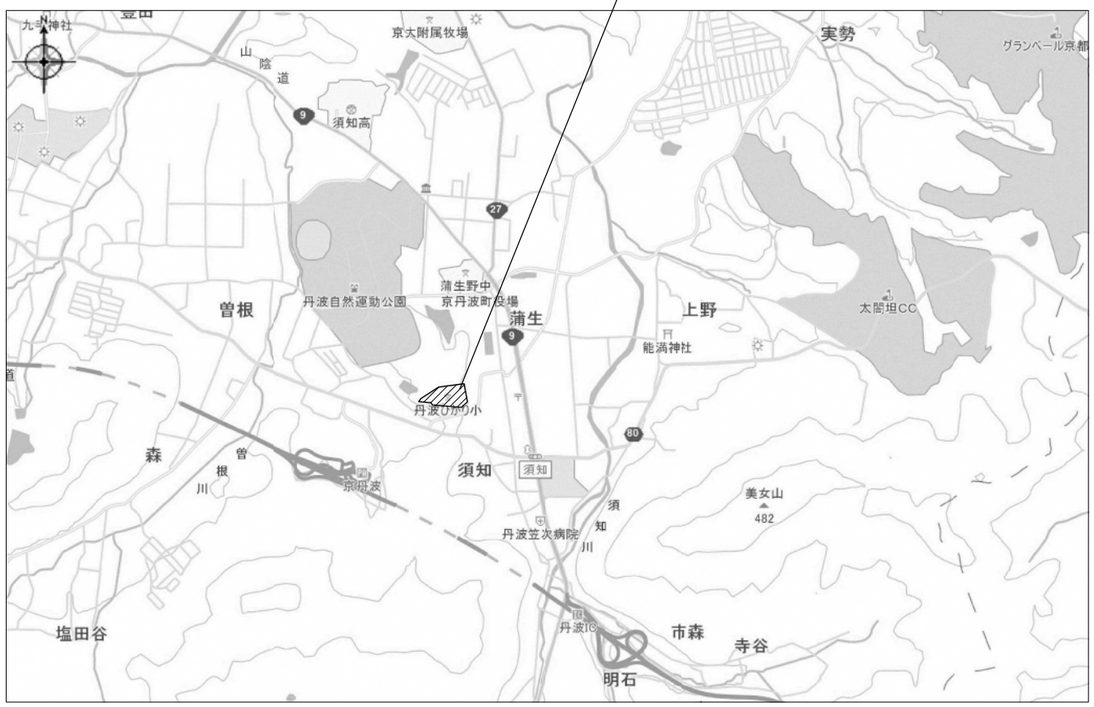
ステンレス製30本収納×2台
参考メーカー（ヤガミ　ESX－30ST　又は同等品）

各棟建物名称　概要・面積表

附番	建物名称	構造・階数	建築面積	延べ床面積
①	校舎及び給食棟	RC造2階建	3,449.04㎡	5,707.08㎡
②	地域交流センター	RC造平屋建	420.00㎡	400.00㎡
③	屋内体育施設	RC造平屋建	1,040.98㎡	1,045.80㎡
④	プロパン庫	CB造平屋建	12.33㎡	12.33㎡
⑤	渡り廊下(A)	S造平屋建	15.00㎡	15.00㎡
⑥	渡り廊下(B)	S造平屋建	17.50㎡	17.50㎡
⑦	自転車置場	S造平屋建	13.57㎡	13.57㎡
⑧	〃	〃	6.79㎡	6.79㎡
⑨	〃	〃	6.79㎡	6.79㎡
⑩	〃	〃	6.79㎡	6.79㎡
⑪	〃	〃	5.09㎡	5.09㎡
⑫	動物舎	W造平屋建	24.50㎡	24.50㎡
⑬	配送車用駐車場	S造平屋建	11.28㎡	11.28㎡
⑭	プール管理棟	S造平屋建	48.28㎡	48.28㎡
計			5,077.94㎡	4,576.54㎡
既存建築面積				5,077.94㎡
既存延べ床面積				7,320.80㎡

⑮	のびのび児童ｸﾗﾌﾞ	W造平屋建	144.61㎡	139.12㎡
合計建築面積				5,222.55㎡
合計延べ床面積				7,459.92㎡



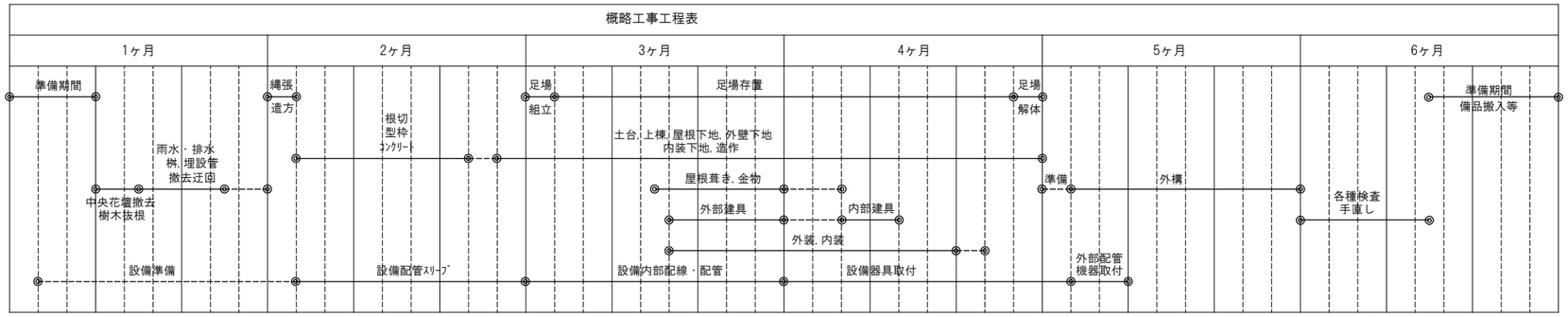


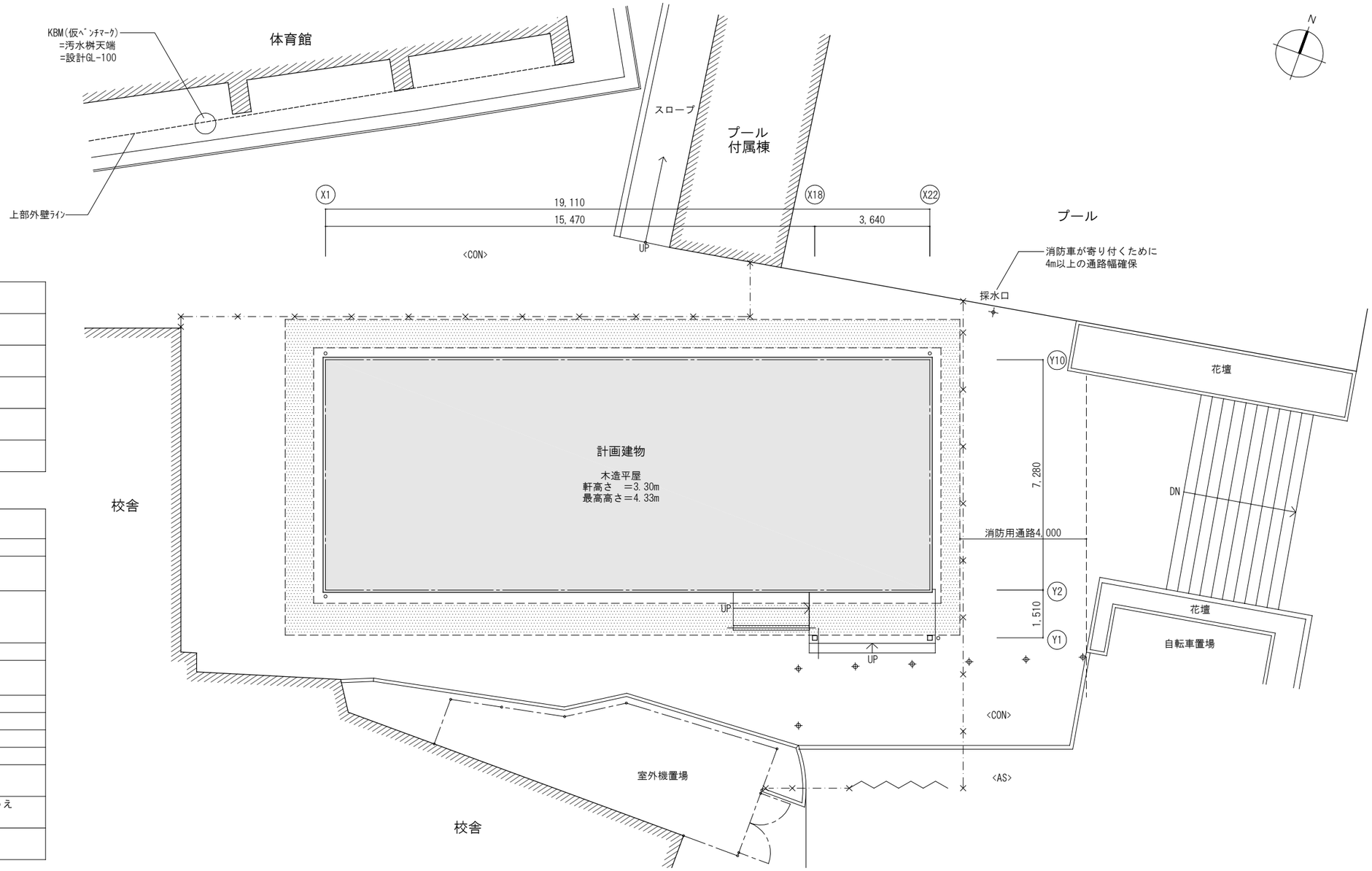
付近見取図　1/25000

凡　例	
	工事対象建物を示す
	工事用車輌通行経路 （生徒の登下校時間帯は車両の通行を禁止する）
GM	交通誘導員　（全工事期間中 常駐1名） 大型車輌搬入時等必要に応じて増員すること
床仕上げ凡例	<AS>アスファルト舗装　<CON>コンクリート土間 <IL>インターロッキング舗装

全体配置図兼仮設計画図　1/500

TITLE 令和元年度 のびのび児童クラブ1組施設新築 工事設計図	DATE 2019. 03.	COA 有限会社 コア建築事務所			NO. A-09
NAME 付近見取図,全体配置図	SCALE 1/500 1/25000	CHECK	PLAN	DRW	

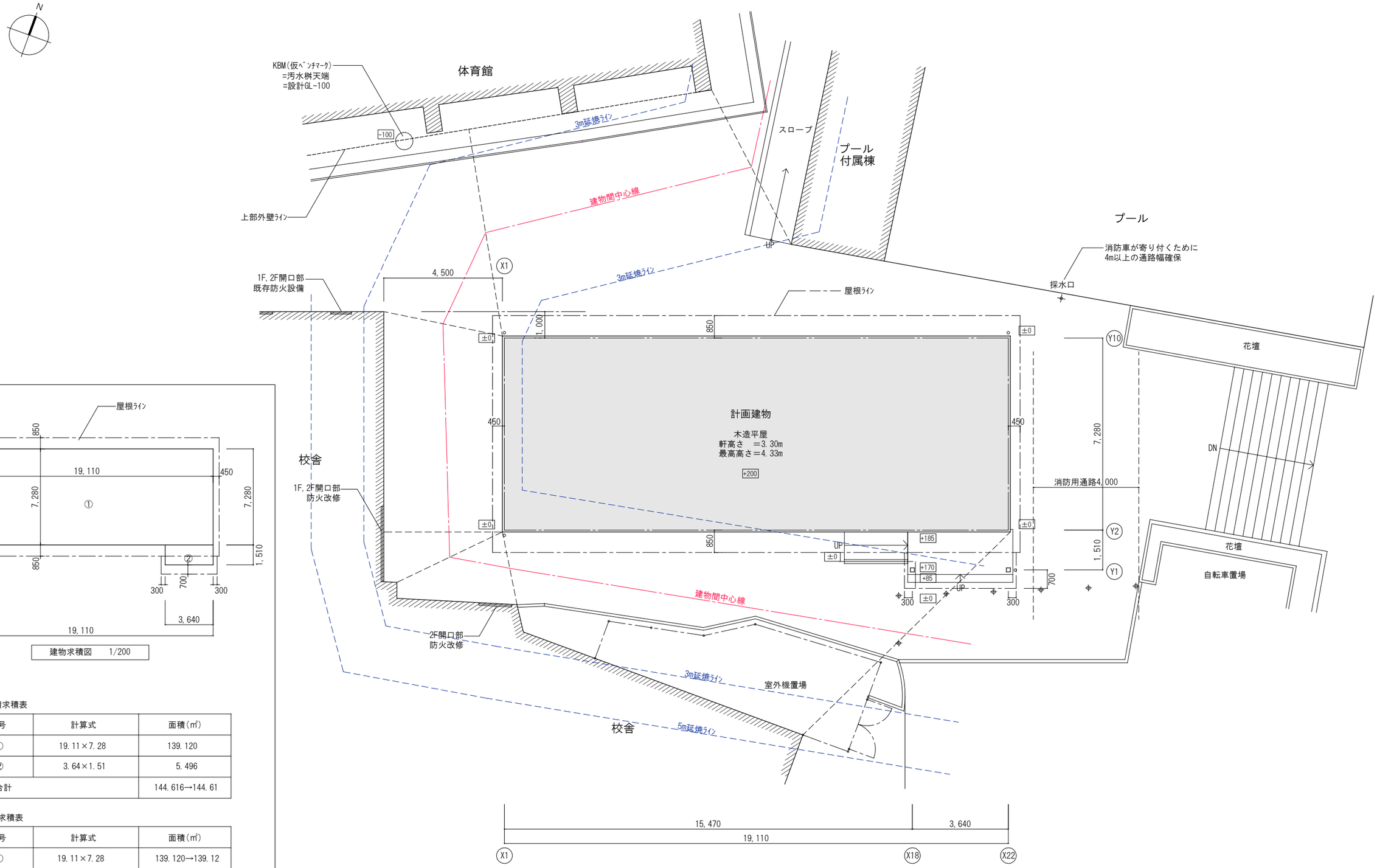


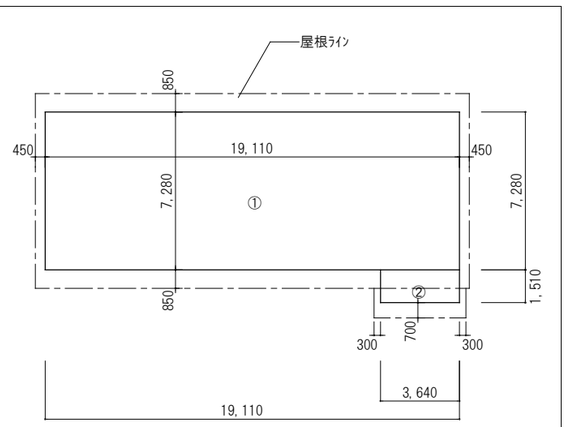


凡　例	
	工事対象建物を示す
	枠組み本足場を示す　W900(建物東面のみW600) 足場外側には全面養生ｼｰﾄ貼
	仮囲い：ﾌｪﾝｽﾊﾞﾘｹｰﾄﾞ H=1800 （上部金網部ｼｰﾄ貼）
	工事用出入口：ｷｬｽﾀｰﾊﾟﾈﾙｹﾞｰﾄ W3600×H1800 1ヶ所
床仕上げ凡例　<AS>ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装　<CON>ｺﾝｸﾘｰﾄ土間	

制約事項，注意事項，他	
1	本仮設計画図は参考図とする
2	第三者が危険な場所に立ち入らないように，図示以外の場所にも 必要に応じて，ﾌｪﾝｽﾊﾞﾘｹｰﾄﾞやｶﾗｰｺｰﾝを設置すること。
3	工事工程の作成に際しては，事前に学校側と打ち合せを行うこと。 特に大きな音の出る工事や震動・粉塵が発生する工事など。 また，学校行事との調整も図りながら工事を進めること。
4	工事車両進入口には，交通誘導員を常駐すること。
5	工事車両により土，砂利，舗装面等を荒らした範囲は，工事完成後 速やかに復旧を行うこと。
6	可燃物（塗料）は防火防犯のため，毎日持ち帰ること。
7	足場，作業ｽﾍﾟｰｽ及び工事車両駐車ｽﾍﾟｰｽは設備業者と共用である。
8	工事の支障となる樹木の伐採，枝払い等は学校と協議のうえ行うこと。
9	レッカー使用時にはカラーコーン等により周囲に囲いをすること。
10	地中埋設管や桝の迂回工事など外構工事の際には適宜， 必要に応じて，ﾌｪﾝｽﾊﾞﾘｹｰﾄﾞやｶﾗｰｺｰﾝを設置すること。
11	現場事務所・作業員休憩所は設置場所を学校及び町担当職員と協議のうえ 適宜設置すること。
12	工事車両駐車スペースは学校及び町担当職員と協議のうえ 指定場所に駐車すること。

TITLE 令和元年度　のびのび児童クラブ1組施設新築　工事設計図	DATE 2019. 03.	COA 有限会社 コア建築事務所			NO. A-10
NAME 仮設計画図(参考図),概略工事工程表	SCALE 1/100 /	CHECK	PLAN	DRW	





建物求積図　1/200

建築面積求積表

符号	計算式	面積(㎡)
①	19.11×7.28	139.120
②	3.64×1.51	5.496
合計		144.616→144.61

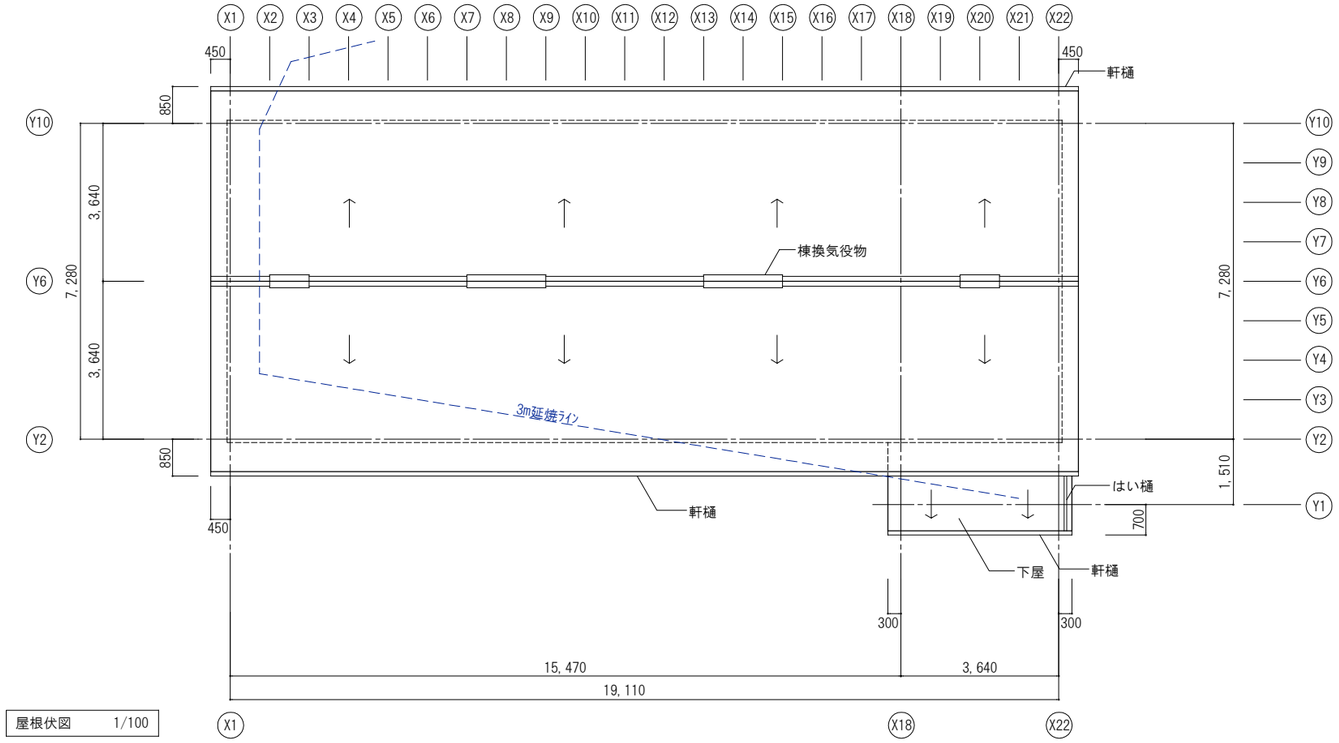
床面積求積表

符号	計算式	面積(㎡)
①	19.11×7.28	139.120→139.12

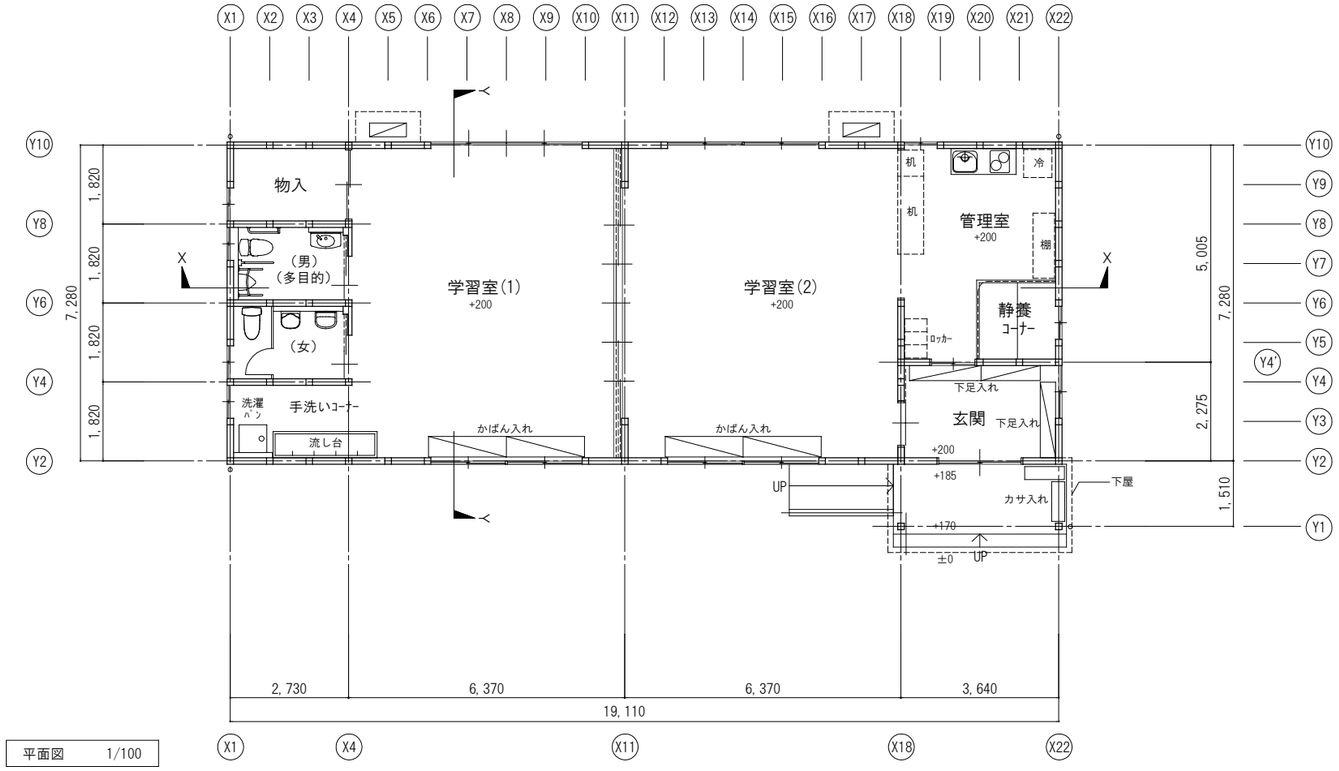
TITLE 令和元年度　のびのび児童クラブ1組施設新築　工事設計図	DATE 2019. 03.	COA 有限会社 コア建築事務所			NO. A-11
NAME 建物求積図,求積表,配置図	SCALE 1/100 1/200	CHECK	PLAN	DRW	

外部仕上表	
屋根	ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t0.4 瓦棒葺き, ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ940, 構造用合板t12
軒裏	軒天ﾎﾞｰﾄﾞ板t12(塗装品)（30分準耐火構造）
壁	窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞt15 横貼り（30分防火構造）
巾木	ﾓﾙﾀﾙ塗り
樋	軒樋：硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ樹脂製　　たて樋：硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ樹脂製φ75
玄関ﾎﾟｰﾁ	床：磁器質100角ﾀｲﾙ貼
スロープ	床：磁器質100角ﾀｲﾙ貼(ｽﾛｰﾌﾟ用)　ｽﾃﾝﾚｽ製手摺　点字ﾀｲﾙ

内部仕上表		
学習室	床	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄt6.5
	巾木	ﾋﾞﾆﾙ巾木H=60
	壁	PBt12.5のうえﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼　※
	天井	化粧PBt9.5　　廻縁：塩ビ製
	その他	かばん入れ, ｶｰﾃﾝ+ﾚｰﾙ, 換気扇枠
管理室	床	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0　一部ﾀﾀﾐ敷き
	巾木	ﾋﾞﾆﾙ巾木H=60
	壁	PBt12.5のうえﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼　※ ｷｯﾁﾝ背面部のみPBt12.5のうえｷｯﾁﾝﾊﾞﾈﾙt3貼
	天井	化粧PBt9.5　　廻縁：塩ビ製
	その他	ｷｯﾁﾝ, ｶｰﾃﾝ+ﾚｰﾙ, 換気扇枠
便所	床	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0（防滑）
	巾木	ﾋﾞﾆﾙ巾木H=60
	壁	ｼｰｼﾞﾝｸﾞPBt12.5のうえﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼　※
	天井	化粧PBt9.5　　廻縁：塩ビ製
	その他	L型手摺, ﾊﾈ上げ式手摺, 汚垂れｼｰﾄ, 棚, ｶｰﾃﾝ+ﾚｰﾙ(男子のみ)
手洗いコーナー	床	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄt6.5
	巾木	ﾋﾞﾆﾙ巾木H=60
	壁	PBt12.5のうえﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼　※ 一部ｼｰｼﾞﾝｸﾞPBt12.5のうえﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼
	天井	化粧PBt9.5　　廻縁：塩ビ製
	その他	流し台
物入	床	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0
	巾木	ﾋﾞﾆﾙ巾木H=60
	壁	PBt12.5のうえﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼　※
	天井	化粧PBt9.5　　廻縁：塩ビ製
玄関	床	磁器質100角ﾀｲﾙ貼
	巾木	磁器質100角ﾀｲﾙ貼
	壁	PBt12.5のうえﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼　※
	天井	化粧PBt9.5　　廻縁：塩ビ製
	その他	下足入れ
備考	※　防火上主要な間仕切り壁部分(X4及びX18通り)はPBt9.5を増し貼とする	
	また, 天井裏部分はPBt12.5+PBt9.5にて天井裏まで達せしめること	



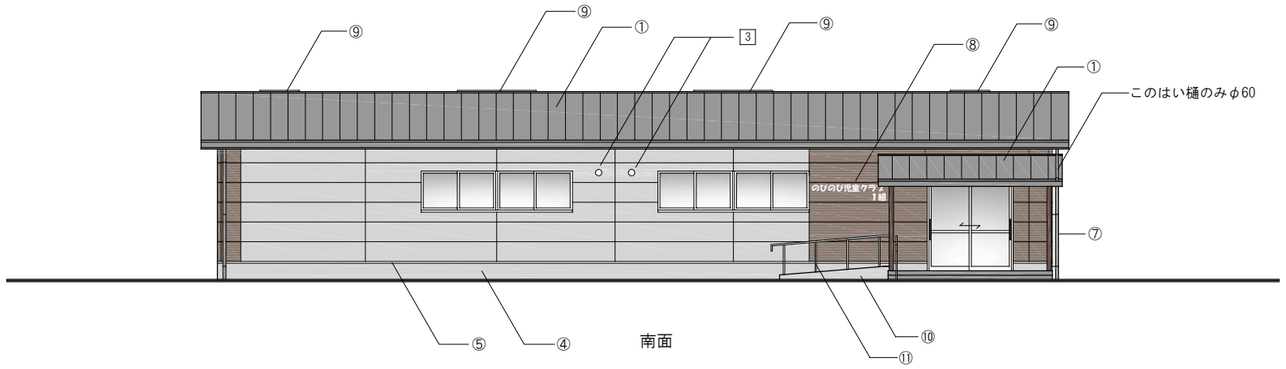
屋根伏図　1/100



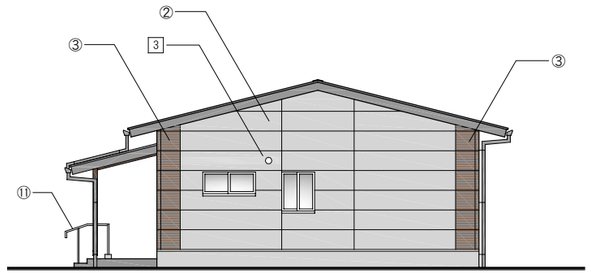
平面図　1/100

各室面積表	
学習室(1)	46.37㎡
学習室(2)	46.37㎡
玄関	8.28㎡
管理室 （静養ｺｰﾅｰ）	18.22㎡
男子便所兼 多目的便所	4.97㎡
女子便所	4.97㎡
物入	4.97㎡
手洗いｺｰﾅｰ	4.97㎡
延べ床面積	139.12㎡
建築面積	144.61㎡

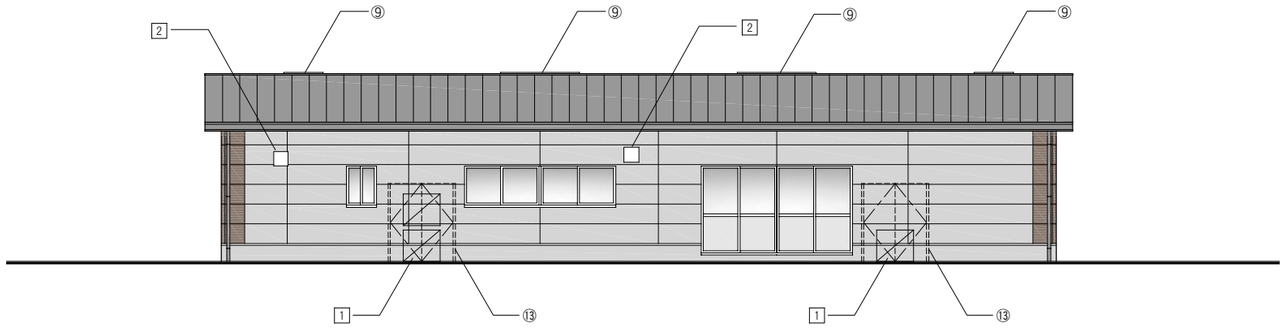
TITLE 令和元年度　のびのび児童クラブ1組施設新築　工事設計図	DATE 2019. 03.	COA 有限会社 コア建築事務所			NO. A-12
NAME 平面図,屋根伏図	SCALE 1/100 /	CHECK	PLAN	DRW	



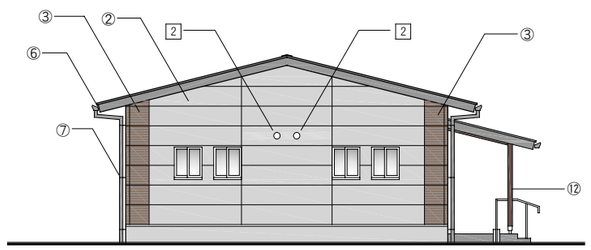
南面



東面



北面

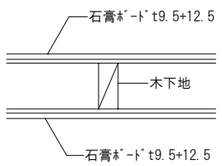


西面

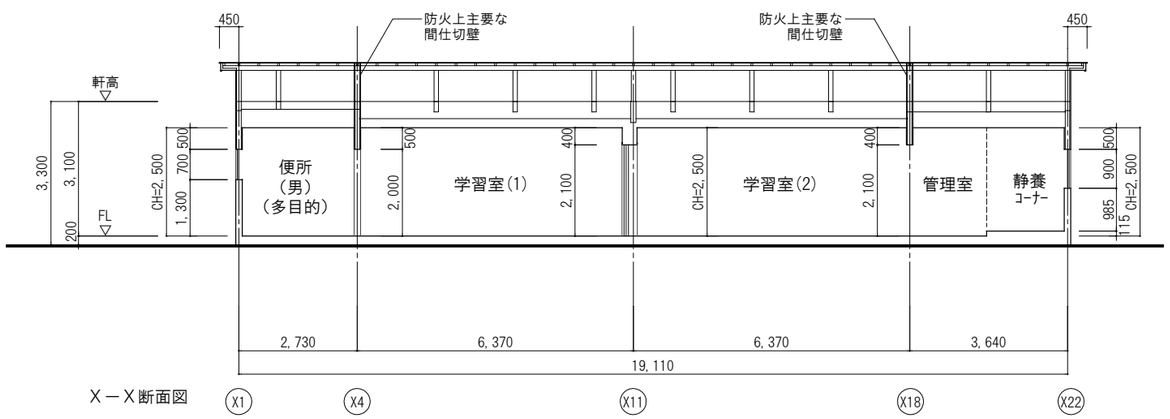
記号	外部仕上凡例
①	屋根：ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t0.4　嵌合式瓦棒葺き 羽根付き雪止め金具一段
②	外壁1：窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞt15ﾖｺ貼(RC打放し調)
③	外壁2：窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞt15ﾖｺ貼(ﾚﾝｶﾞ調)
④	巾木：ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押エ
⑤	土台水切り:ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t0.35
⑥	軒樋：硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ樹脂 (吊金具：高強度ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ製@600)
⑦	ﾀﾃ樋：住宅用丸形ﾀﾃ樋75(掴金物：SUS製@1200) 玄関屋根のはい樋のみ60
⑧	館名文字：SUS HL t3 切り文字
⑨	屋根換気役物：ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t0.35 L=910×2,L=1820×2
⑩	ｽﾛｰﾌﾟ立ち上がり壁：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し仕上
⑪	手摺：SUS304 HL φ34
⑫	柱：105角　WP塗装
⑬	ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ：H=2000
1	空調用室外機：設備工事による
2	換気扇用ﾌｰﾄﾞ：設備工事による
3	給気用ﾌｰﾄﾞ：設備工事による

参考ﾒｰｶｰ,品番	
外壁1	ｹｲﾐｭｰ：ｴｸｾﾚｰｼﾞ・親水15　打ちっ放し調15
外壁2	ｹｲﾐｭｰ：ｴｸｾﾚｰｼﾞ・親水15　ｳﾞｨﾝﾃﾞｰｼﾞﾌﾞﾘｯｸⅡ (ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽｶｰｷ)
軒樋	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ：ｻｰﾌｨｽｹｱFS-Ⅱ型　色：ﾌﾞﾗｯｸ
ﾀﾃ樋	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ：住宅用丸形ﾀﾃ樋75　色：ﾌﾞﾗｯｸ

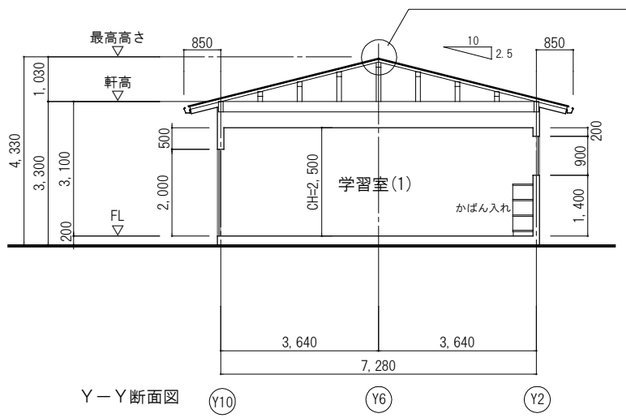
防火上主要な間仕切壁　仕様



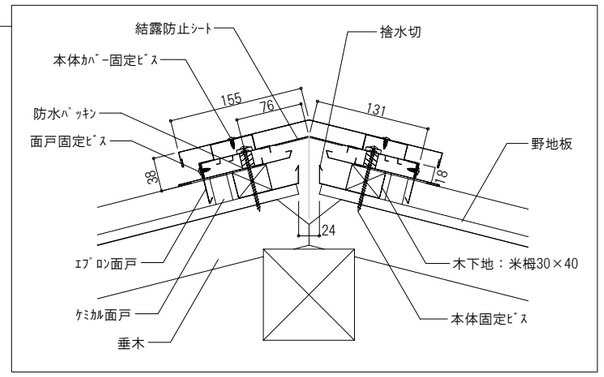
(45分準耐火構造：告示1358号)



X－X断面図



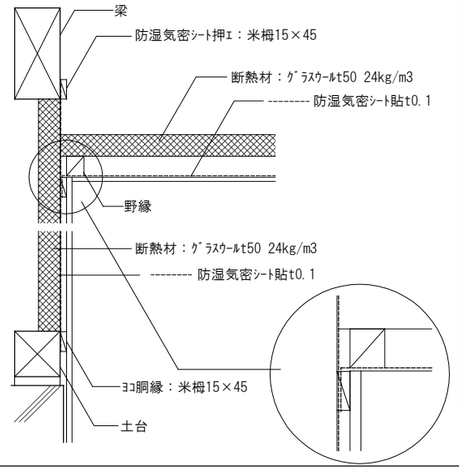
Y－Y断面図



棟換気役物詳細図　1/5

TITLE 令和元年度　のびのび児童クラブ1組施設新築　工事設計図	DATE 2019. 03.	COA 有限会社 コア建築事務所			NO. A-13
NAME 立面図,断面図	SCALE 1/100 1/5	CHECK	PLAN	DRW	

D-1 断熱材及び防湿気密ｼｰﾄ廻り詳細図 1/10



壁及び天井面への断熱材及び防湿気密ｼｰﾄ施工に関する特記事項

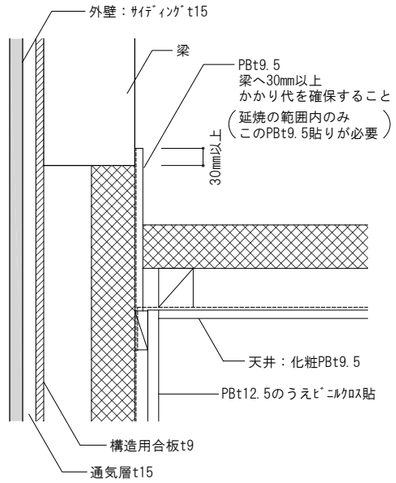
壁：断熱材を柱と同面となる様に充填した後
防湿気密ｼｰﾄを隙間なく柱の見付面にﾀｯｶｰで留めつける
断熱材は土台上から梁下まで隙間無く充填すること
その後胴縁材及び仕上げ材を施工すること

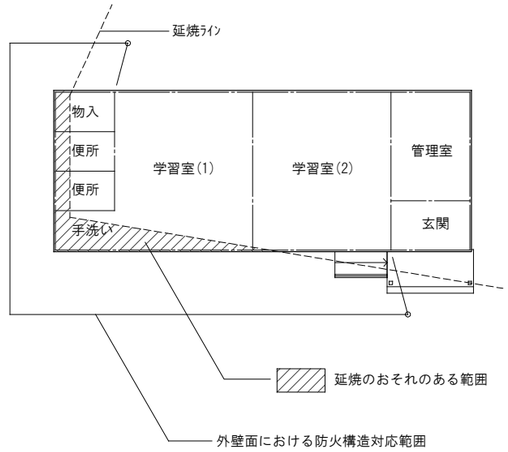
防湿ﾌｨﾙﾑ付き断熱材を使用する場合は,
防湿ﾌｨﾙﾑ面を室内側とし,付属防湿ﾌｨﾙﾑの耳を
柱の見付面に30mm以上耳掛けした後胴縁を施工すること

天井：断熱材を隙間無く野縁上に敷き込んだ後,
防湿気密ｼｰﾄを野縁の下面（室内側）に貼り付け
天井材で挟み込むこと

防湿ﾌｨﾙﾑ付き断熱材を使用する場合は,
天井材のｼﾞｮｲﾝﾄ部分全てに野縁を設ける様に下地を組み
防湿ﾌｨﾙﾑを下にした状態で隙間無く敷き込む方法も可とする

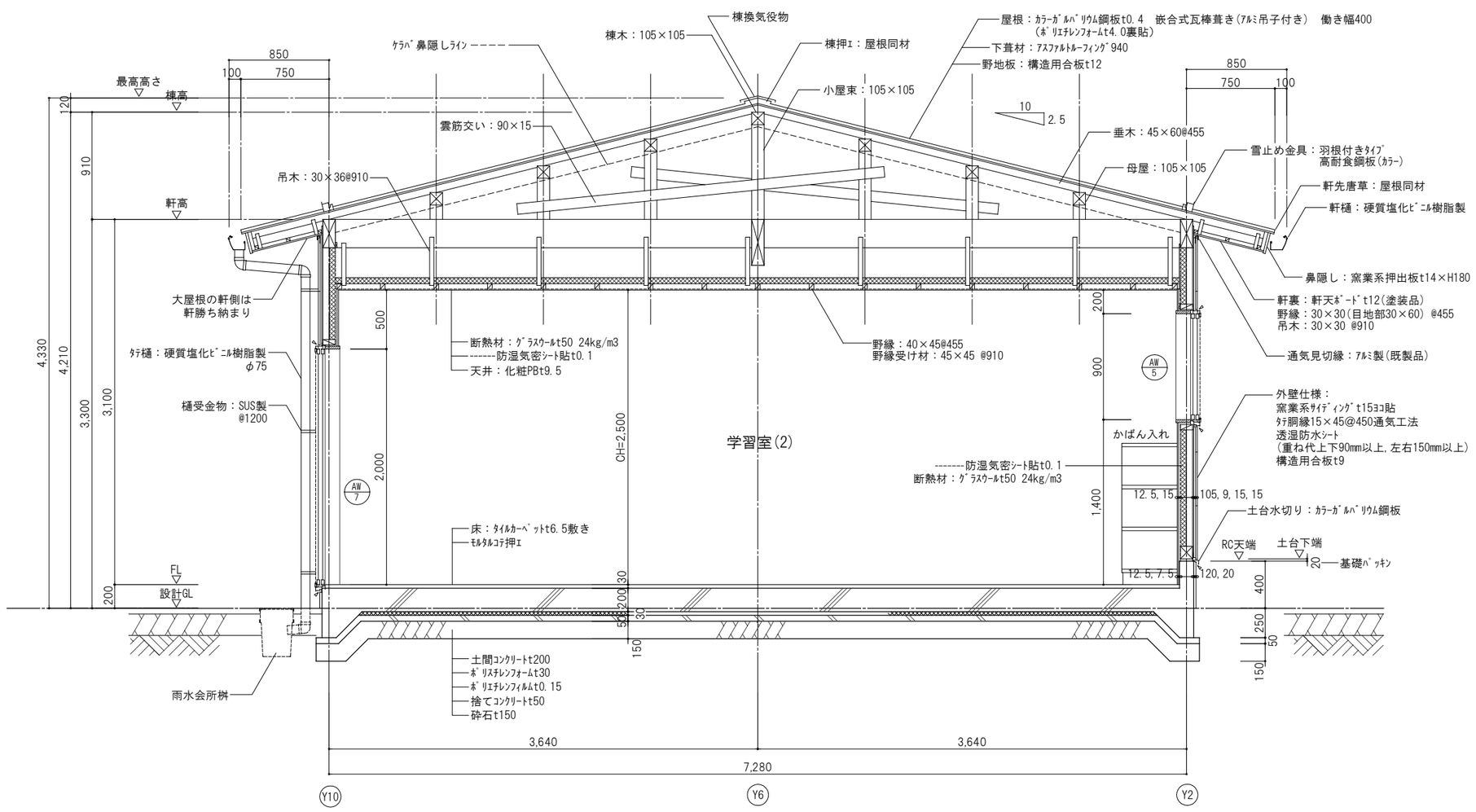
D-2 延焼の恐れのある範囲内の壁面詳細図（30分防火構造） 1/5

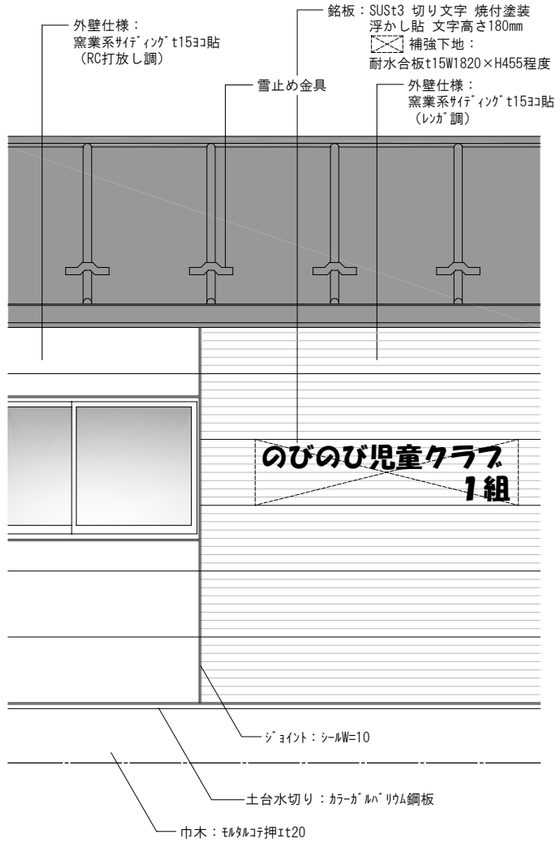




外壁仕様特記事項

本建物における延焼のおそれのある範囲内の外壁は
防火構造が必要である
本設計では,外壁：ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ＋内壁：石膏ﾎﾞｰﾄﾞt9.5以上
の組合せにて30分防火構造仕様としている
よって,延焼のかかる範囲内の外壁部分の内壁の
石膏ﾎﾞｰﾄﾞを省略することはできないため注意すること
特にｴｱｺﾝや設備機器などの取付部分に補強下地用合板を
使用する場合には,石膏ﾎﾞｰﾄﾞの内側に合板を貼ること
とする

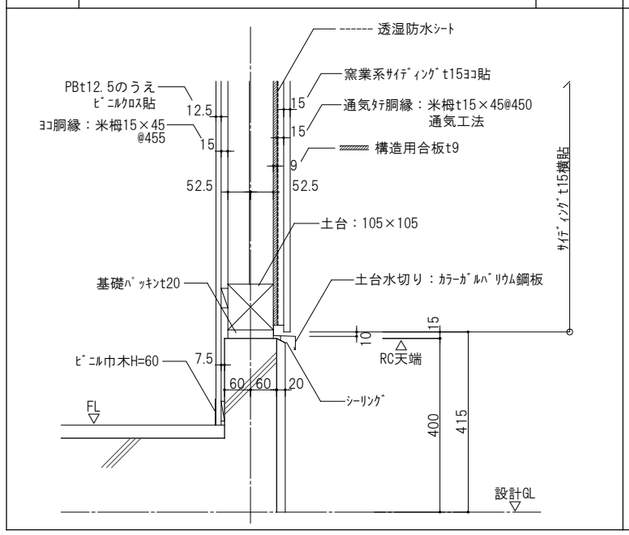




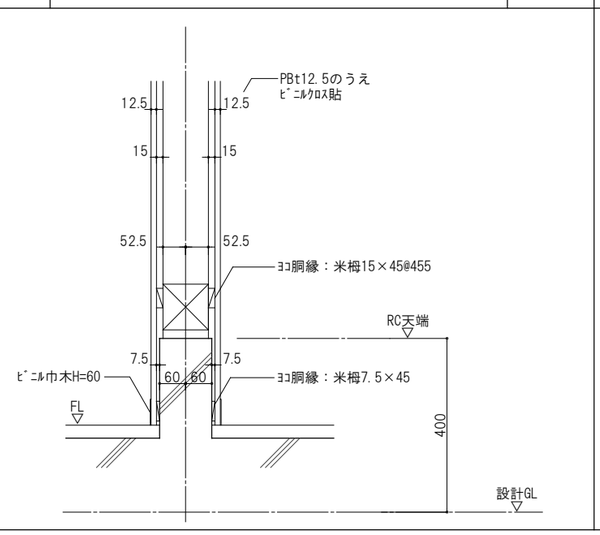
正面姿図

特記事項	TITLE 令和元年度 のびのび児童クラブ1組施設新築 工事設計図	DATE 2019. 03.	COA 有限会社 コア建築事務所			NO. A-14
⊿ ｼｰﾘﾝｸﾞ10mmを示す	NAME 矩計図-1,部分詳細図	SCALE 1/30 1/10 1/5	CHECK	PLAN	DRW	

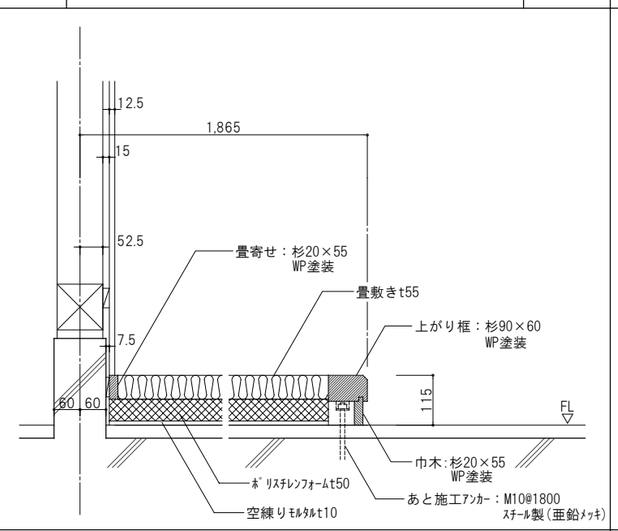
D-3 外壁廻り断面詳細図 1/10



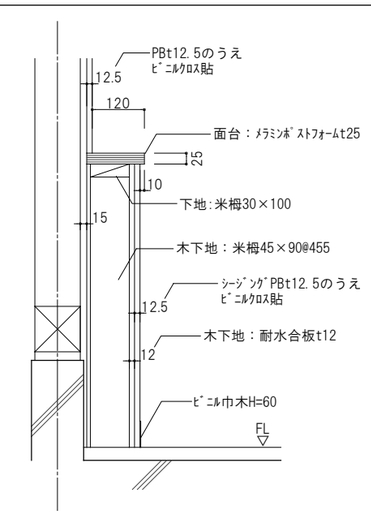
D-4 室内間仕切り壁断面詳細図 1/10



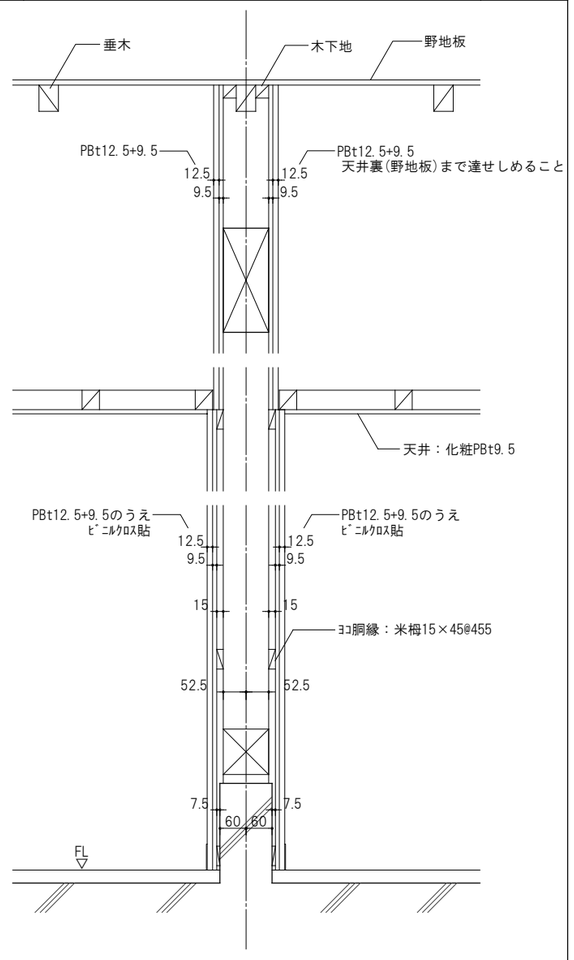
D-5 静養コーナー床断面詳細図 1/10

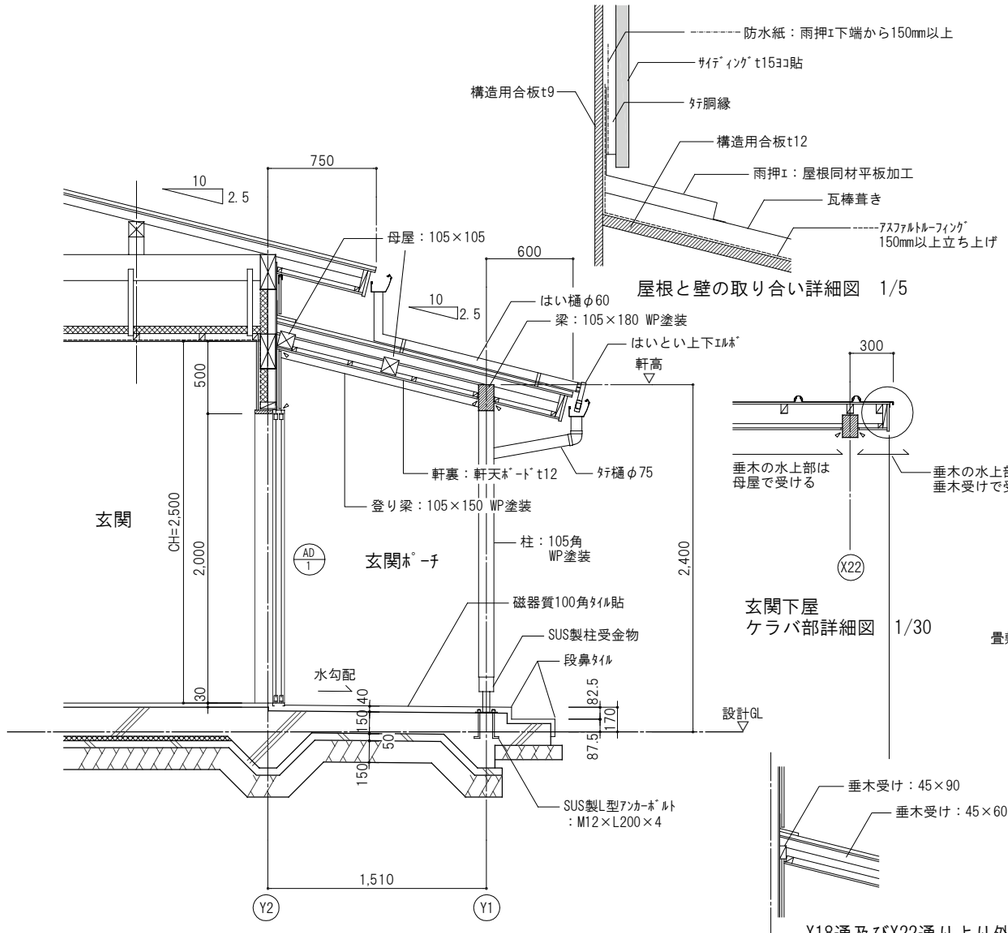


D-6 ライニング詳細図 1/10



D-7 防火上主要な間仕切り壁詳細図 (45分準耐火構造) 1/10



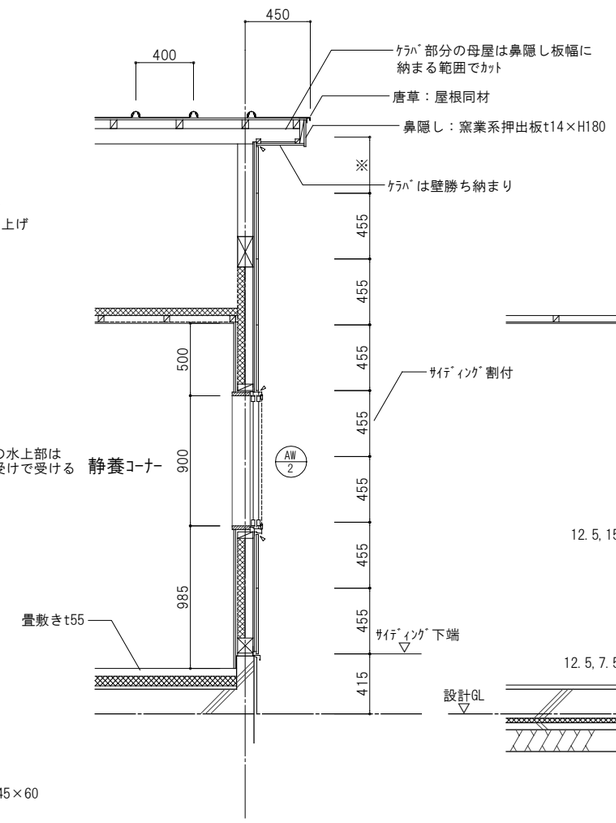


玄関下屋廻り断面詳細図 1/30

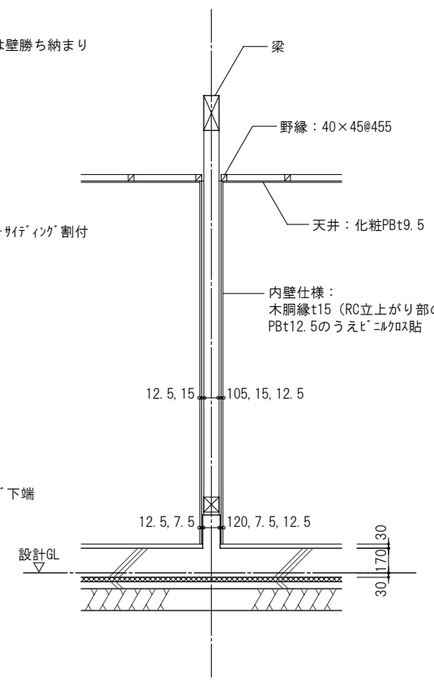
屋根と壁の取り合い詳細図 1/5

玄関下屋
ケラバ部詳細図 1/30

X18通及びX22通りより外側
屋根水上詳細図 1/30

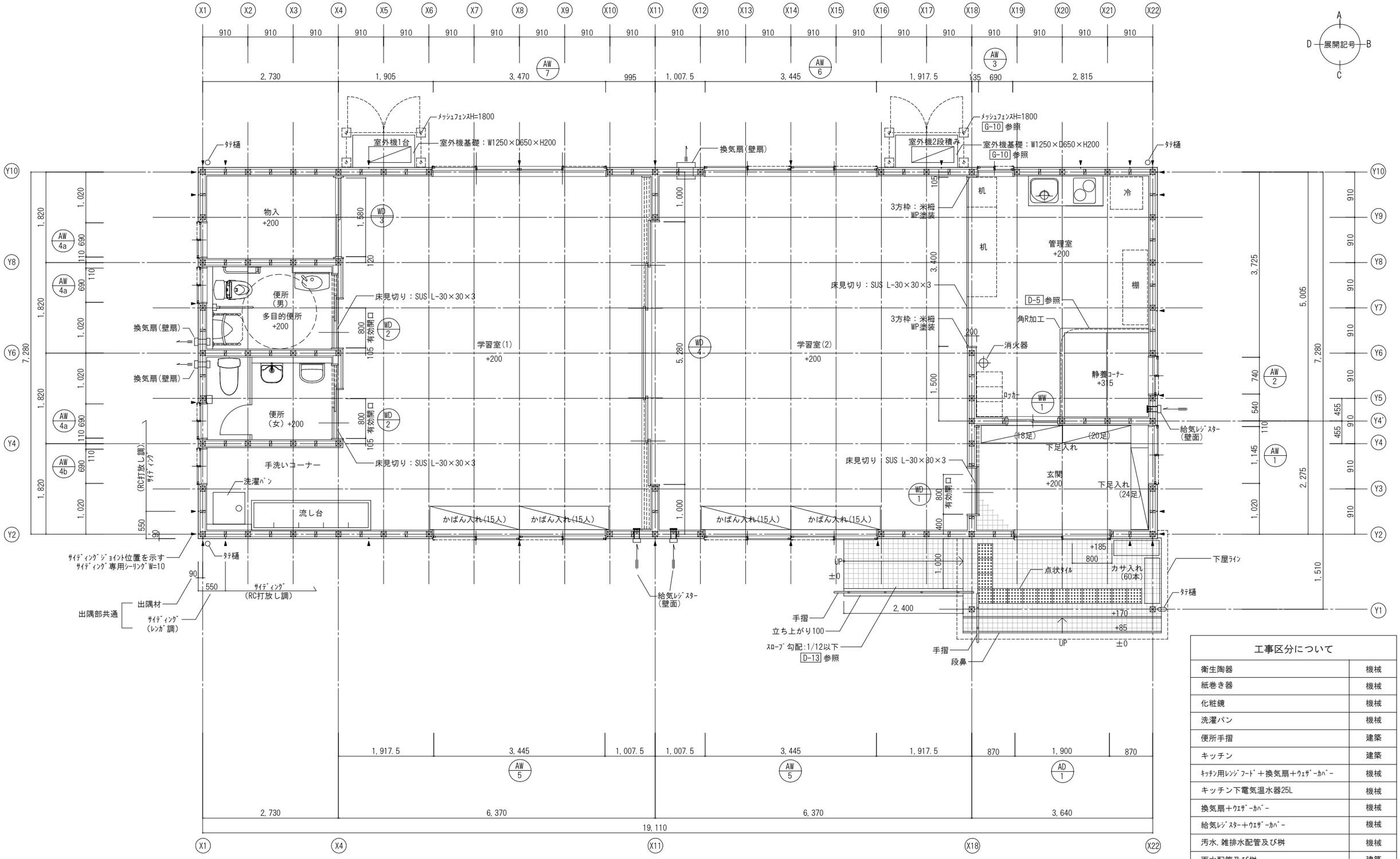


ケラバ部断面詳細図 1/30



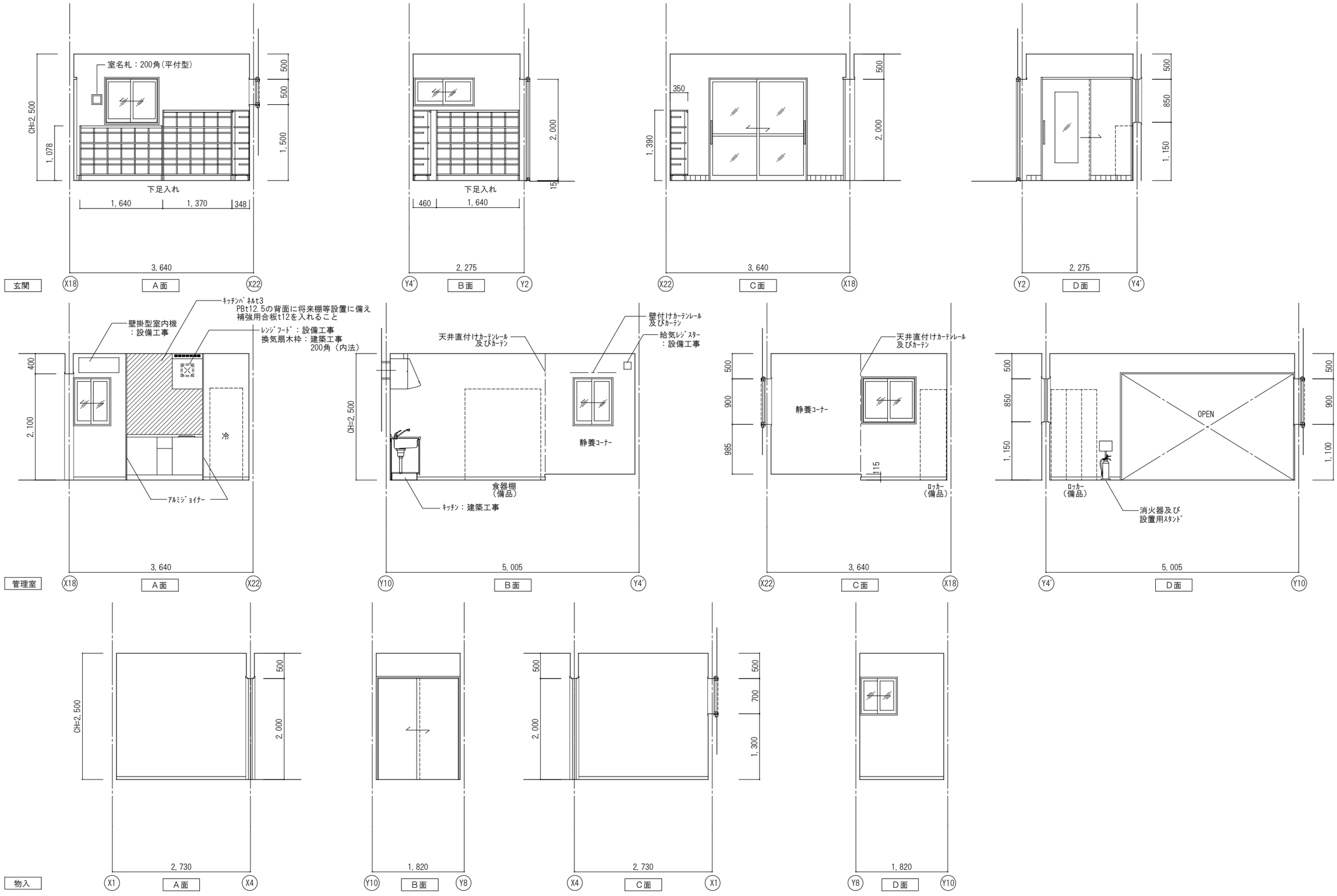
室内間仕切り壁断面詳細図 1/30

特記事項	TITLE 令和元年度 のびのび児童クラブ1組施設新築 工事設計図	DATE 2019. 03.	COA 有限会社 コア建築事務所	NO. A-15
⌓ ｼｰﾘﾝｸﾞ10mmを示す	NAME 矩計図-2,部分詳細図	SCALE 1/30 1/10 1/5	CHECK / PLAN / DRW	

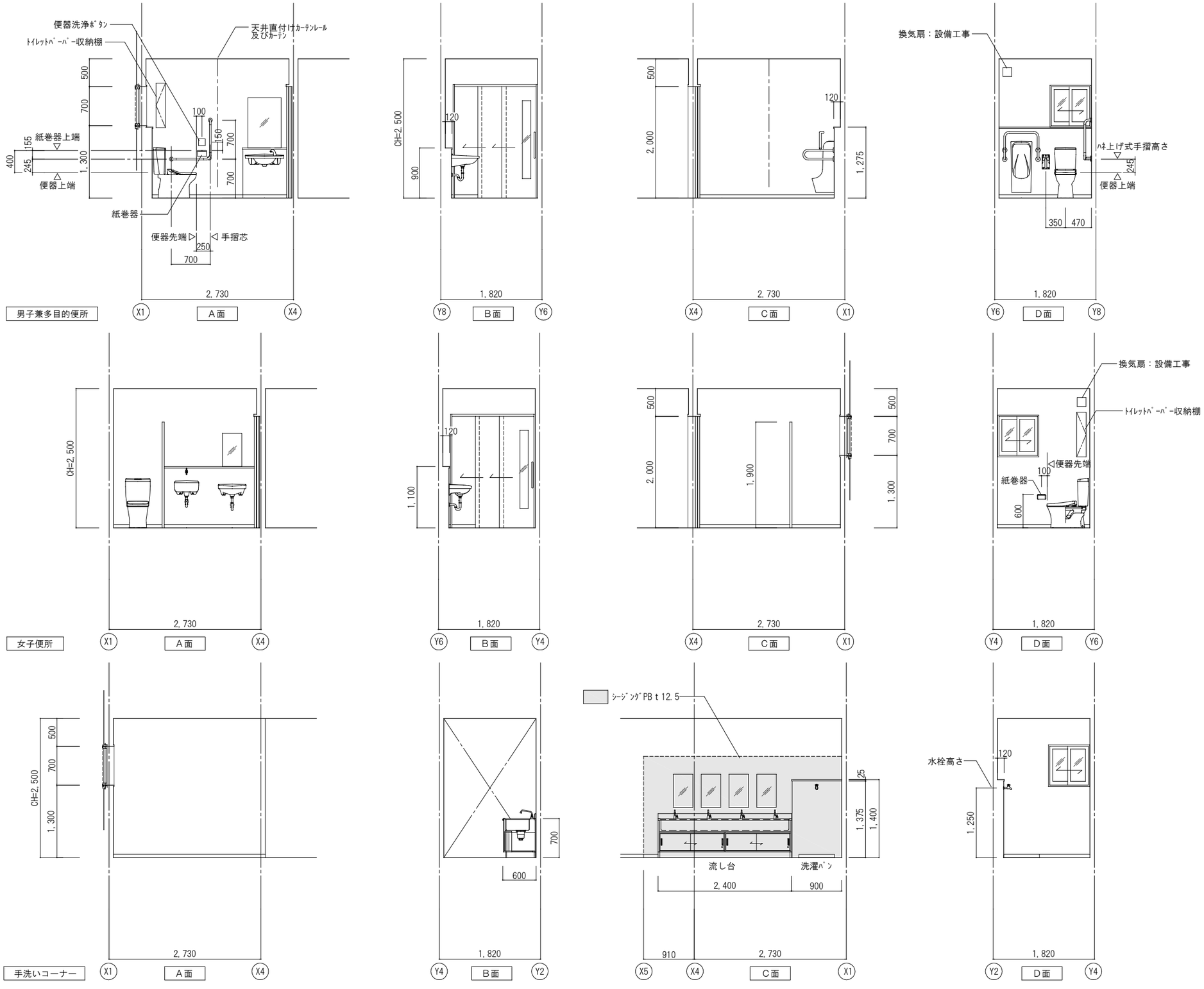


工事区分について	
衛生陶器	機械
紙巻き器	機械
化粧鏡	機械
洗濯パン	機械
便所手摺	建築
キッチン	建築
キッチン用レンジフード＋換気扇＋ウェザーカバー	機械
キッチン下電気温水器25L	機械
換気扇＋ウエザーカバー	機械
給気レジスター＋ウエザーカバー	機械
汚水，雑排水配管及び桝	機械
雨水配管及び桝	建築

TITLE 令和元年度 のびのび児童クラブ1組施設新築 工事設計図	DATE 2019. 03.	COA 有限会社 コア建築事務所			NO. A-16
NAME 平面詳細図	SCALE 1/50 /	CHECK	PLAN	DRW	



特記事項	TITLE 令和元年度 のびのび児童クラブ1組施設新築 工事設計図	DATE 2019. 03.	COA 有限会社 コア建築事務所			NO. A-17
空調室内機，手摺など下地補強が必要な箇所は適宜下地合板t12を入れること	NAME 展開図－1	SCALE 1/50 /	CHECK	PLAN	DRW	
壁付けｶｰﾃﾝﾚｰﾙの長さはｻｯｼW寸法＋両側共100mm程度とする						

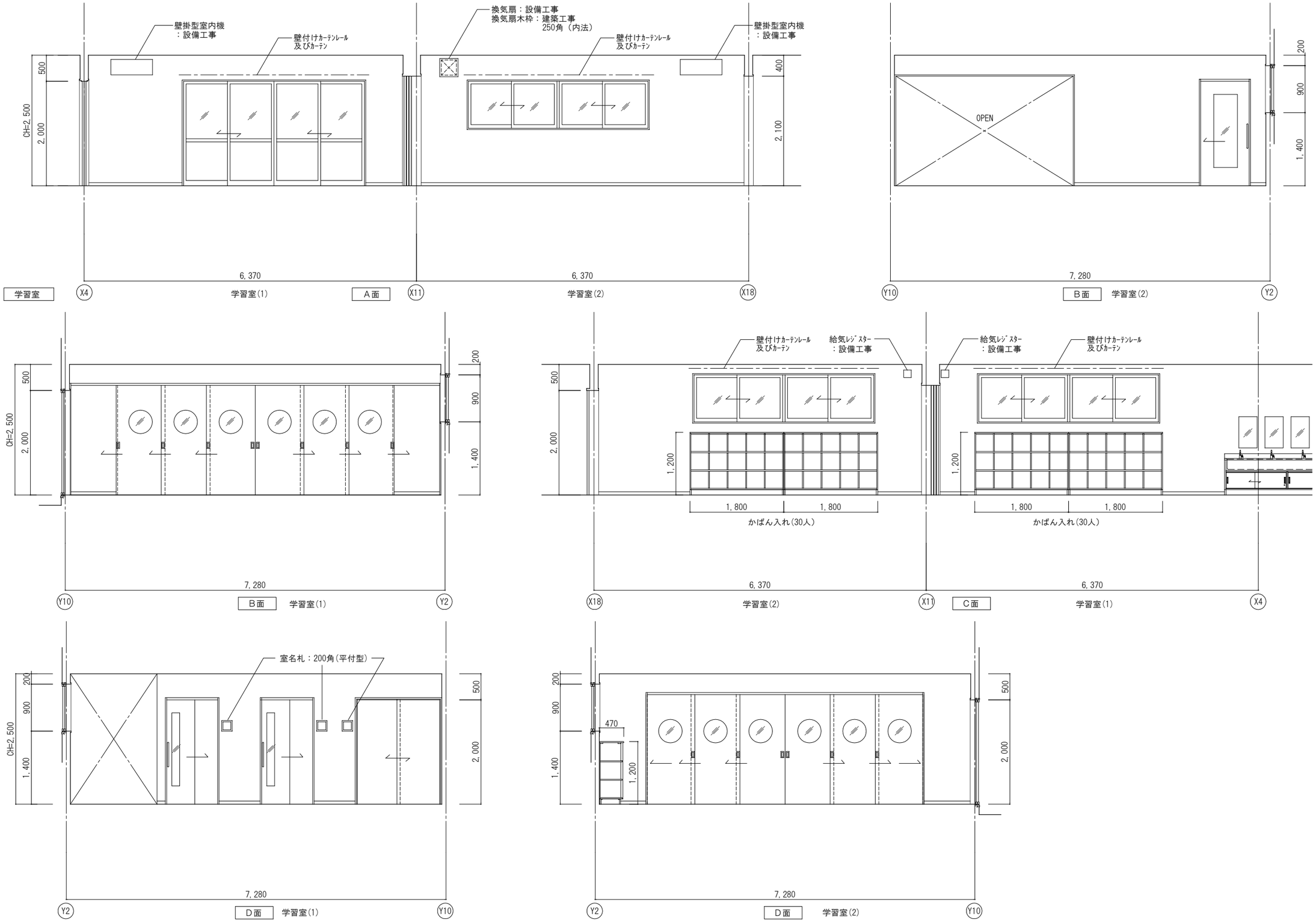


特記事項

空調室内機，手摺など下地補強が必要な箇所は適宜下地合板t12を入れること

壁付けｶｰﾃﾝﾚｰﾙの長さはｻｯｼW寸法＋両側共100mm程度とする

TITLE 令和元年度 のびのび児童クラブ1組施設新築 工事設計図	DATE 2019. 03.	COA 有限会社 コア建築事務所			NO. A-18
NAME 展開図－2	SCALE 1/50 /	CHECK	PLAN	DRW	



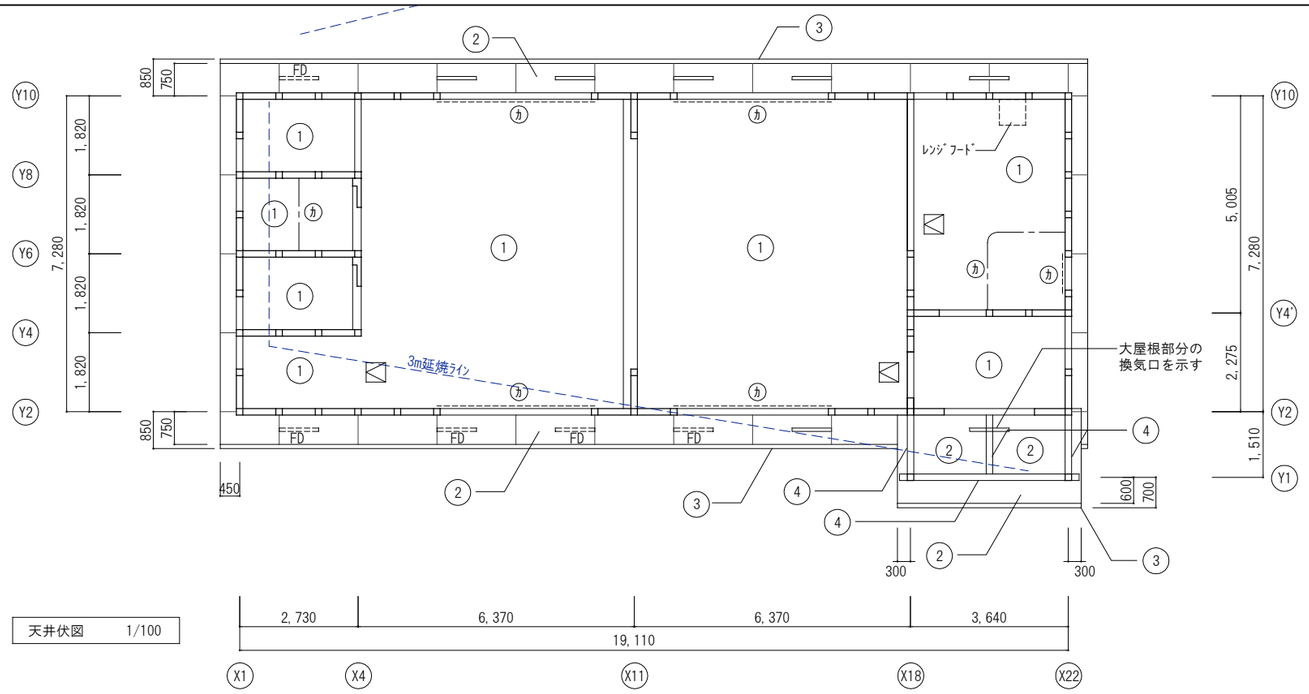
特記事項

空調室内機，手摺など下地補強が必要な箇所は適宜下地合板t12を入れること

壁付けｶｰﾃﾝﾚｰﾙの長さはｻｯｼW寸法＋両側共100mm程度とする

TITLE 令和元年度　のびのび児童クラブ1組施設新築　工事設計図	DATE 2019. 03.	COA 有限会社 コア建築事務所			NO. A-19
NAME 展開図－3	SCALE 1/50 /	CHECK	PLAN	DRW	

凡　例	
1	化粧PBt9.5
2	軒天ﾎﾞｰﾄﾞt12
3	軒樋：硬質塩ビ製
4	梁表し：WP塗装
カ	壁付けｶｰﾃﾝﾚｰﾙ及び ｶｰﾃﾝを示す
カ	天井直付けｶｰﾃﾝﾚｰﾙ及び ｶｰﾃﾝを示す
	軒裏換気口 W919.5×D62.5×H15 ｽﾃﾝﾚｽ製 塗装品 7ヶ所
FD	軒裏換気口 W919.5×D62.5×H15 ｽﾃﾝﾚｽ製 塗装品 5ヶ所 発泡材あり
	天井点検口 450角 ｱﾙﾐ枠製 3ヶ所

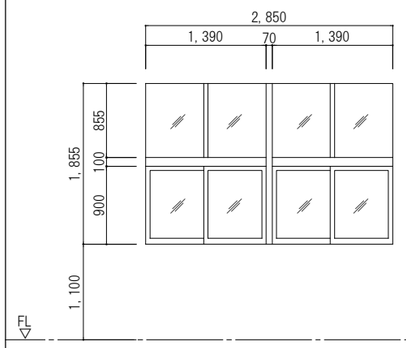


天井伏図　1/100

建具表　1/50

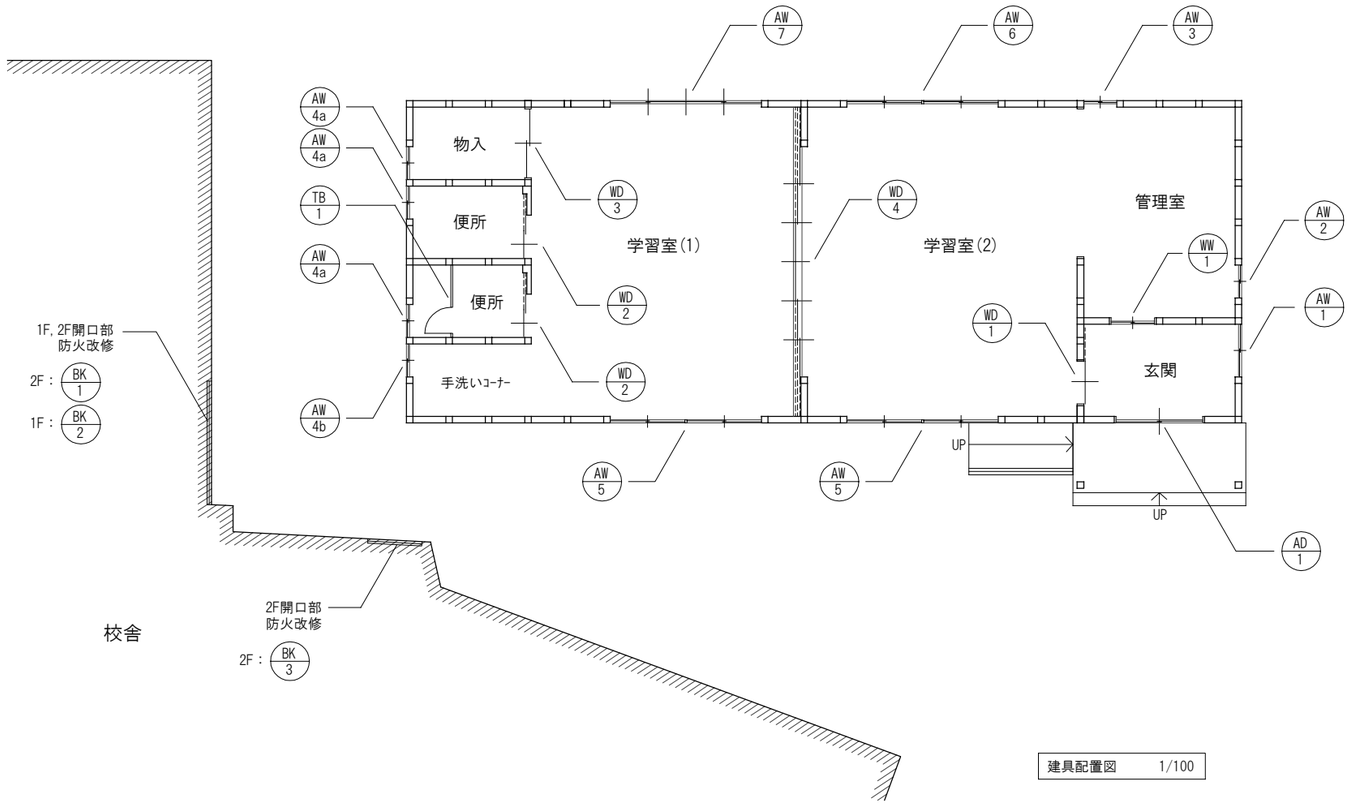
符号	形状	数量	BK 1	ﾗﾝﾏFIX付2連引違い窓	1 ヶ所
位置			2F廊下		

姿図



改修内容

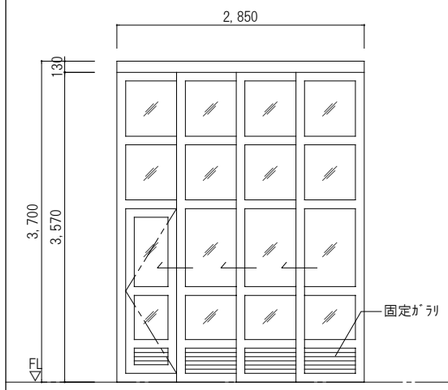
学校用透明強化ｶﾞﾗｽt4撤去→網入り透明ｶﾞﾗｽt6.8に入替



建具配置図　1/100

符号	形状	数量	BK 2	鋼製上吊り4連戸	1 ヶ所
位置			1F廊下		

姿図



改修内容

固定ｶﾞﾗﾘ部に屋内側から鋼板t1.6ﾋﾞｽ止めのうえSOP塗

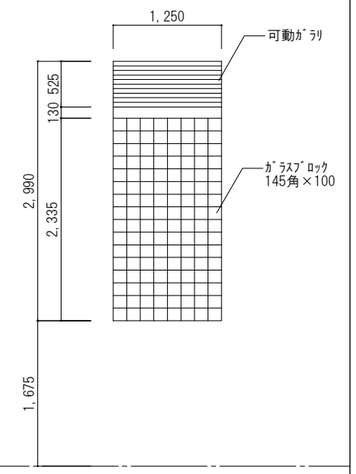
ﾋﾞｽは平天ﾀｲﾌﾟとすること

上段2段学校用透明強化ｶﾞﾗｽt4撤去→網入り透明ｶﾞﾗｽt6.8に入替

下段2段学校用型板強化ｶﾞﾗｽt4撤去→網入り型板ｶﾞﾗｽt6.8に入替

符号	形状	数量	BK 3	可動ｶﾞﾗﾘ付きｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ	1 ヶ所
位置			2F階段室		

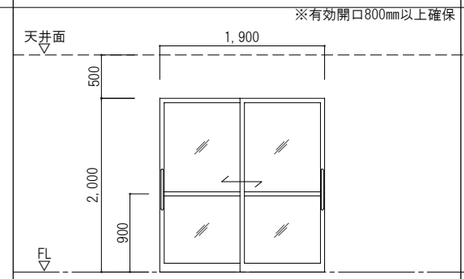
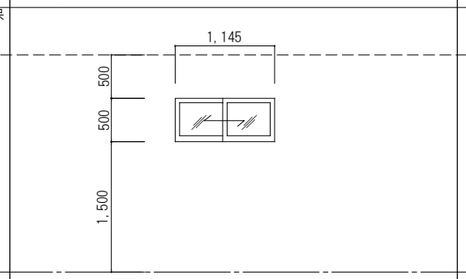
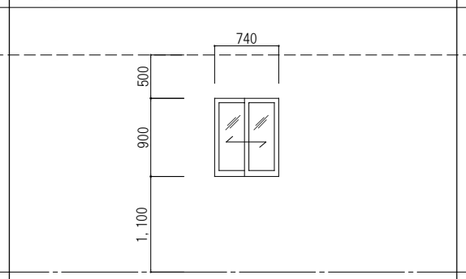
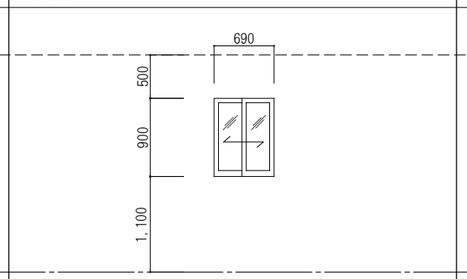
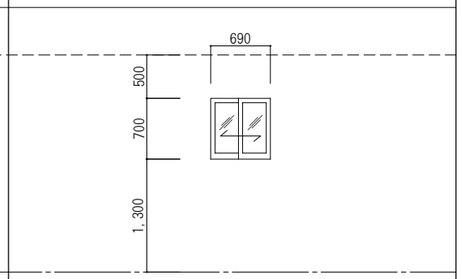
姿図

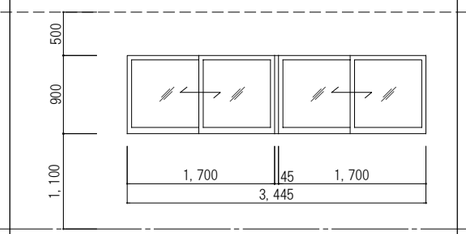
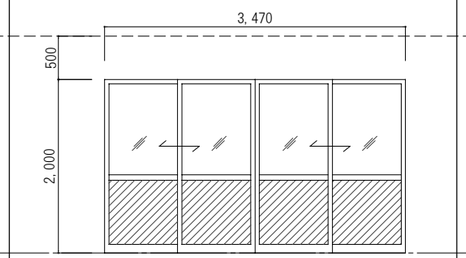
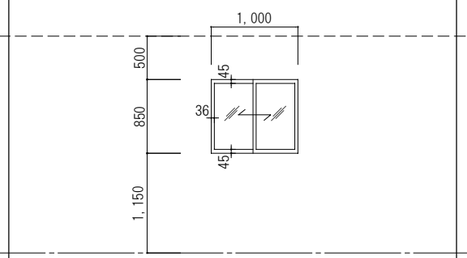
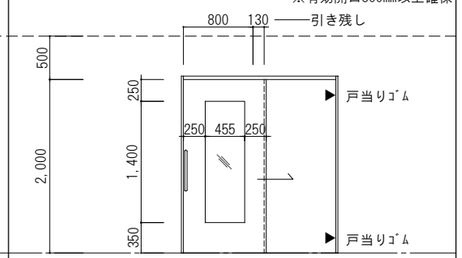


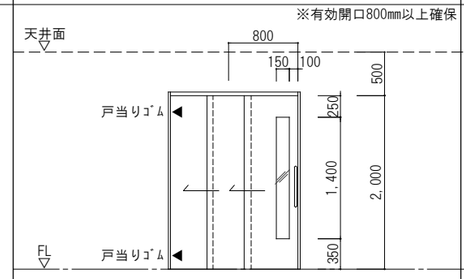
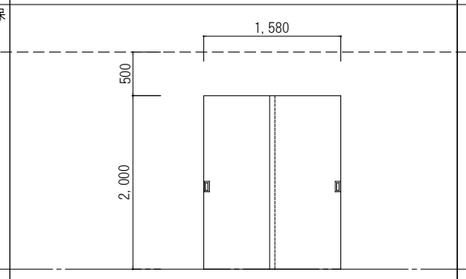
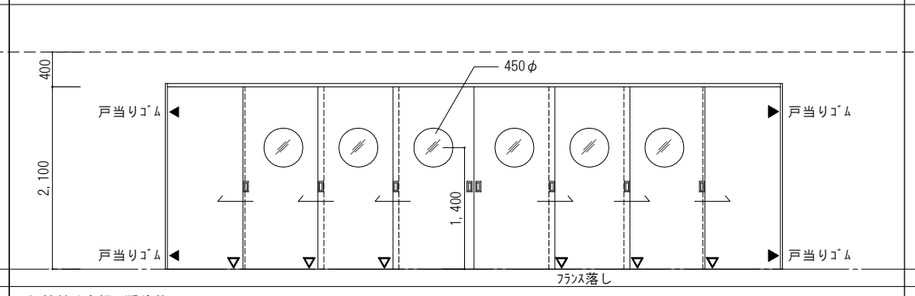
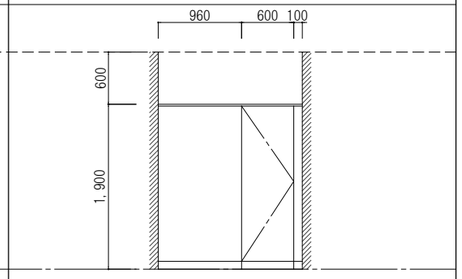
改修内容

ﾗﾝﾏ可動ｶﾞﾗﾘ部に屋内側から鋼板t1.6皿ﾋﾞｽ止めのうえSOP塗

TITLE 令和元年度　のびのび児童クラブ1組施設新築　工事設計図	DATE 2019. 03.	COA 有限会社 コア建築事務所			NO. A-20
NAME 天井伏図,建具配置図,建具表-1	SCALE 1/100 1/50	CHECK	PLAN	DRW	

符号	形状	数量	AD 1	半外付型引違い戸	1 ヶ所	AW 1	半外付型引違い窓	1 ヶ所	AW 2	半外付型引違い窓	1 ヶ所	AW 3	半外付型引違い窓	1 ヶ所	AW 4a / AW 4b	半外付型引違い窓	4a:3 4b:1 ヶ所
位置			玄関			玄関			管理室			管理室			便所, 物入, 手洗いｺｰﾅｰ		
姿図			※有効開口800mm以上確保 														
材料・仕上			ｱﾙﾐ　電解着色			ｱﾙﾐ　電解着色			同左			同左			同左		
見込			70～80※　(見込み寸法は各ﾒｰｶｰの標準寸法による)			70～80※　(見込み寸法は各ﾒｰｶｰの標準寸法による)			同左			同左			同左		
硝子			学校用透明強化ｶﾞﾗｽt5			学校用透明強化ｶﾞﾗｽt4			同左			学校用型板強化ｶﾞﾗｽt4			4a：学校用型板強化ｶﾞﾗｽt4　4b：学校用透明強化ｶﾞﾗｽt4		
金物			付属金物一式, ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠			付属金物一式			同左			同左			同左		
備考			ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ, SUS製引戸下枠ﾚｰﾙ, SUS製引手L=450			ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ, 合成樹脂製網戸			同左			同左			同左		

符号	形状	数量	AW 5	半外付型2連引違い窓	2 ヶ所	AW 6	半外付型2連引違い窓	1 ヶ所	AW 7	半外付型4枚引違い窓	1 ヶ所	WW 1	木製引違い窓	1 ヶ所	WD 1	上吊り式木製ﾌﾗｯｼｭ戸	1 ヶ所
位置			学習室(1)(2)			学習室(2)			学習室(1)			玄関			玄関		
姿図															※有効開口800mm以上確保 		
材料・仕上			ｱﾙﾐ　電解着色			同左			同左			米栂　WP塗装			ﾀﾓ練付け合板　WP塗装		
見込			70～80※　(見込み寸法は各ﾒｰｶｰの標準寸法による)			同左			同左			33			36		
硝子			学校用透明強化ｶﾞﾗｽt4			同左			上部：学校用透明強化ｶﾞﾗｽt4　下部：ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt3			学校用透明強化ｶﾞﾗｽt4			学校用透明強化ｶﾞﾗｽt4		
金物			付属金物一式			同左			同左			戸車, SUS製掘込引手, SUS製ﾚｰﾙ			上吊り用ｿﾌﾄｸﾛｰｽﾞ(戸先), 戸当りｺﾞﾑ(戸尻), SUS製引手L=450 (片側)		
備考			ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ, 合成樹脂製網戸			同左			ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ, 合成樹脂製網戸 (中桟ありﾀｲﾌﾟ)						床SUS製見切り		

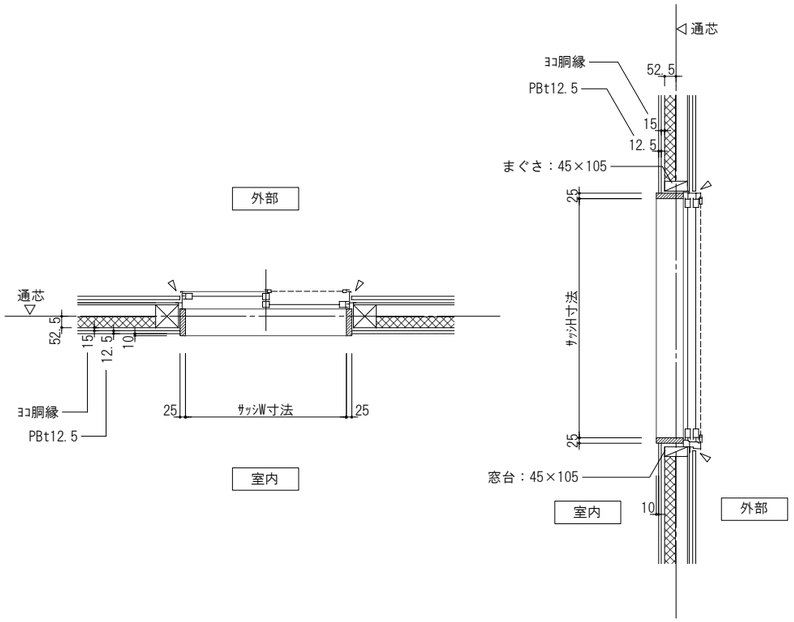
符号	形状	数量	WD 2	上吊り式2連木製ﾌﾗｯｼｭ戸	2 ヶ所	WD 3	木製両開きﾌﾗｯｼｭ戸	1 ヶ所	WD 4	木製6枚引分けﾌﾗｯｼｭ戸	1 ヶ所	TB 1	トイレブース	1 ヶ所
位置			便所			物入			学習室					
姿図			※有効開口800mm以上確保 											
材料・仕上			ﾀﾓ練付け合板　WP塗装			ﾎﾟﾘ合板			ﾀﾓ練付け合板　WP塗装			高圧ﾒﾗﾐﾝ樹脂化粧板 (下地：MDF, 芯材：ﾍﾟｰﾊﾟｰｺｱ)		
見込			36			36			40			40		
硝子			学校用型板強化ｶﾞﾗｽt4						学校用透明強化ｶﾞﾗｽt4					
金物			上吊り用ｿﾌﾄｸﾛｰｽﾞ(戸先), 戸当りｺﾞﾑ(戸尻), SUS製引手L=450 (片側)			戸車, SUS製掘込引手, SUS製ﾌﾗｯﾄﾚｰﾙ			上吊り用ｿﾌﾄｸﾛｰｽﾞ(戸先), 戸当りｺﾞﾑ(戸尻), SUS製掘込引手(大型)			付属金物一式, 表示錠(非常時解錠外開き仕様), SUS巾木, 笠木ｱﾙﾐ		
備考			表示錠, 床SUS製見切り						ﾌﾗﾝｽ落し			中心吊ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ, 引手, 戸当り帽子掛け		

特記事項

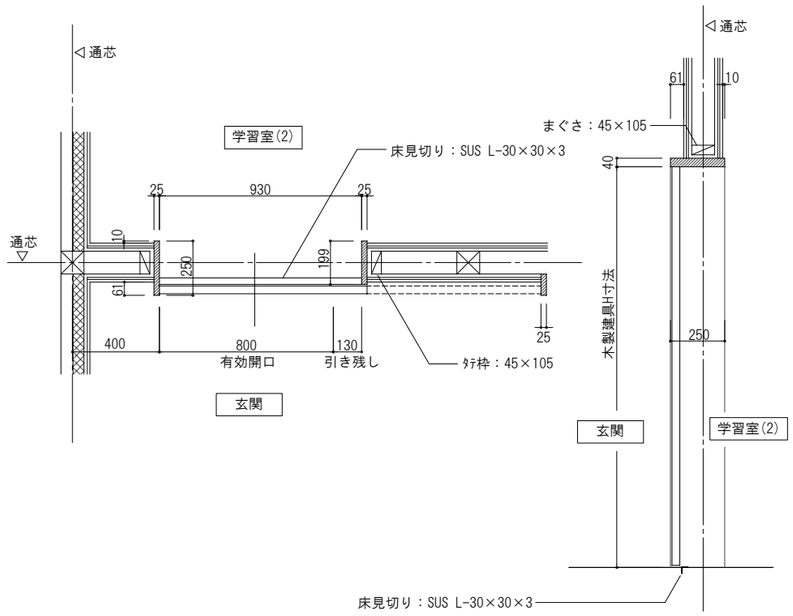
ｱﾙﾐｻｯｼのW, H寸法は内法寸法を示す

TITLE 令和元年度　のびのび児童クラブ1組施設新築　工事設計図	DATE 2019. 03.	COA 有限会社 コア建築事務所		NO. A-21
NAME 建具表-2	SCALE 1/50 /	CHECK	PLAN	DRW

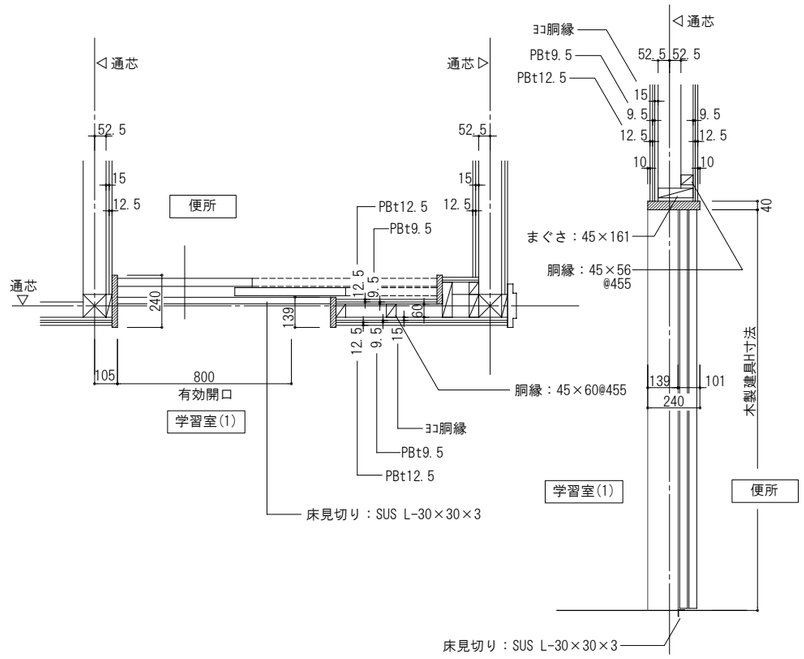
D-8 アルミサッシ廻り詳細図 1/20



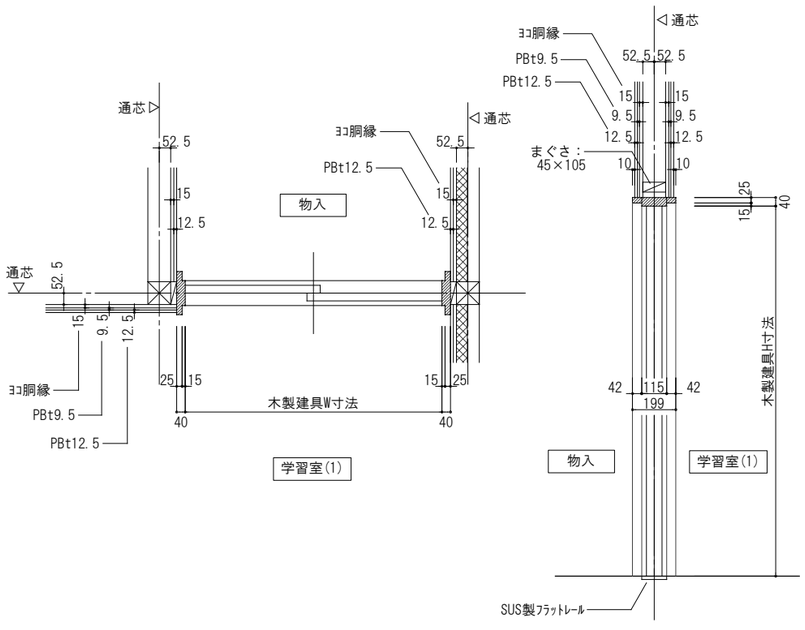
D-9 木製建具(WD-1)廻り詳細図 1/20



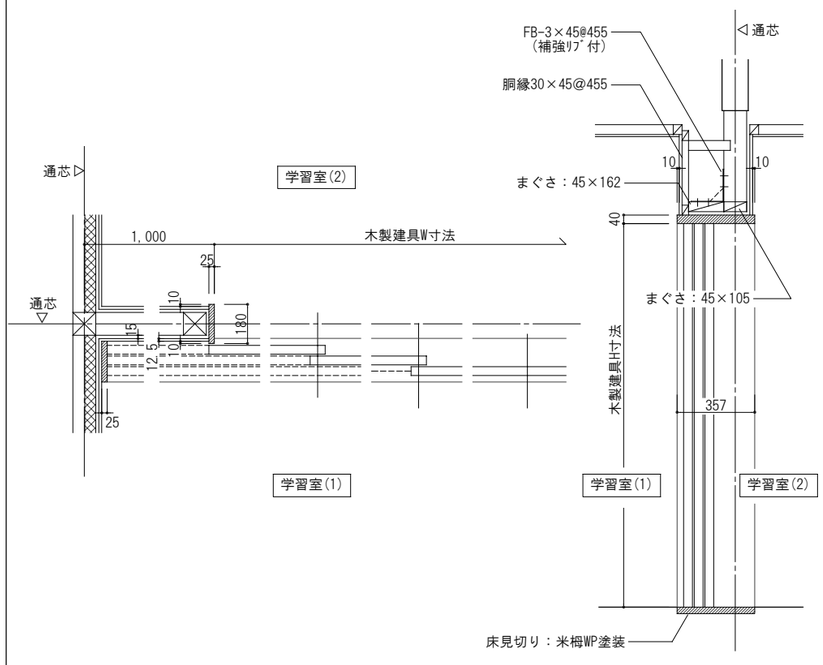
D-10 木製建具(WD-2)廻り詳細図 1/20



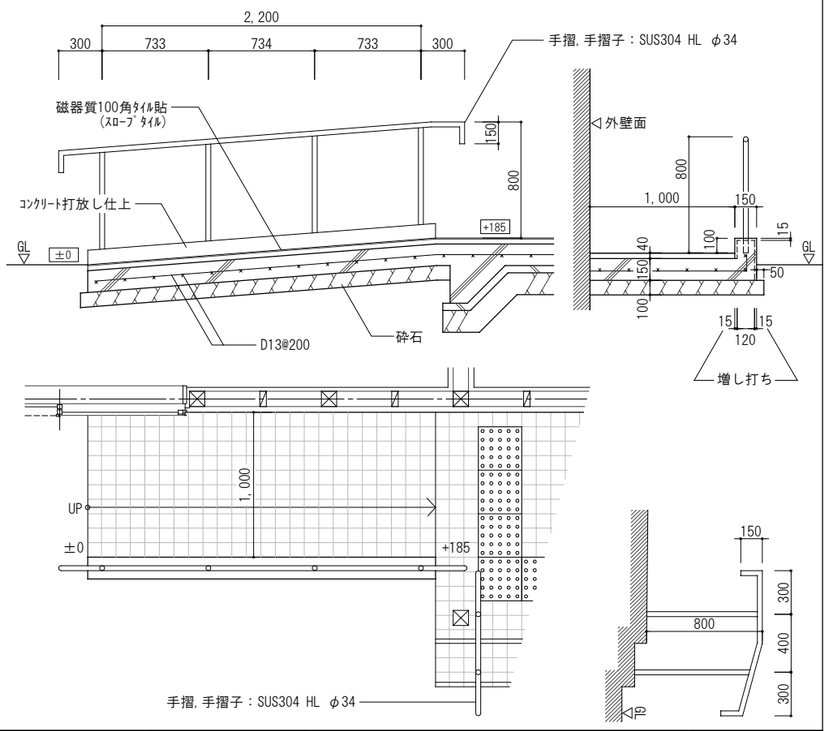
D-11 木製建具(WD-3)廻り詳細図 1/20



D-12 木製建具(WD-4)廻り詳細図 1/20



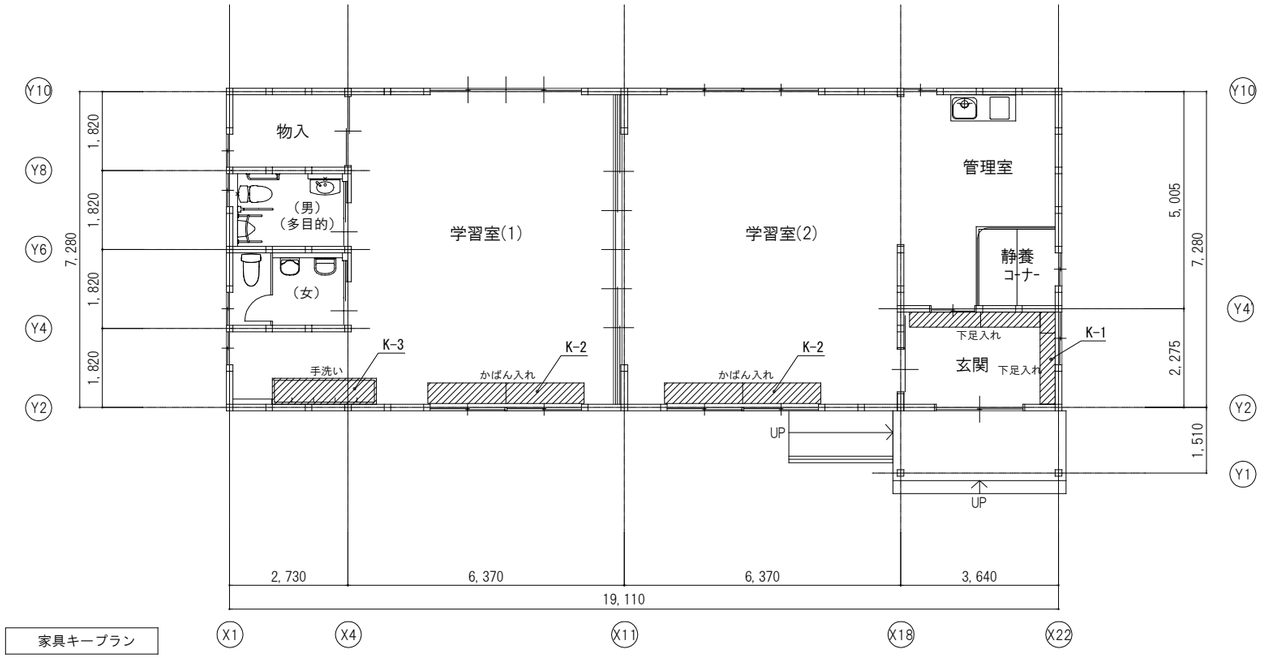
D-13 玄関スロープ詳細図 1/30



特記事項

建具額縁は特記なき限り米栂WP塗装　胴縁は特記なき限り米栂WP塗装　まぐさ,窓台,ﾀﾃ枠は特記なき限り米松

TITLE 令和元年度 のびのび児童クラブ1組施設新築 工事設計図	DATE 2019. 03.	COA 有限会社 コア建築事務所			NO. A-22
NAME 部分詳細図	SCALE 1/20 1/30	CHECK	PLAN	DRW	



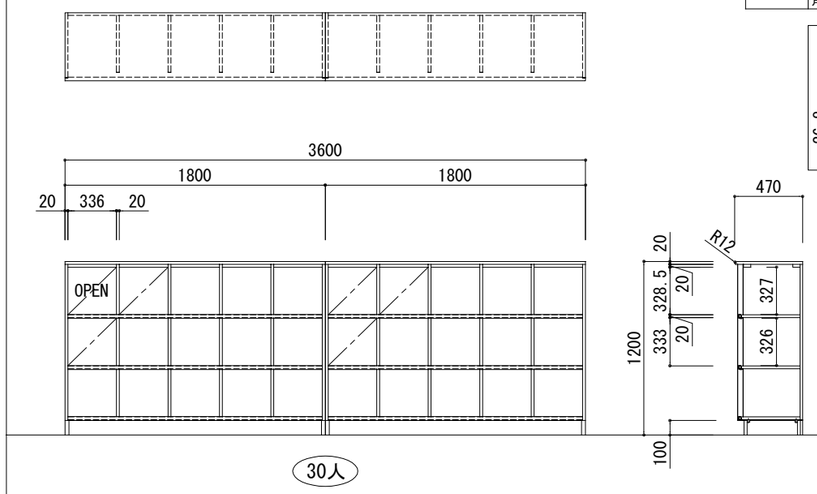
家具キープラン

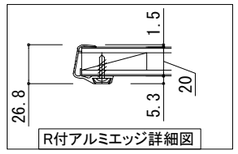
K-2.かばん入れ　CXA-1800HN-Ⅰ

計2組

学習室(1)	1組
学習室(2)	1組

名 称	材 質・仕 様
作業天板	t20 メラミン化粧板 t0.8 ポストフォーム加工
外 装	ポリエステル樹脂合板
内 装	ポリエステル樹脂合板
棚板・底板	t20 ポリエステル樹脂合板
	木口:R付アルミエッジ(品名ライン付)
見 付	t2 セーフティエッジ(ABS樹脂)
台 輪	ポリエステル樹脂合板
	角部:セーフティカバー27L(ABS樹脂)





※木目柄(プレシャスビーチ)

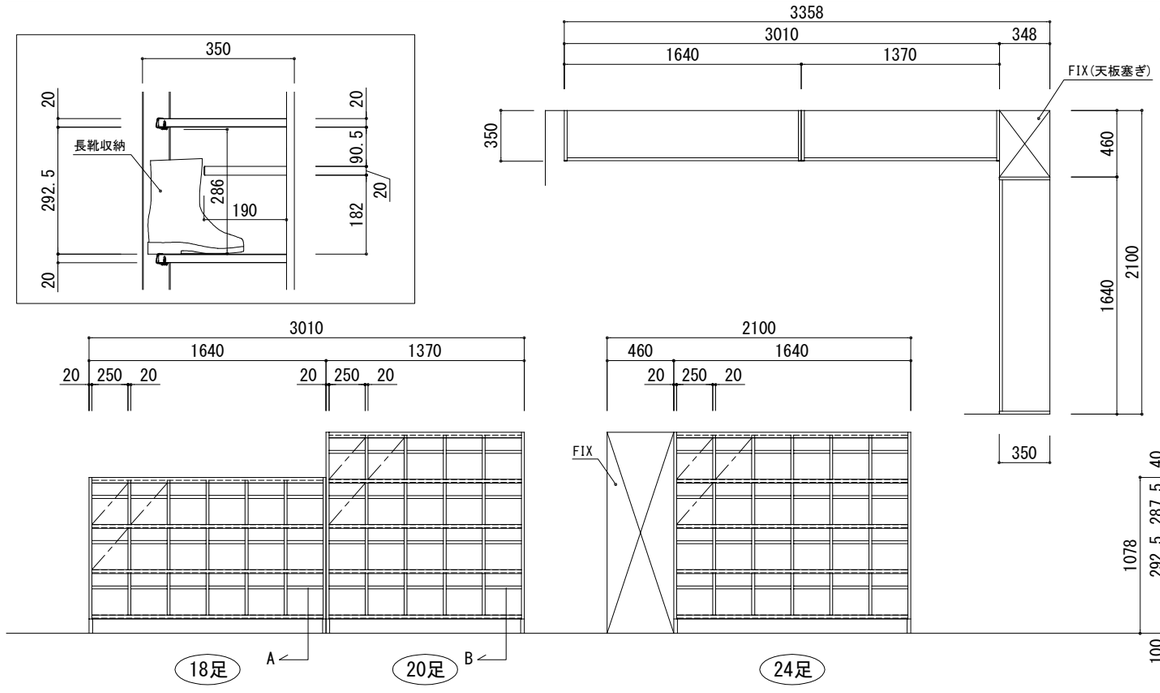
30人

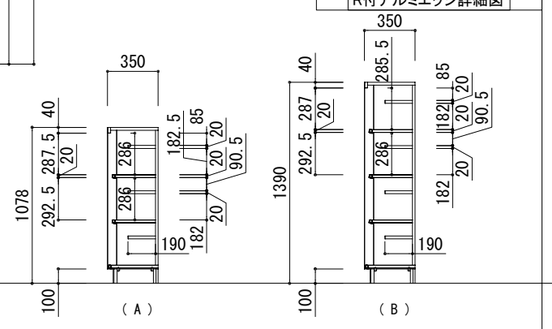
K-1.下足入(62足)　ESA-20LN(改)

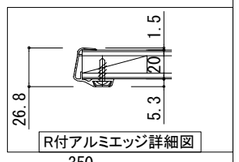
玄関　1組

※木目柄(プレシャスビーチ)

名 称	材 質・仕 様
外 装	ポリエステル樹脂合板
内 装	ポリエステル樹脂合板
上足棚板	t20 ポリエステル樹脂合板
	木口:t2 セーフティエッジ(ABS樹脂)
下足棚板	t20 メラミン化粧板
	木口:R付アルミエッジ(品名ライン付)
見 付	t2 セーフティエッジ(ABS樹脂)
	(側板上面)樹脂エッジ(ABS樹脂)
	(底板)R付アルミエッジ(品名ライン付)
台 輪	ポリエステル樹脂合板
	角部:セーフティカバー27L(ABS樹脂)

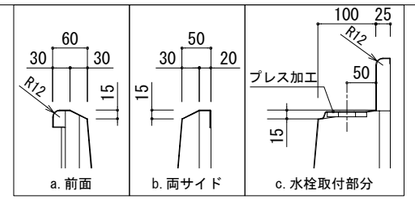






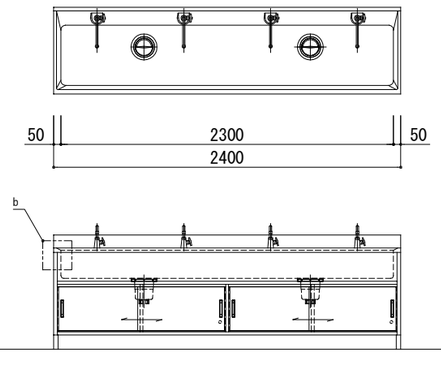
K-3.手洗い　WD-24N(改)

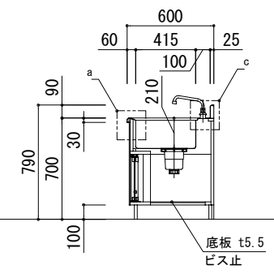
手洗いコーナー　1台



名 称	材 質・仕 様
流 し	SUS304 t1.0 (正面R加工・全周スロープ加工)
	大型排水トラップ(ゴミカゴ付) YT-50XSP
外 装	ポリエステル樹脂合板
内 装	耐摩耗紙化粧板
側板見付	硬質耐候性樹脂エッジ(ABS樹脂)
見 付	樹脂エッジ(ABS樹脂)
引違戸	t20 ポリエステル樹脂合板
	木口:樹脂エッジ(ABS樹脂)
	成形引手(ABS樹脂)
	一体成形ガイドレール(PP樹脂)
	成形ソフト縦枠Ⅱ型(ABS樹脂)
	一体成形Vレール(ABS樹脂)
台 輪	t20 ポリエステル樹脂合板
	角部:セーフティカバー27L(ABS樹脂)
給水栓	立型泡沫自在水栓 Y-136S13R　4個

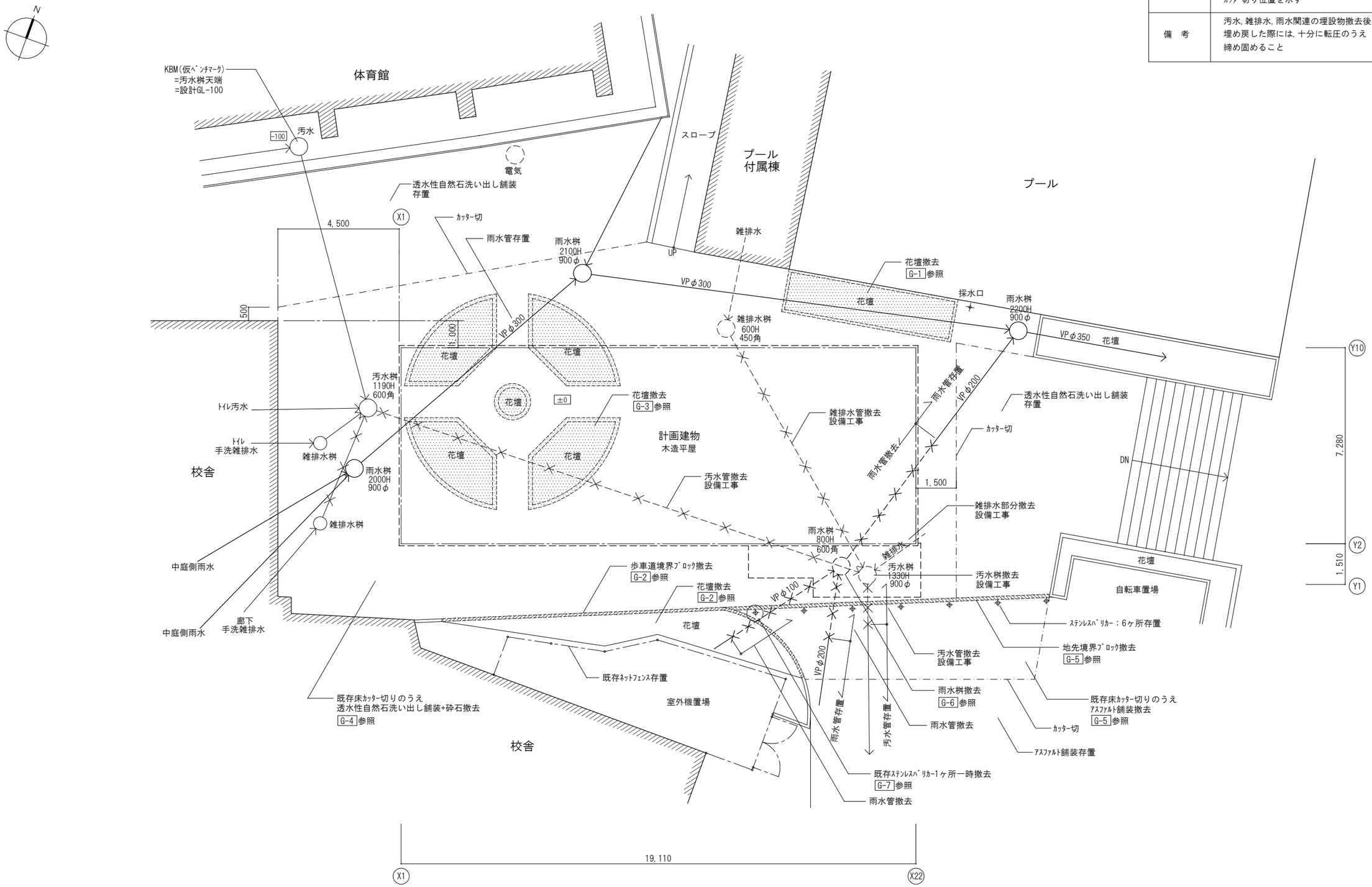
※木目柄(プレシャスビーチ)





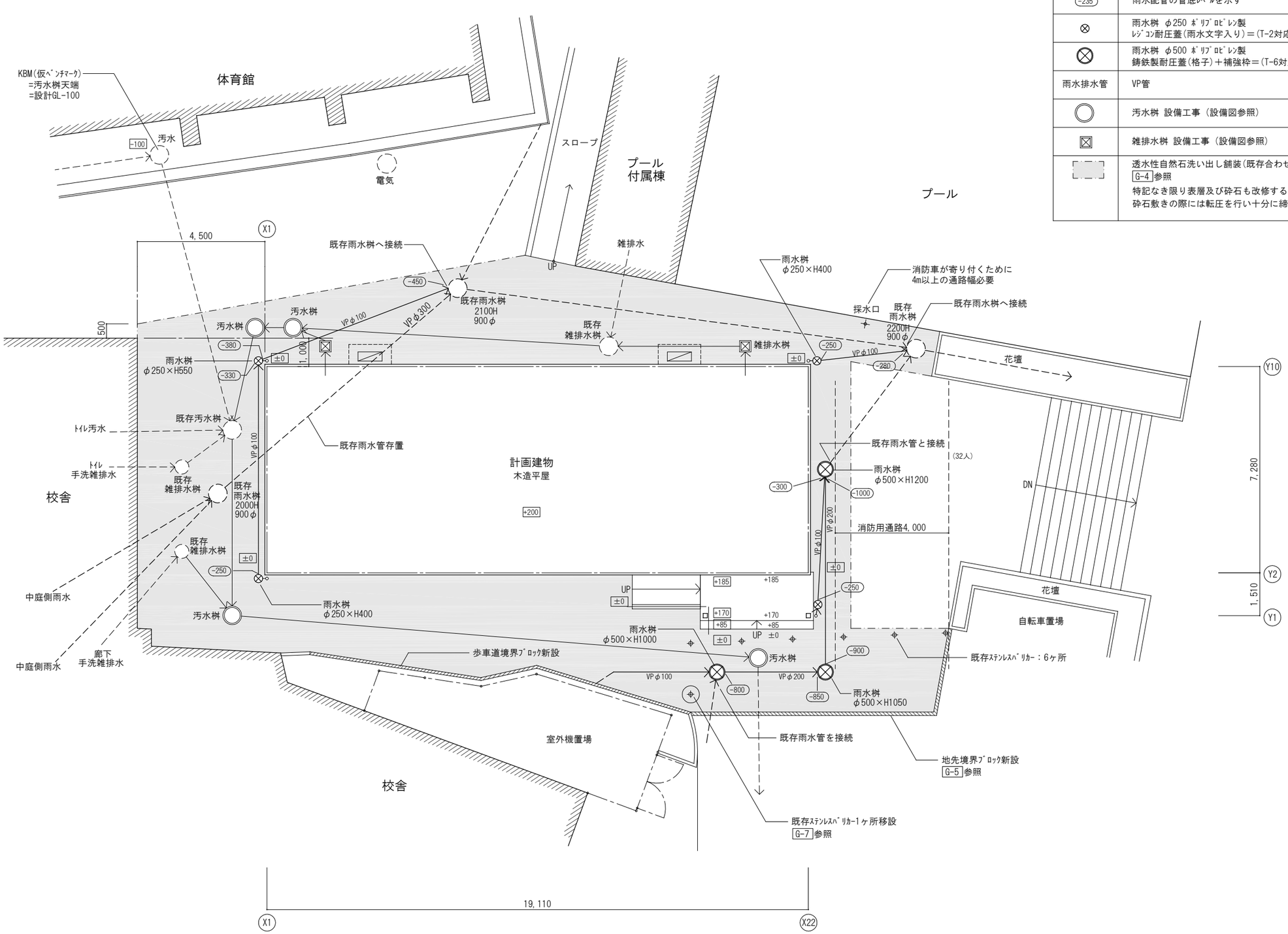
TITLE 令和元年度　のびのび児童クラブ1組施設新築	工事設計図	DATE 2019. 03.	COA 有限会社 コア建築事務所		NO. A-23
NAME 家具詳細図		SCALE 1/30 /	CHECK	PLAN	DRW

凡　例	
+200	設計GLからの床ﾚﾍﾞﾙを示す
—·—·—	ｶｯﾀｰ切り位置を示す
備　考	汚水, 雑排水, 雨水関連の埋設物撤去後 埋め戻した際には, 十分に転圧のうえ 締め固めること



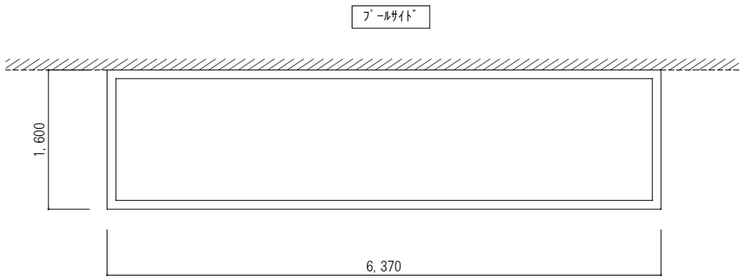
TITLE 令和元年度　のびのび児童クラブ1組施設新築　工事設計図	DATE 2019. 03.	COA	有限会社	コア建築事務所		NO. A-24
NAME 外構撤去図	SCALE 1/100 /	CHECK	PLAN	DRW		

凡　例	
+200	設計GLからの床ﾚﾍﾞﾙを示す
-235	雨水配管の菅底ﾚﾍﾞﾙを示す
⊗	雨水桝　φ250 ﾎﾟﾘﾌﾞﾛﾋﾟﾚﾝ製 ﾚｼﾞｺﾝ耐圧蓋(雨水文字入り)＝(T-2対応)　G-8 参照
⊗	雨水桝　φ500 ﾎﾟﾘﾌﾞﾛﾋﾟﾚﾝ製 鋳鉄製耐圧蓋(格子)＋補強枠＝(T-6対応)　G-9 参照
雨水排水管	VP管
◯	汚水桝　設備工事（設備図参照）
⊠	雑排水桝　設備工事（設備図参照）
	透水性自然石洗い出し舗装(既存合わせ) G-4 参照 特記なき限り表層及び砕石も改修すること 砕石敷きの際には転圧を行い十分に締め固めること

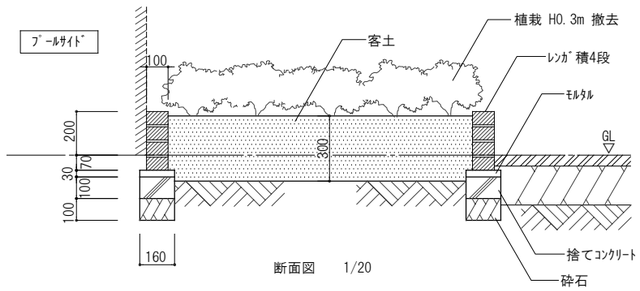


TITLE 令和元年度　のびのび児童クラブ1組施設新築　工事設計図	DATE 2019. 03.	COA 有限会社 コア建築事務所			NO. A-25
NAME 外構改修図	SCALE 1/100 /	CHECK	PLAN	DRW	

G-1 既存北側花壇詳細図 1/20, 1/50

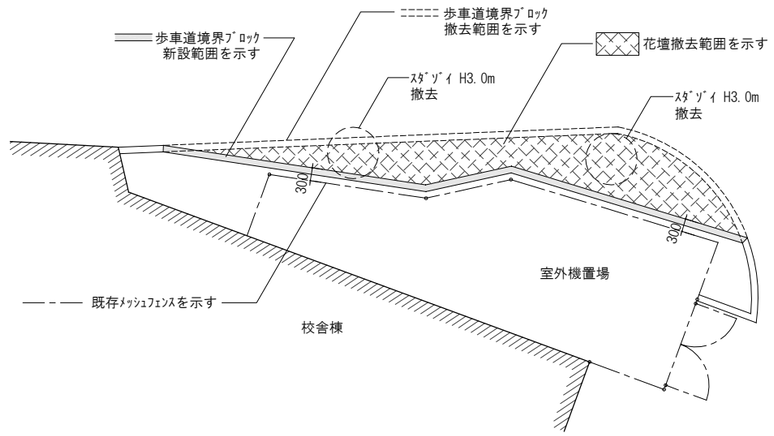


平面図 1/50

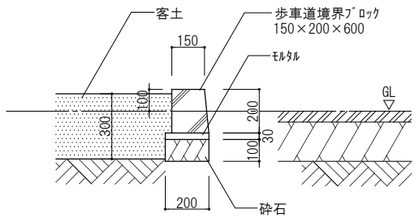


断面図 1/20

G-2 既存南側花壇詳細図 1/20, 1/100

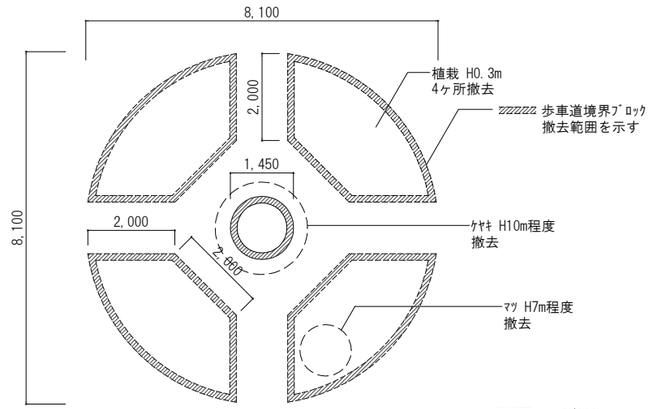


平面図 1/100

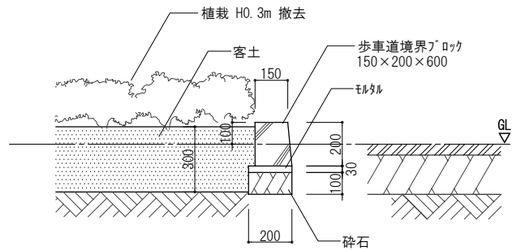


断面図 1/20

G-3 既存中央花壇詳細図 1/20, 1/100

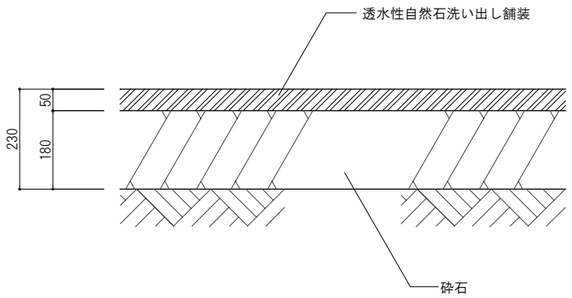


平面図 1/100

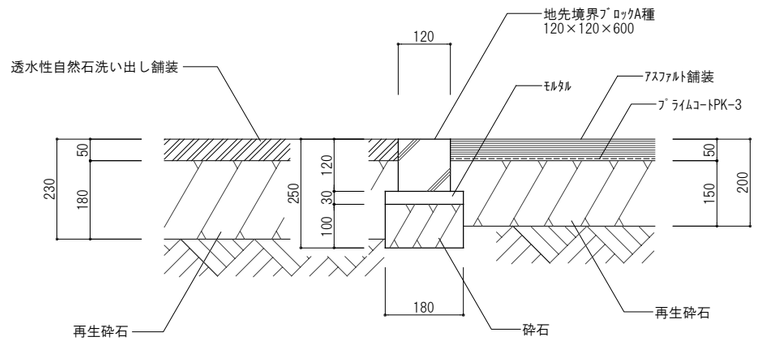


断面図 1/20

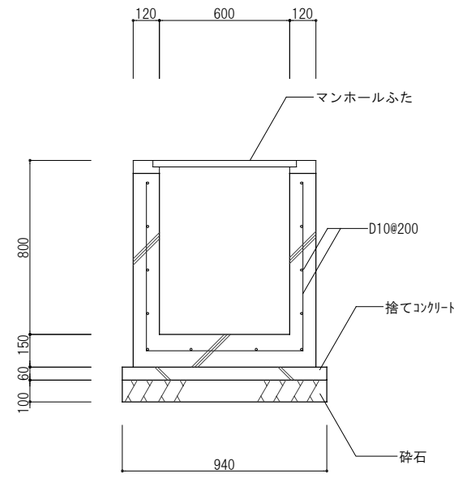
G-4 既存透水性自然石洗い出し舗装詳細図 1/10



G-5 地先境界ブロック及びｱｽﾌｧﾙﾄ舗装詳細図 1/10

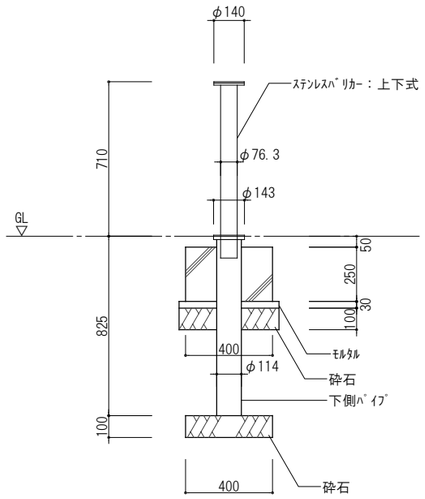


G-6 撤去雨水桝詳細図 1/20

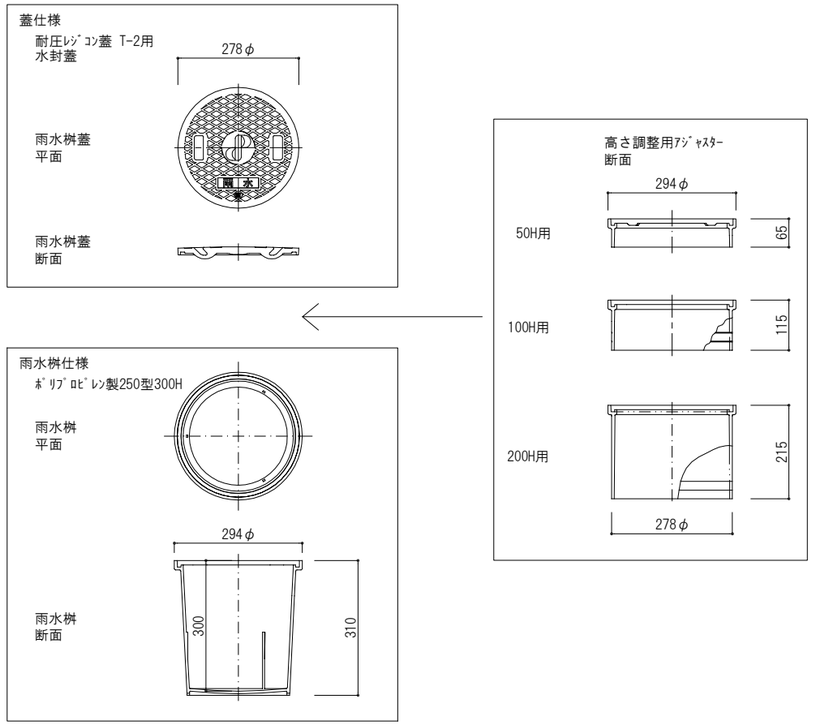


TITLE 令和元年度 のびのび児童クラブ1組施設新築 工事設計図	DATE 2019. 03.	COA 有限会社 コア建築事務所	NO. A-26
NAME 外構部分詳細図-1	SCALE 1/10 1/20 1/50 1/100	CHECK / PLAN / DRW	

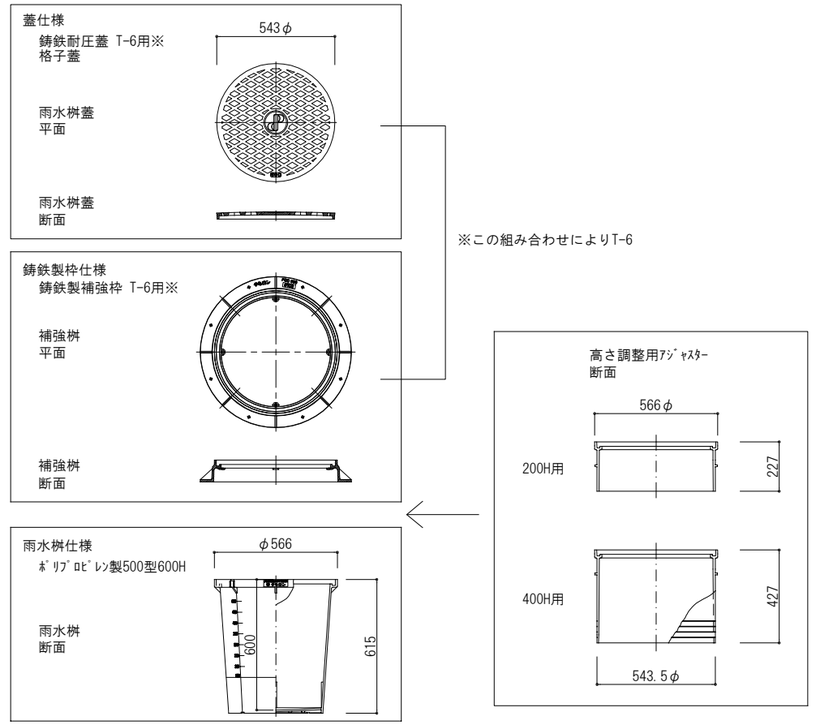
G-7 既存ステンレスバリカー詳細図 1/20



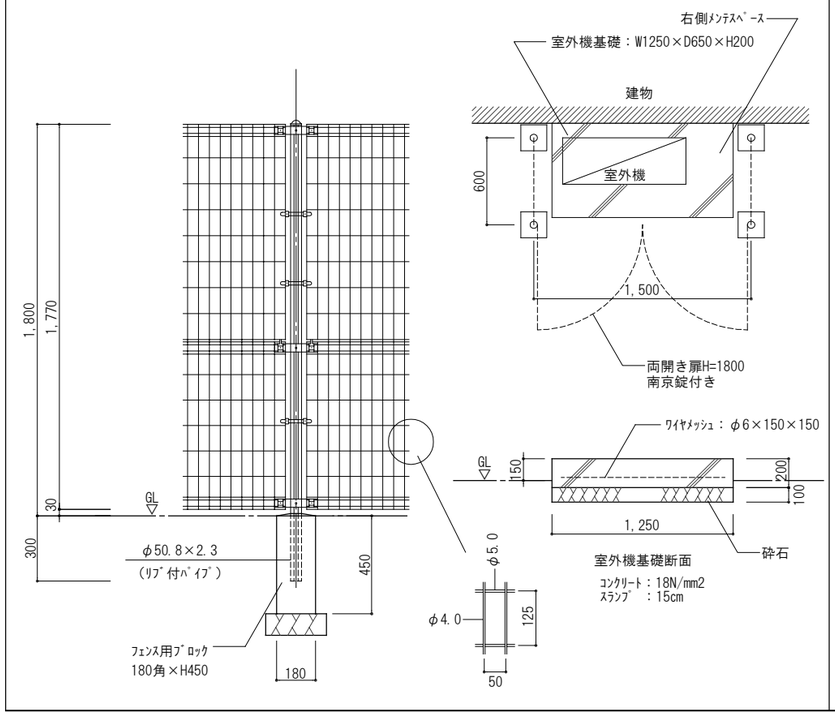
G-8 新設雨水桝250φ詳細 1/10



G-9 新設雨水桝500φ詳細 1/20



G-10 ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ 詳細図 ※朝日UNﾌｪﾝｽ(A型)ﾘﾌﾞ付ﾊﾟｲﾌﾟ UN-A1800 50ｼﾘｰｽﾞ 又は同等品 1/20,1/30



TITLE 令和元年度 のびのび児童クラブ1組施設新築 工事設計図	DATE 2019. 03.	COA 有限会社 コア建築事務所	NO. A-27
NAME 外構部分詳細図-2	SCALE 1/10 1/20 1/30	CHECK / PLAN / DRW	